

平成21年度  
能美市民満足度調査  
報告書

平成22年2月

能美市 総務部 企画財政課



## 目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 調査項目の基本構成	1
2. 配布・回収結果	2
3. 調査結果	3
(1) 回答者自身について	3
【問1】性別	3
【問2】年齢（年代）	4
【問3】居住地（小学校区）	5
【問4】職業	6
【問5】家族人数（世帯タイプ）	7
【問6】家族構成	8
【問7】能美市での居住年数（旧3町時代含む）	9
【問8】通勤・通学先	10
【問9】市政への関心	11
【問10】市政情報の入手方法	12
(2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について	19
【問11】能美市における施策の満足度と重要度	19
(3) 能美市に住むことについて	34
【問12】能美市の住みやすさに対する意識	34
【問13】将来的な定住意向	37
【問14】能美市に定住した主なきっかけ	40
【問15】能美市に定住することの魅力	45
(4) 地域活動および市民と行政の協働について	49
【問16】地域活動への参加の状況	49
【問17】協働に対する現状の認識	58
【問18】協力関係を構築していくために重要なこと	60
(5) 効率的な行政運営・インターネット接続環境について	68
【問19】市役所庁舎のあり方	68
【問20】公共施設の統合・廃止の是非	70
【問21】統合・廃止すべき公共施設	72
【問22】自宅でのインターネット接続の有無	73
【問23】自宅でのインターネットの接続環境	75
【問24】高速通信網の利用意向	77
【問25】利用したい能美市のインターネット（web）サービス	80
(6) JR寺井駅周辺のまちづくりについて	86
【問26】JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像	86
【問27】JR寺井駅周辺にあったらよい施設	92
【問28】JR寺井駅周辺で実施されるとよいサービス・ソフト対策	98
4. まとめ	104



## 1. 調査概要

### (1) 調査の目的

◇平成 18 年度に策定した「第一次能美市総合計画」に基づく各種施策について、現在の満足度や今後の重要度を把握するとともに、平成 17 年度および平成 19 年度に実施した調査結果との比較分析を行うことにより、各種施策に対する評価の変化を把握し、施策の進行管理に反映させます。

◇また、能美市での居住や地域活動、市民と行政の協働、効率的な行政運営、J R 寺井駅周辺のまちづくり等についての市民意識を明らかにし、市民に開かれたより良い市政を展開していくための一助とすることを目的とします。

### (2) 調査の概要

◇調査対象：満 20 歳以上の市民 3,000 名

◇抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）

◇調査方法：郵送（無記名回収）方式

◇調査期間：平成 21 年 10 月 30 日（金）～11 月 15 日（日）

※期日後 12 月 11 日までに返送されたものまでが集計に含まれています。

### (3) 調査項目の基本構成

#### 1) 回答者自身について

◇性別、年齢、居住地、職業、家族人数、家族構成、居住年数、通勤・通学先、市政への関心、市政情報の入手方法に関する設問

#### 2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

◇魅力、歴史・自然、居住環境、健康・福祉、産業・観光、教育・文化・スポーツ、行財政、参画・協働の各分野において展開している 51 の施策に対する満足度と重要度および施策全体への満足度に関する設問

#### 3) 能美市に住むことについて

◇能美市への定住意向や居住環境、居住理由などに関する設問

#### 4) 地域活動および市民と行政の協働について

◇地域活動への参加状況や市民と行政の協働体制の現状などに関する設問

#### 5) 効率的な行政運営・インターネット接続環境について

◇公共施設の統合・廃止やインターネットの接続状況などに関する設問

#### 6) J R 寺井駅周辺のまちづくりについて

◇J R 寺井駅周辺のまちづくりの将来像や、ハード整備、ソフト施策に関する設問

## 2. 配布・回収結果

### ■市全体・地区別（平成 21、19、17 年度調査（以下、H21、H19、H17 と記します。））

	配布数			回収数			回収率		
	今回 (H21)	H19	H17	今回 (H21)	H19	H17	今回 (H21)	H19	H17
市全体	3,000	3,000	3,000	1,174	966	1,421	39.1%	32.2%	47.4%
根上地区	1,015	1,024	1,038	385	299	459	37.9%	29.2%	44.2%
寺井地区	1,061	1,056	1,026	421	330	521	39.7%	31.3%	50.8%
辰口地区	924	920	936	350	310	427	37.9%	33.7%	45.6%
不明	—	—	—	18	27	14	—	—	—

### ■性別（H21）

	配布数	回収数	回収率
男性	1,475	479	32.5%
女性	1,525	633	41.5%
不明	—	62	—

### ■年代別（H21）

	配布数	回収数	回収率
20歳代	500	112	22.4%
30歳代	600	199	33.2%
40歳代	600	234	39.0%
50歳代	500	219	43.8%
60歳代	500	246	49.2%
70歳代	300	155	51.7%
不明	—	9	—

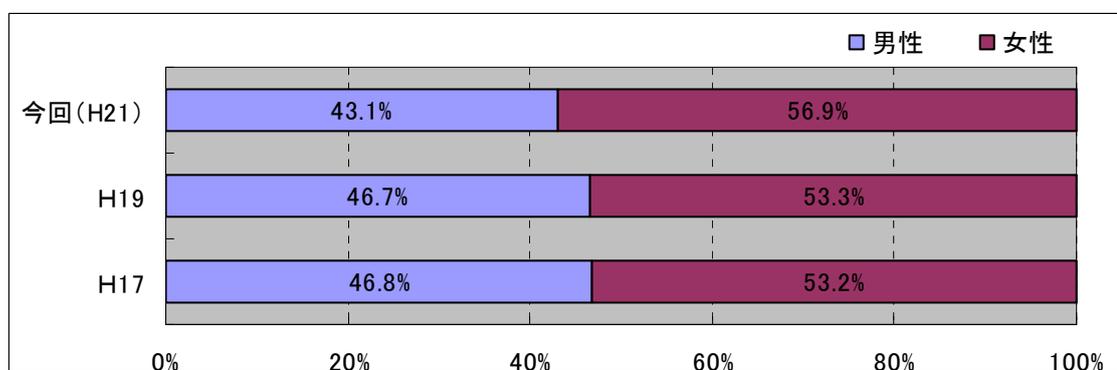
### 3. 調査結果

#### (1) 回答者自身について

##### 問 1 性別

◆女性の割合がやや高くなっています。

選択項目		今回(H21)		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	男性	479	43.1%	436	46.7%	655	46.8%
2	女性	633	56.9%	498	53.3%	744	53.2%
	無回答	62	-	32	-	22	-
	合計	1174	-	966	-	1421	-
	回答者数(合計-無回答)	1112	100.0%	934	100.0%	1399	100.0%

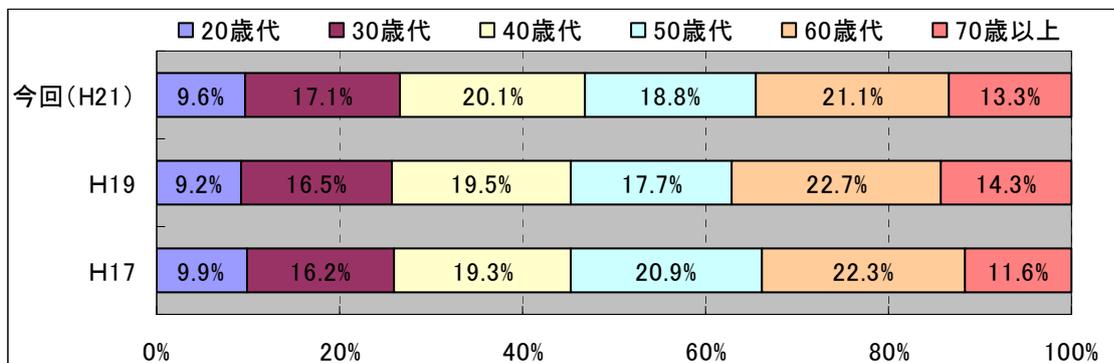


※【H21の配布数(割合)】男性：1,475(49.2%)、女性：1,525(50.8%)

問 2 年齢（年代）

◆30～60 歳代の回答者の割合が各々約 20%となっており、全体の 80%を占めています。

選択項目	今回(H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 20歳代	112	9.6%	87	9.2%	139	9.9%
2 30歳代	199	17.1%	155	16.5%	228	16.2%
3 40歳代	234	20.1%	184	19.5%	272	19.3%
4 50歳代	219	18.8%	167	17.7%	295	20.9%
5 60歳代	246	21.1%	214	22.7%	314	22.3%
6 70歳以上	155	13.3%	135	14.3%	163	11.6%
無回答	9	-	24	-	10	-
合計	1174	-	966	-	1421	-
回答者数(合計-無回答)	1165	100.0%	942	100.0%	1411	100.0%

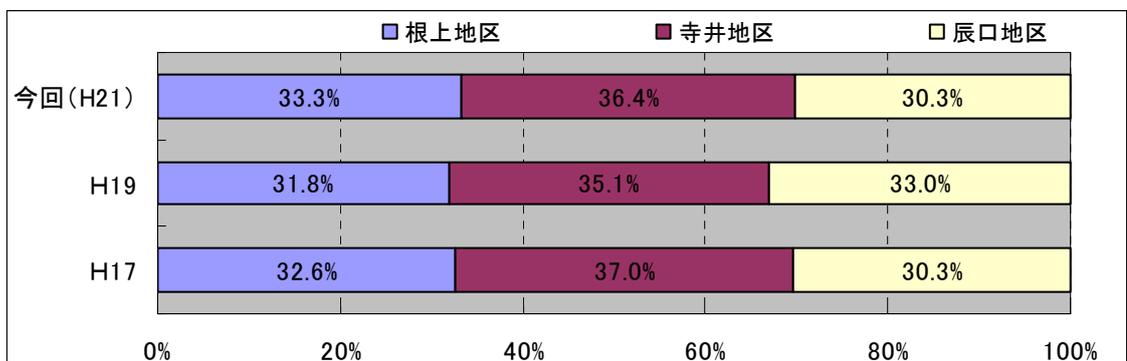
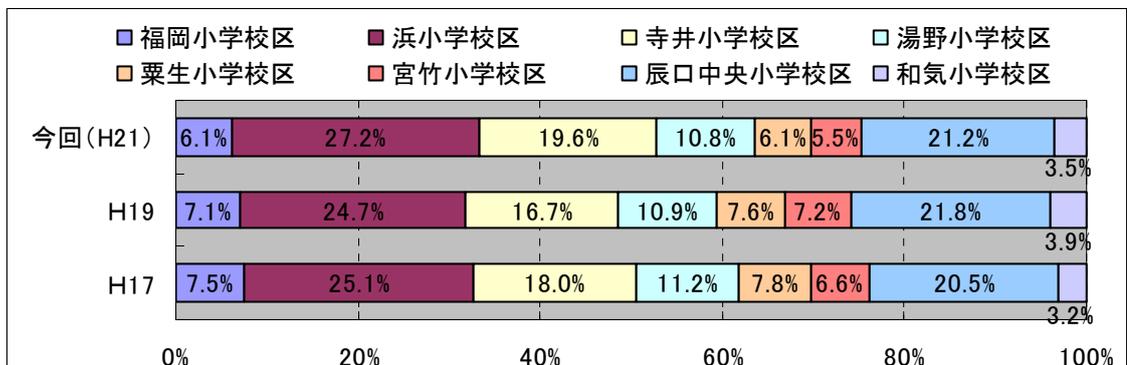


※【H21の配布数(割合)】20歳代：500(16.7%)、30歳代：600(20.0%)、40歳代：600(20.0%)、50歳代：500(16.7%)、60歳代：500(16.7%)、70歳代：300(10.0%)

## 問 3 居住地（小学校区）

- ◆居住地の割合に前回との差はほとんどありません。
- ◆「浜小学校区」が 27.2%と最も多く、次いで「辰口中央小学校区」21.2%、「寺井小学校区」19.6%となっています（配布割合に対応）。
- ◆地区別でみると、「寺井地区」が 36.4%と最も多く、次いで「根上地区」33.3%、「辰口地区」30.3%となっています（配布割合に対応）。

選択項目		今回 (H21)		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	福岡小学校区	71	6.1%	67	7.1%	106	7.5%
2	浜小学校区	314	27.2%	232	24.7%	353	25.1%
3	寺井小学校区	226	19.6%	157	16.7%	253	18.0%
4	湯野小学校区	125	10.8%	102	10.9%	158	11.2%
5	粟生小学校区	70	6.1%	71	7.6%	110	7.8%
6	宮竹小学校区	64	5.5%	68	7.2%	93	6.6%
7	辰口中央小学校区	245	21.2%	205	21.8%	289	20.5%
8	和気小学校区	41	3.5%	37	3.9%	45	3.2%
	無回答	18	-	27	-	14	-
	合計	1174	-	966	-	1421	-
	回答者数(合計－無回答)	1156	100.0%	939	100.0%	1407	100.0%



※【H21 の配布数 (割合)】福岡小学校区：224 (7.5%)、浜小学校区：791 (26.4%)、寺井小学校区：558 (18.6%)  
 湯野小学校区：314 (10.5%)、粟生小学校区：189 (6.3%)、宮竹小学校区：157 (5.2%)  
 辰口中央小学校区：663 (22.1%)、和気小学校区：104 (3.5%)

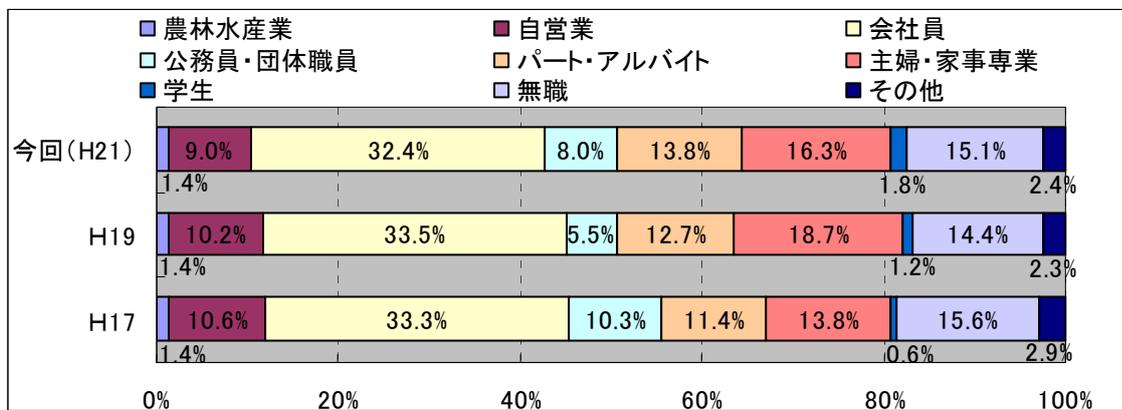
**問 4 職業**

◆「会社員」が 32.4%と最も多く、次いで「主婦・家事専業」16.3%、「無職」15.1%、「パート・アルバイト」13.8%となっています。

選択項目	今回(H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 農林水産業	16	1.4%	13	1.4%	19	1.4%
2 自営業	104	9.0%	96	10.2%	149	10.6%
3 会社員	374	32.4%	314	33.5%	466	33.3%
4 公務員・団体職員	92	8.0%	52	5.5%	144	10.3%
5 パート・アルバイト	159	13.8%	119	12.7%	160	11.4%
6 主婦・家事専業	188	16.3%	175	18.7%	194	13.8%
7 学生	21	1.8%	11	1.2%	9	0.6%
8 無職	174	15.1%	135	14.4%	219	15.6%
9 その他	28	2.4%	22	2.3%	41	2.9%
無回答	18	-	29	-	20	-
合計	1174	-	966	-	1421	-
回答者数(合計-無回答)	1156	100.0%	937	100.0%	1401	100.0%

その他： 医療職(6)、臨時・嘱託職員(3)、派遣社員(3)、シルバー人材センター(2)、施設(2)、専門職(2)、  
 管理人、内職、和裁、芸術家、ボランティア、自由業 など

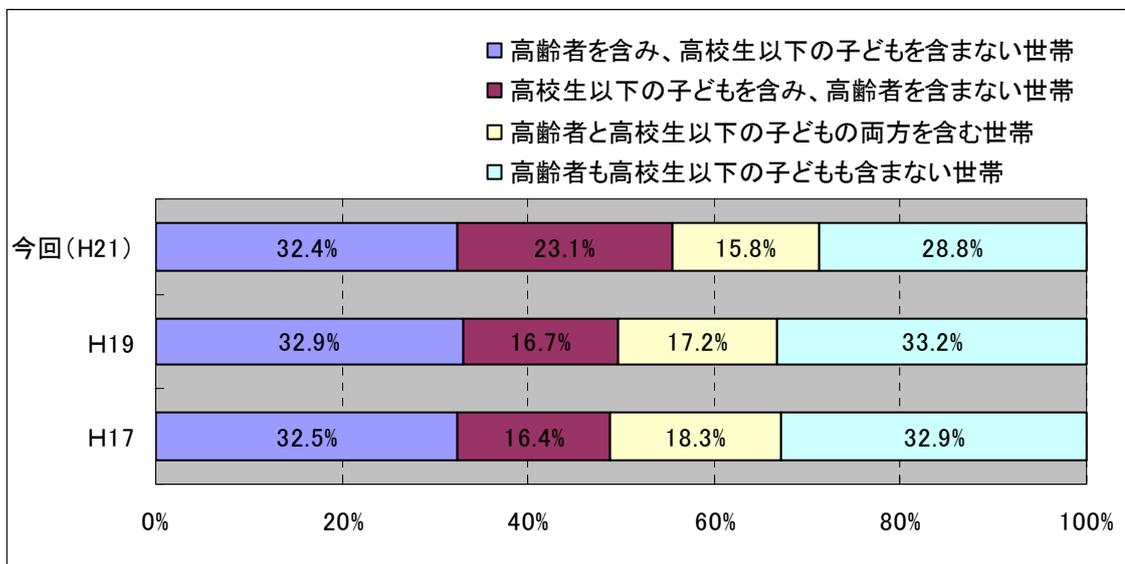
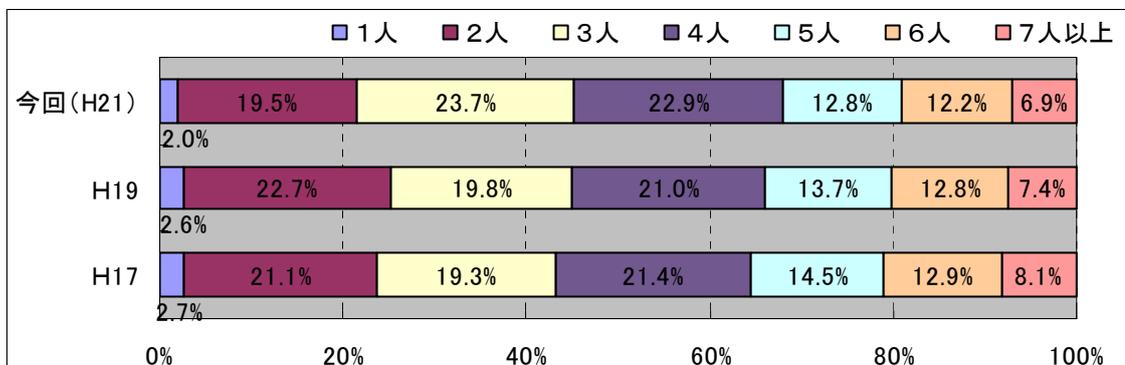
※( ):H21における回答者数



## 問 5 家族人数（世帯タイプ）

- ◆ 「3人」が23.7%と最も多く、次いで「4人」22.9%、「2人」19.5%となっています。
- ◆ H17、H19 と比べ、家族人数「1人」「2人」および「5人」以上の割合が減少し、「3人」「4人」の割合が増加しています。
- ◆ H17、H19 と比べ、「高校生以下の子どもを含み、高齢者を含まない世帯」の割合が増加し、「高齢者と高校生以下の子どもの両方を含む世帯」「高齢者も高校生以下の子どもも含まない世帯」の割合が減少しています。

選択項目		今回(H21)		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	1人	23	2.0%	24	2.6%	38	2.7%
2	2人	225	19.5%	214	22.7%	297	21.1%
3	3人	273	23.7%	186	19.8%	272	19.3%
4	4人	264	22.9%	198	21.0%	301	21.4%
5	5人	148	12.8%	129	13.7%	204	14.5%
6	6人	141	12.2%	120	12.8%	182	12.9%
7	7人以上	80	6.9%	70	7.4%	114	8.1%
	無回答	20	-	25	-	13	-
	合計	1174	-	966	-	1421	-
	回答者数(合計-無回答)	1154	100.0%	941	100.0%	1408	100.0%



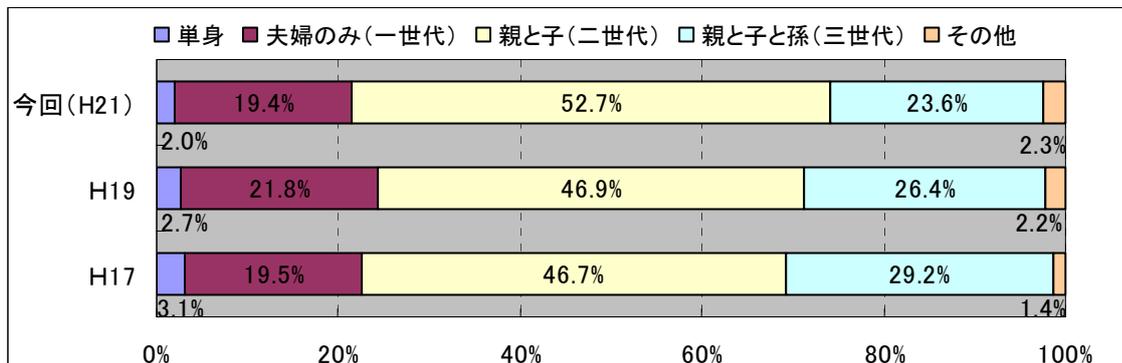
**問 6 家族構成**

- ◆ 「親と子（二世代）」が 52.7%と最も多く、次いで「親と子と孫（三世代）」23.6%、「夫婦のみ（一世代）」19.4%となっています。
- ◆ 「親と子（二世代）」は H17、H19 と比べて約 6 ポイント増加し、「親と子と孫（三世代）」は、H17 から H21 にかけて約 3 ポイントずつ減少しています。

選択項目		今回(H21)		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	単身	23	2.0%	25	2.7%	44	3.1%
2	夫婦のみ(一世代)	225	19.4%	205	21.8%	274	19.5%
3	親と子(二世代)	611	52.7%	442	46.9%	657	46.7%
4	親と子と孫(三世代)	274	23.6%	249	26.4%	411	29.2%
5	その他	27	2.3%	21	2.2%	20	1.4%
	無回答	14	-	24	-	15	-
	合計	1174	-	966	-	1421	-
	回答者数(合計-無回答)	1160	100.0%	942	100.0%	1406	100.0%

その他： 四世代(11)、夫婦とその兄弟・姉妹(3)、夫婦と孫(2)、親と子と叔父、親と子と孫と叔父、兄弟・姉妹、グループホーム、友人 など

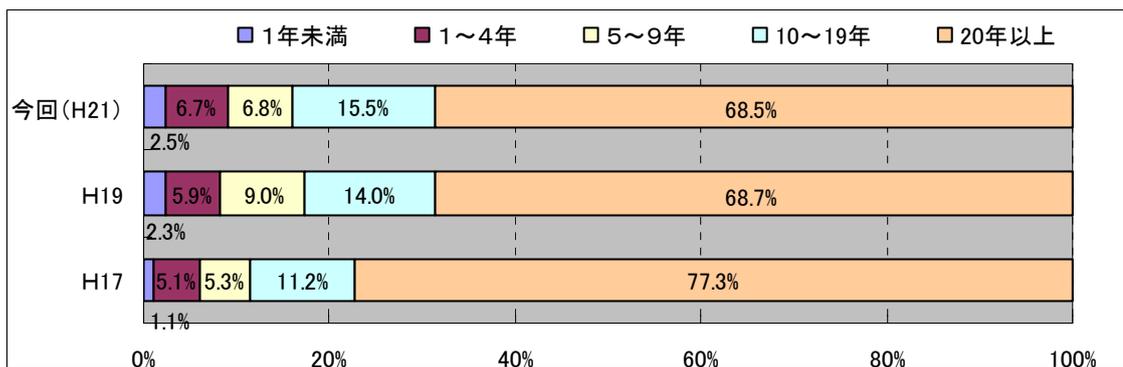
※( ):H21 における回答者数



### 問 7 能美市での居住年数（旧 3 町時代含む）

- ◆ 「20 年以上」が 68.5%と最も多く、次いで「10～19 年」15.5%となっており、市内に 10 年以上居住している回答者が 84%を占めています。
- ◆ 「20 年以上」能美市に居住している人の割合は、H17 から H19 にかけて 8.6 ポイント減少していますが、H19 と H21 の間にはほとんど差がありません。

選択項目		今回 (H21)		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	1年未満	29	2.5%	22	2.3%	15	1.1%
2	1～4年	78	6.7%	56	5.9%	72	5.1%
3	5～9年	79	6.8%	85	9.0%	75	5.3%
4	10～19年	181	15.5%	132	14.0%	158	11.2%
5	20年以上	799	68.5%	648	68.7%	1091	77.3%
	無回答	8	-	23	-	10	-
	合計	1174	-	966	-	1421	-
	回答者数(合計－無回答)	1166	100.0%	943	100.0%	1411	100.0%



**問 8 通勤・通学先**

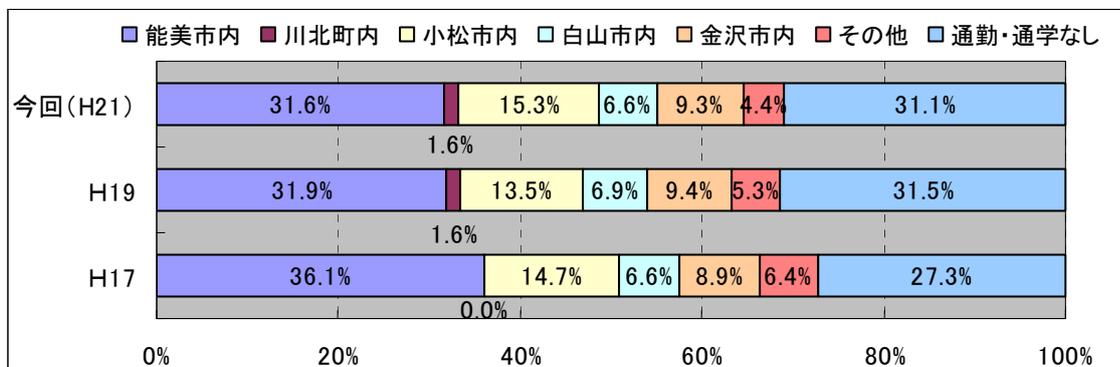
- ◆「能美市内」が 31.6%と最も多く、次いで「小松市内」15.3%、「金沢市内」9.3%となっています。一方、主婦や自営業、無職の回答者が存在していることから、「通勤・通学なし」との回答が 31.1%を占めています。
- ◆H19 から H21 にかけて、通勤・通学先の割合にはほとんど差がありません。

選択項目	今回(H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 能美市内	345	31.6%	283	31.9%	475	36.1%
2 川北町内	18	1.6%	14	1.6%	0	0.0%
3 小松市内	167	15.3%	120	13.5%	193	14.7%
4 白山市内	72	6.6%	61	6.9%	87	6.6%
5 金沢市内	102	9.3%	83	9.4%	117	8.9%
6 その他	48	4.4%	47	5.3%	84	6.4%
7 通勤・通学なし	339	31.1%	279	31.5%	359	27.3%
無回答	83	-	79	-	106	-
合計	1174	-	966	-	1421	-
回答者数(合計-無回答)	1091	100.0%	887	100.0%	1315	100.0%

その他： 野々市町(14)、加賀市(8)、かほく市(4)、あわら市、富山県(4)、大阪府(3)、滋賀県、新潟県、愛知県 など

※通勤・通学先が、石川県・富山県以外の回答者は、学生と単身赴任中の会社員

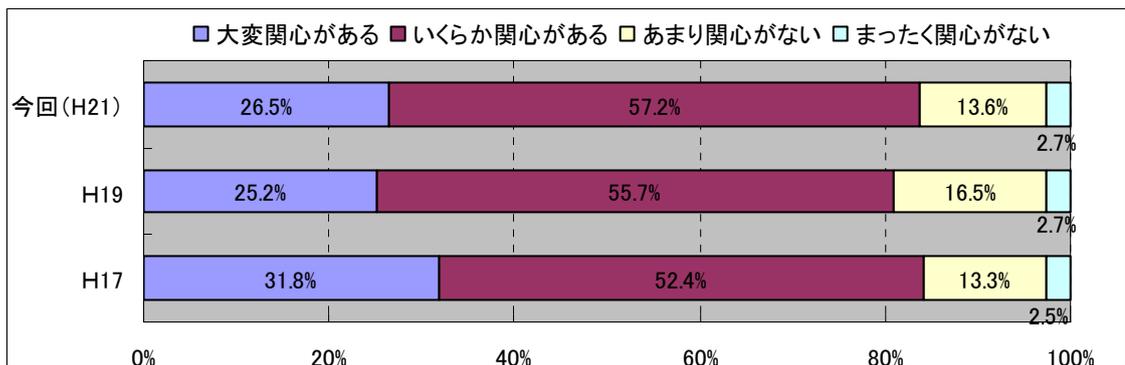
※( ):H21における回答者数



### 問 9 能美市の行政に関心がありますか？

- ◆ 「いくらか関心がある」が 57.2%と最も多く、次いで「大変関心がある」26.5%となっており、合わせて8割以上の回答者が市政に関心を持っています。
- ◆ 「大変関心がある」「いくらか関心がある」の合計は、いずれの調査においても全体の約8割となっています。しかし、H17と比較すると「大変関心がある」が約5ポイント減少し、その分「いくらか関心がある」が増加しています。

選択項目	今回 (H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 大変関心がある	305	26.5%	236	25.2%	441	31.8%
2 いくらか関心がある	658	57.2%	522	55.7%	726	52.4%
3 あまり関心がない	157	13.6%	155	16.5%	184	13.3%
4 まったく関心がない	31	2.7%	25	2.7%	35	2.5%
無回答	23	-	28	-	35	-
合計	1174	-	966	-	1421	-
回答者数(合計－無回答)	1151	100.0%	938	100.0%	1386	100.0%



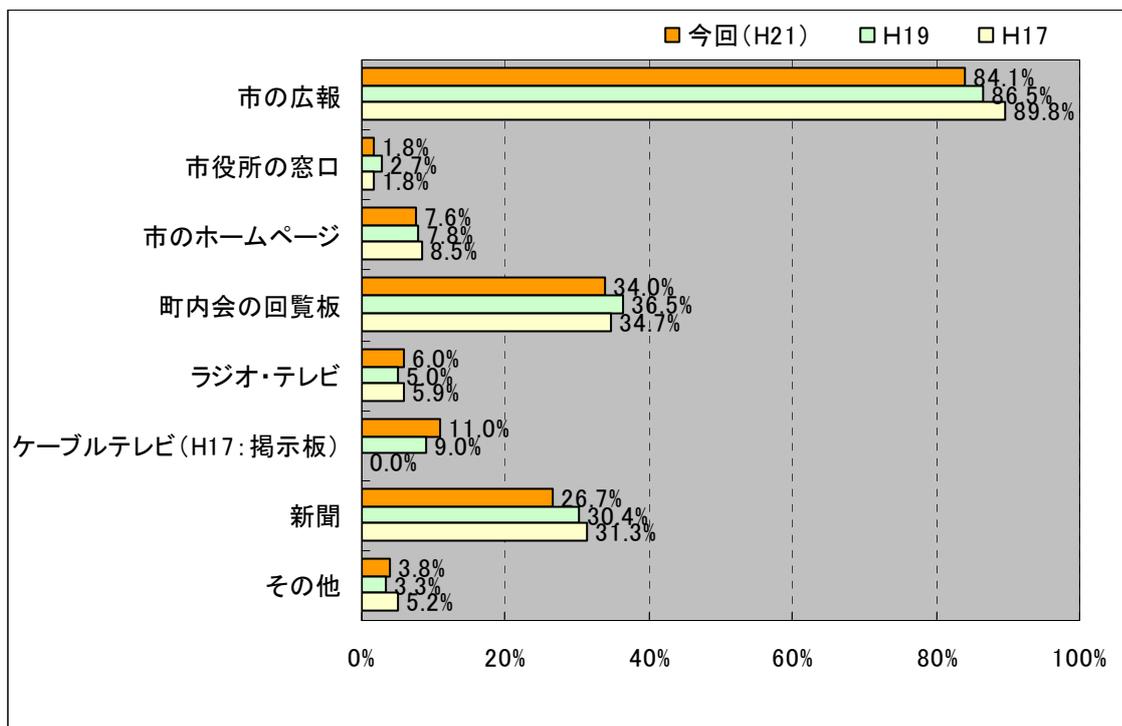
**問 10 市政情報の主な入手方法は何か？（主な 2 つに○）**

- ◆ 「市の広報」が 84.1%と最も多く、次いで「町内会の回覧板」34.0%、「新聞」26.7%、「ケーブルテレビ」11.0%となっており、「市役所の窓口」「市のホームページ」「ラジオ・テレビ」は1割未満となっています。
- ◆ 「ケーブルテレビ」からの情報の入手が増加しており、H19 と比べて2ポイント多くなっています。
- ◆ 一方、「市の広報」からの情報の入手が減少しており、H17 と比べて 5.7 ポイント、H19 と比べて 2.4 ポイント少なくなっています。

選択項目	今回(H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 市の広報	945	84.1%	794	86.5%	1235	89.8%
2 市役所の窓口	20	1.8%	25	2.7%	25	1.8%
3 市のホームページ	85	7.6%	72	7.8%	117	8.5%
4 町内会の回覧板	382	34.0%	335	36.5%	477	34.7%
5 ラジオ・テレビ	67	6.0%	46	5.0%	81	5.9%
6 ケーブルテレビ(H17: 掲示板)	124	11.0%	83	9.0%	0	0.0%
7 新聞	300	26.7%	279	30.4%	430	31.3%
8 その他	43	3.8%	30	3.3%	71	5.2%
回答数	2016	179.4%	1664	181.3%	2436	177.0%
無回答	50	-	48	-	45	-
回答者数	1124	100.0%	918	100.0%	1376	100.0%

その他： 口コミ(18)、有線放送(10)、無線放送(3)、議員報告(2)、議会傍聴 など

※( ):H21における回答者数

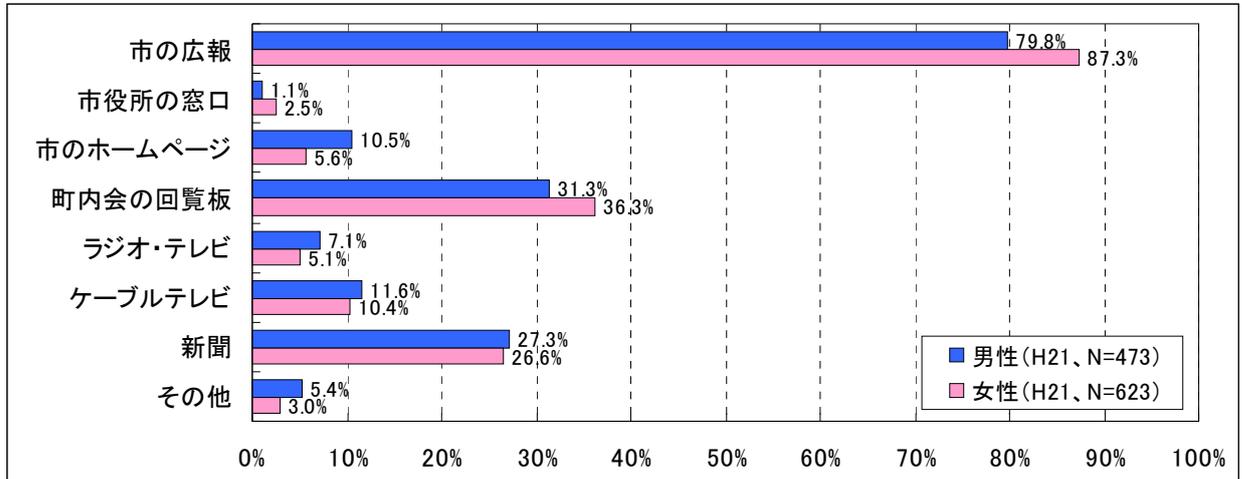


※ 「ケーブルテレビ」は、H17は調査項目なし

■ 市政情報の入手方法（性別）

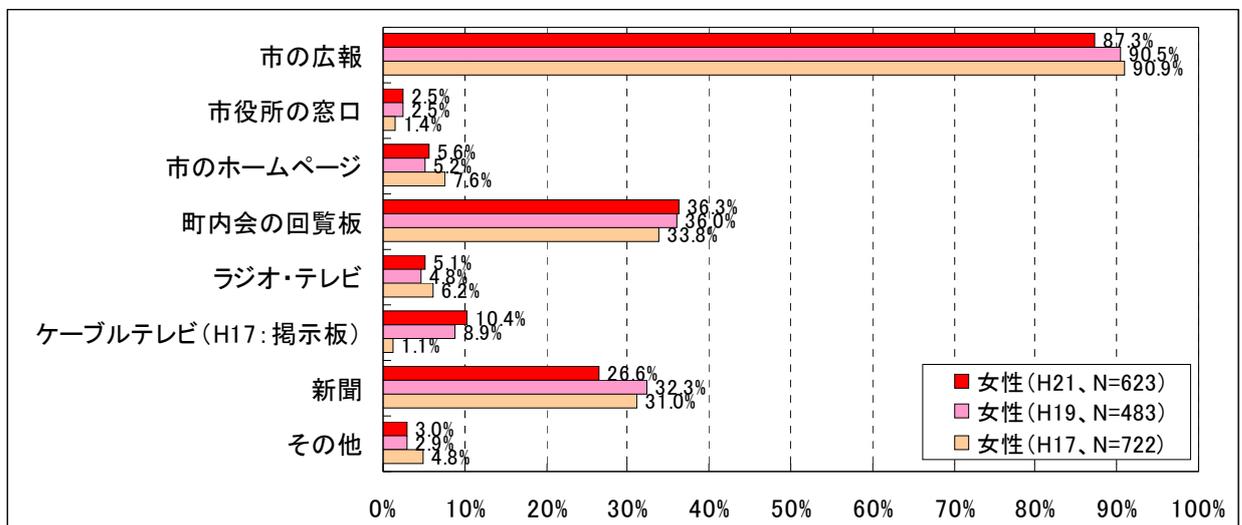
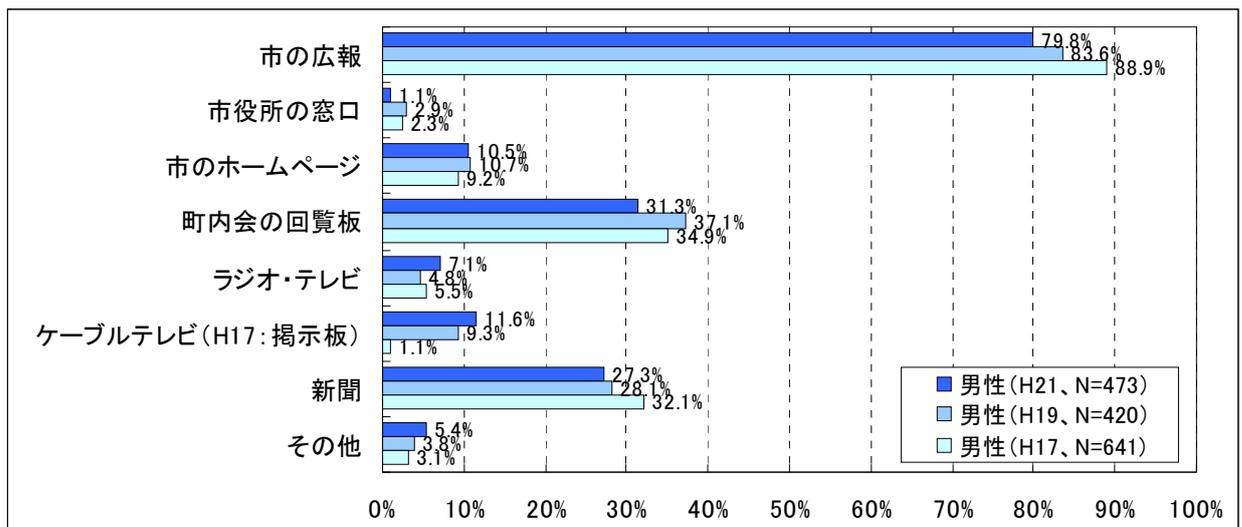
【今回（H21）】

・「市の広報」や「町内会の回覧板」からの情報入手は、女性が男性より5ポイント以上高くなっています。



【経年変化】

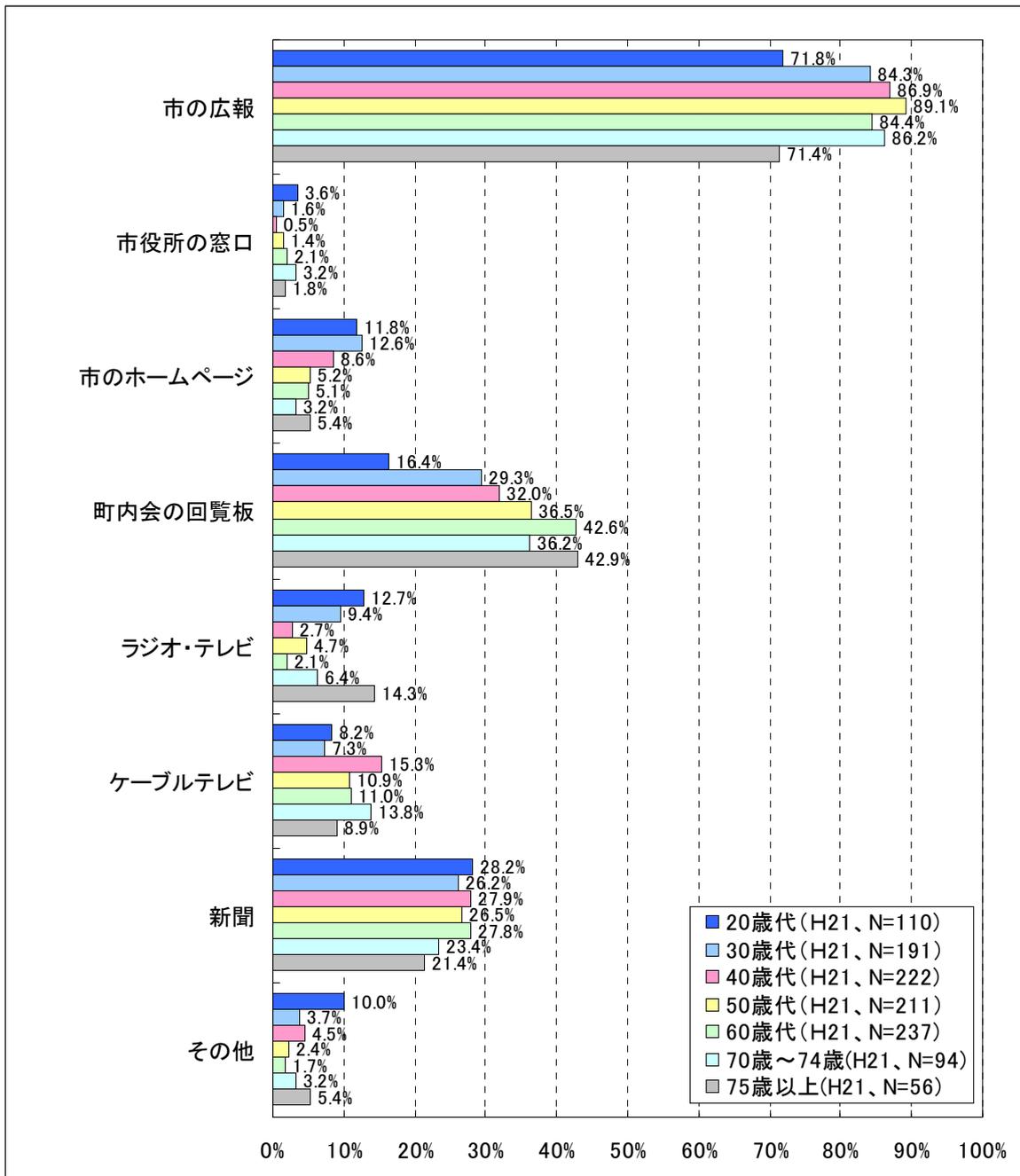
・男性の「市の広報」からの情報入手が、特に減少傾向となっています。



■ 市政情報の入手方法（年代別）

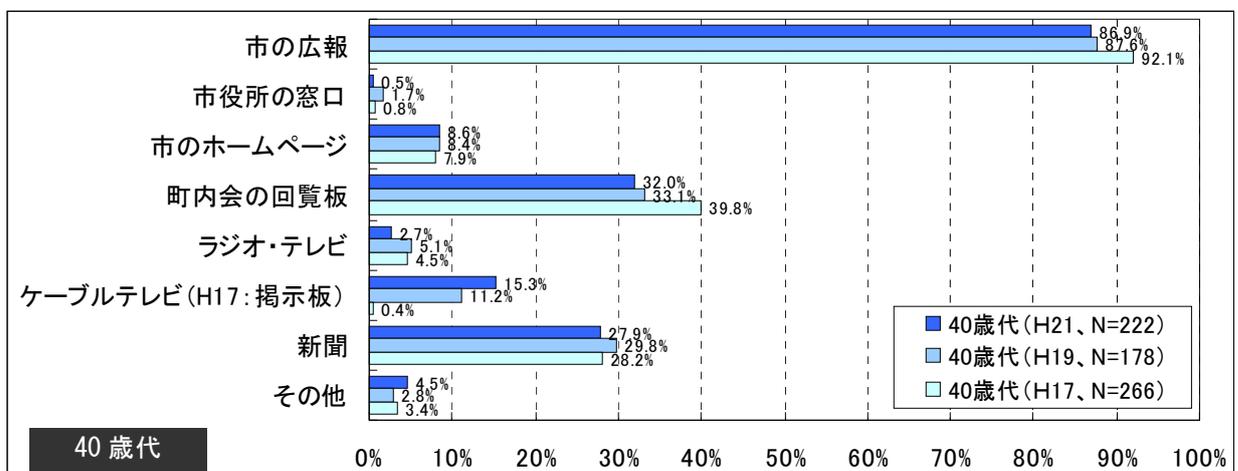
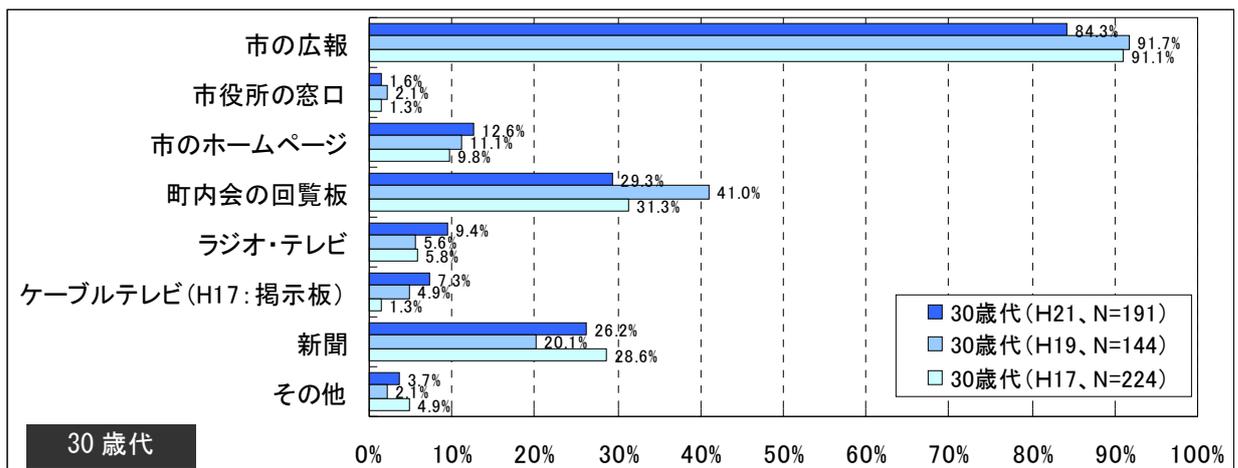
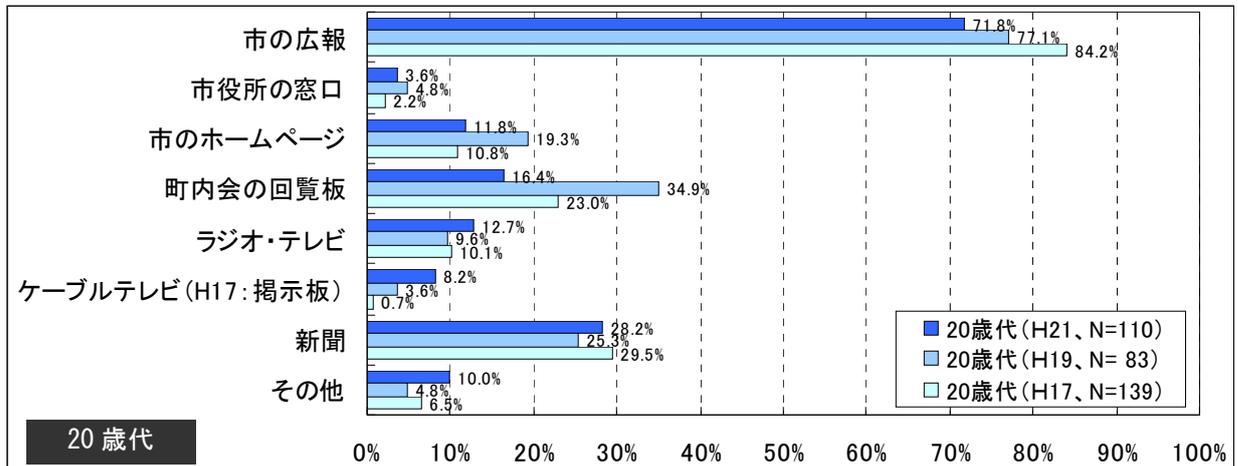
【今回（H21）】

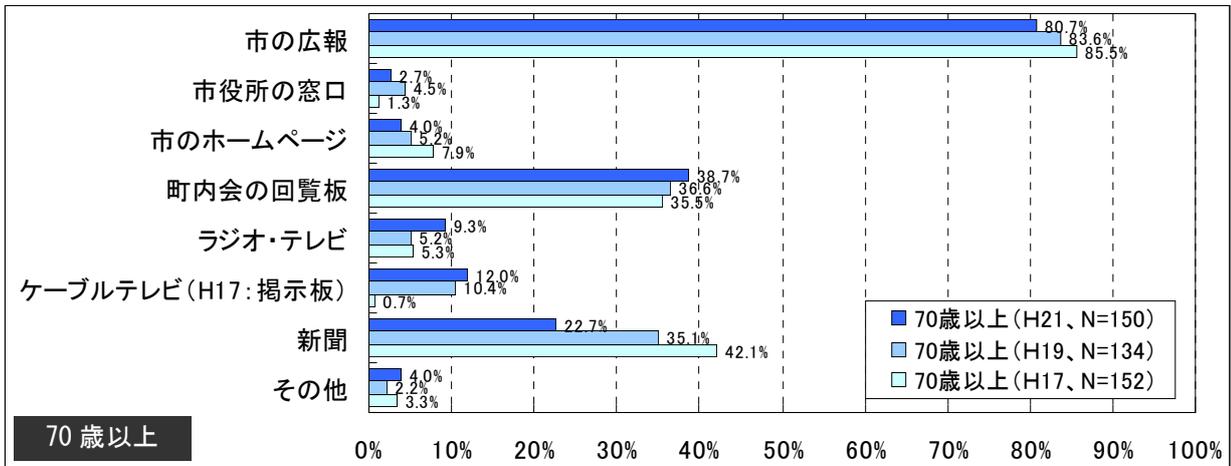
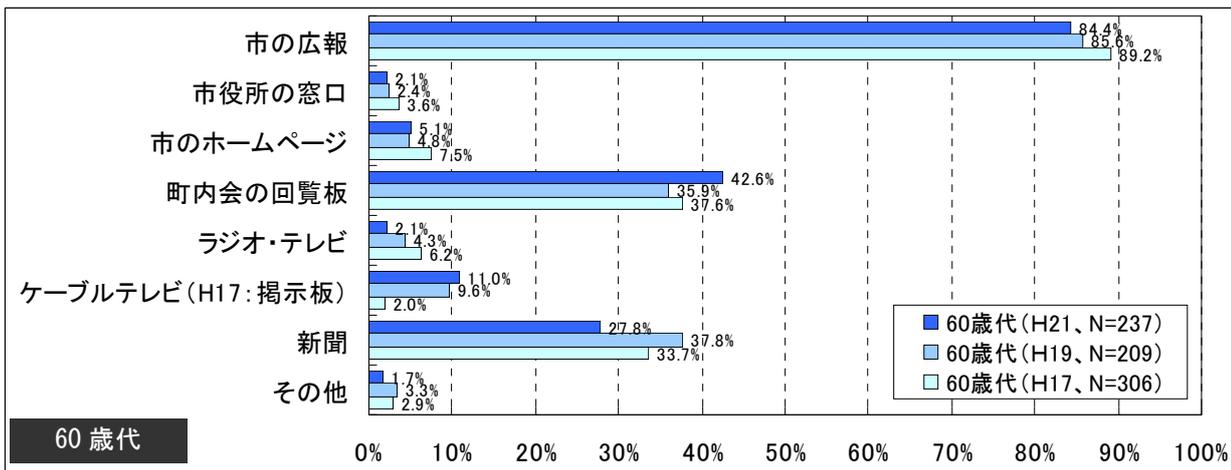
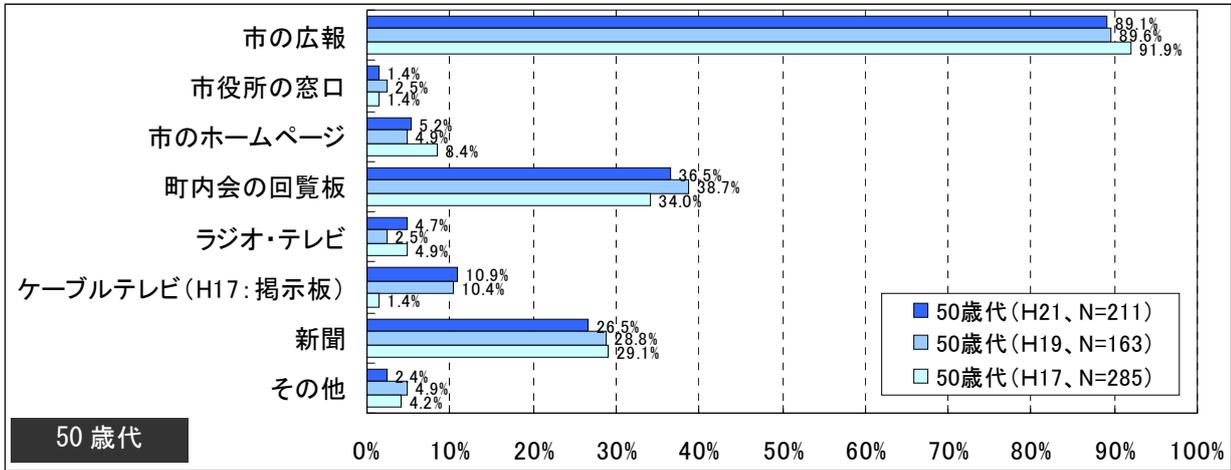
- ・どの年代においても「市の広報」からの情報入手が最も多く、特に 30～74 歳は 8 割以上となっています。
- ・20 歳代は、他の年代と比較して「町内会の回覧板」との回答が 12.9 ポイント以上少なくなっています。



【経年変化】

- ・どの年代においても「市の広報」からの情報入手が減少傾向となっています。
- ・「新聞」との回答は、60 歳以上で減少傾向にあり、H19 と比較して 10 ポイント以上少なくなっています。

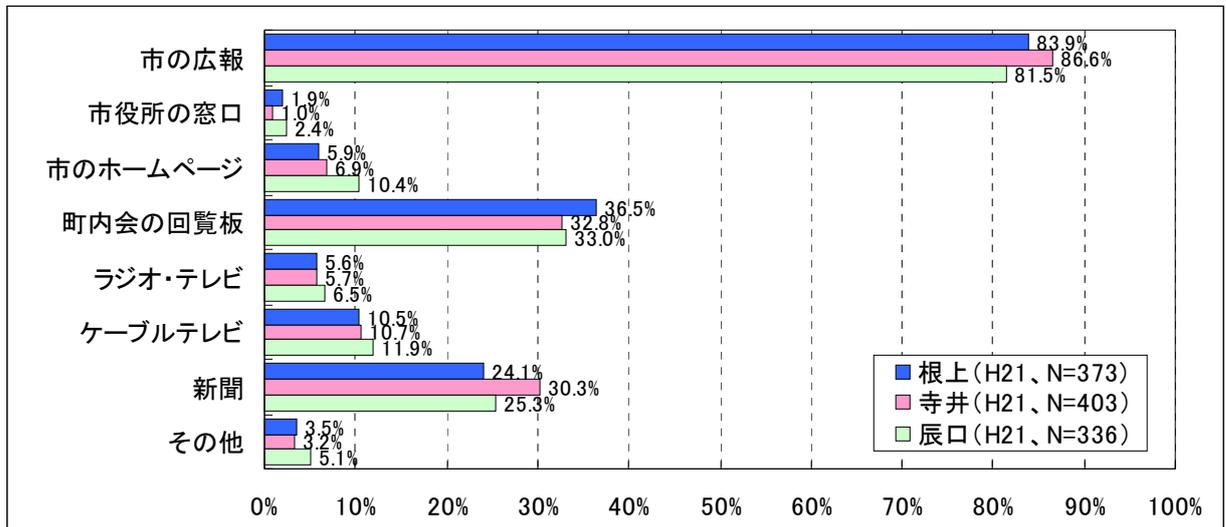




## ■ 市政情報の入手方法（地区別）

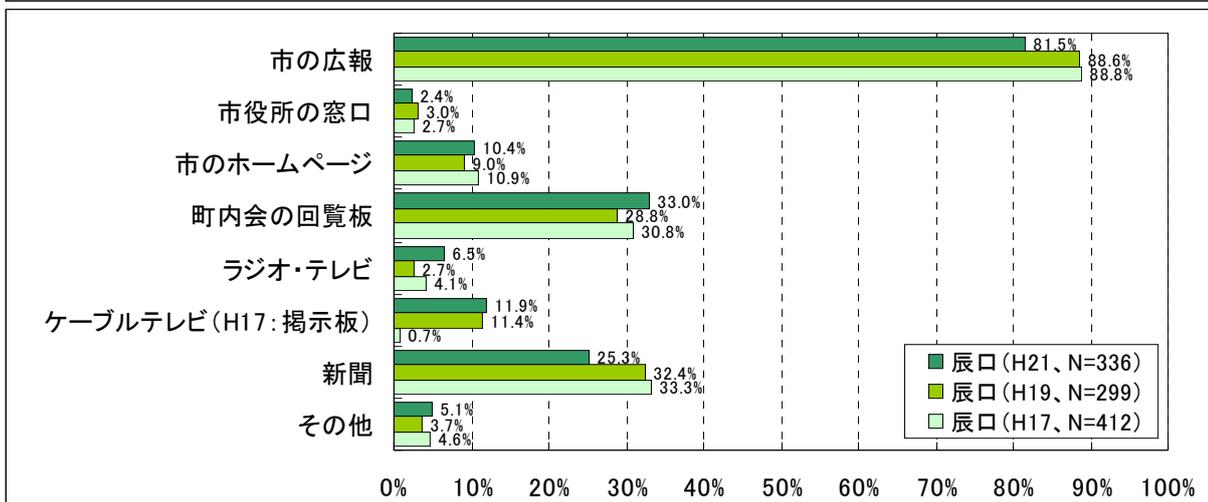
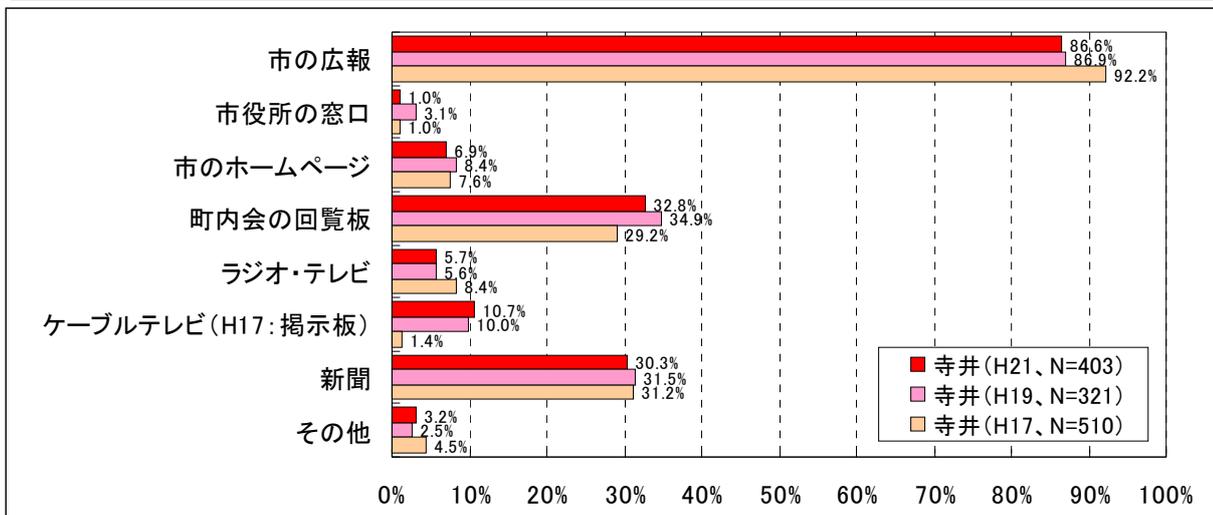
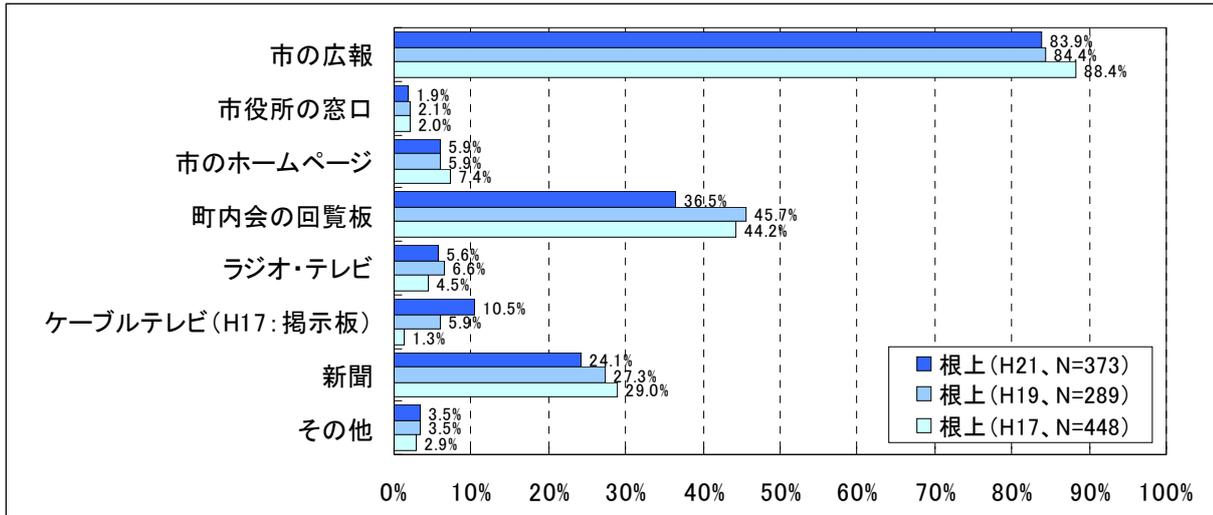
### 【今回（H21）】

- ・地区別の傾向は同じで、いずれも 8 割以上が「市の広報」から市政情報を入手しています。
- ・「市のホームページ」「町内会の回覧板」「新聞」は、地区によって 3 ポイント以上の差があり、それぞれ辰口、根上、寺井で割合が高くなっています。



【経年変化】

- ・「町内会の回覧板」は、寺井、辰口ではあまり変化がないものの、根上では H19 と比較して約 9 ポイント減っています。
- ・また、「ケーブルテレビ」は、導入時期の影響から、根上のみで顕著な増加がみられ、H19 と比較して約 5 ポイント増となっています。
- ・「新聞」は、辰口で特に減少しており、H19 から約 7 ポイント減っています。



## (2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

問 11

能美市の取り組みについて、「あなたの満足度」はどのくらいですか。また、「さらに取り組みを進めることは、能美市にとってどのくらい重要である」と考えますか。

- 第一次能美市総合計画で示している 51 の施策について、満足度と重要度の評価点を算出しました。
- また、能美市における施策全体の総合評価（満足度）を算出しました。

## ※評価点の算出

- ・ 重要度と満足度については、下記の計算式にあるように数段階の評価に点数を与え、評価点を算出しています。ただし、無回答については除外しました。
- ・ 点数が高いほど重要度、満足度が高く、反対に点数が低いほど重要度、満足度は低くなります。

## 【評価点の算出式】

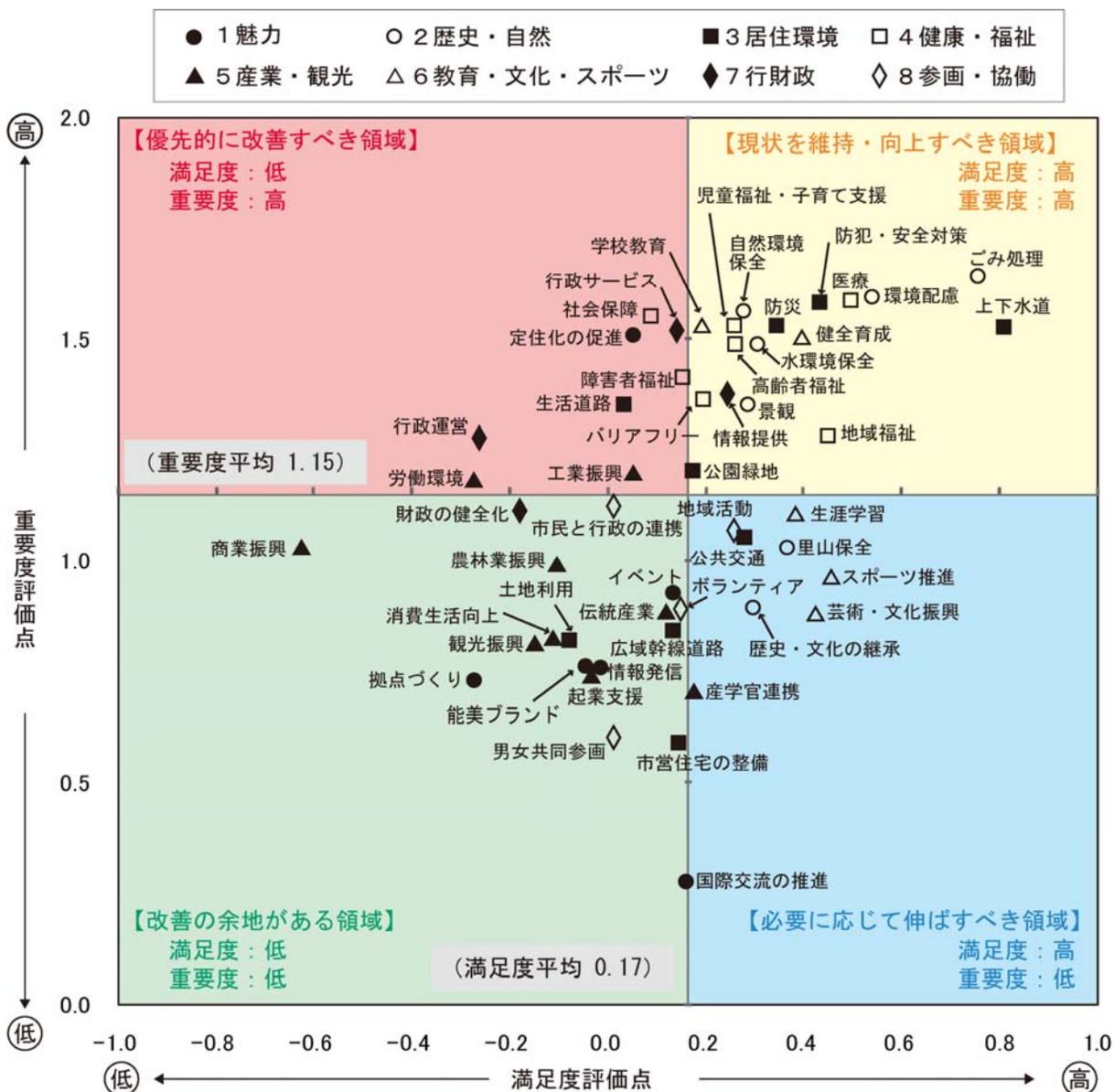
$$\text{満足度評価点} = \{ \text{満足である} \times (2 \text{ 点}) + \text{やや満足である} \times (1 \text{ 点}) + \text{やや不満である} \times (-1 \text{ 点}) + \text{不満である} \times (-2 \text{ 点}) + \text{わからない} \times (0 \text{ 点}) \} \div \text{回答者数}$$

$$\text{重要度評価点} = \{ \text{重要である} \times (2 \text{ 点}) + \text{やや重要である} \times (1 \text{ 点}) + \text{あまり重要でない} \times (-1 \text{ 点}) + \text{重要でない} \times (-2 \text{ 点}) \} \div \text{回答者数}$$

■満足度と重要度の評価点の相関

- ・満足度が低く重要度が高い（優先的に改善すべき項目）としては、「1-3. 定住化の促進」や「3-5. 身近な生活道路の整備」「4-3. 障害者福祉の取り組み」「4-5. 社会保障の取り組み」「5-3. 工業の振興」「5-8. 労働環境の向上・支援」「7-1. 効率的な行政運営の取り組み」「7-3. 行政サービスの向上への取り組み」などが挙げられ、特に 1-3、3-5、4-5、7-1、7-3 は H17 と H19 にも優先的に改善すべき項目と評価されています。
- ・「2-2. 豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み」は、H17、H19 では優先的に改善すべき項目となっていました。満足度が上がったため、H21 には現状を維持・向上すべき項目となりました。
- ・歴史・自然や居住環境、健康・福祉など生活に身近な項目に対する満足度が比較的高く、魅力や産業・観光のように対外的に誇れるものに対する満足度が低い傾向があります。

【満足度－重要度グラフ（H21）】



※領域の色：p21 の満足度および重要度の評価点一覧の色に対応

マーク： p21 の満足度および重要度の評価点一覧の分類に対応

【満足度および重要度の評価点一覧 (H21、H19、H17)】

	評価項目	H21評価点		H19評価点		H17評価点	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 魅力	1-1.地域ごとの拠点づくり	-0.27	0.73	-0.28	0.72	-	-
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.14	0.92	0.15	0.77	-	-
	1-3.定住化の促進	0.06	1.50	-0.06	1.23	-	-
	1-4.“能美ブランド”づくり	-0.03	0.76	0.06	0.82	-0.12	0.76
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	-0.01	0.76	-0.05	0.83	-0.06	1.02
	1-6.国際交流の推進	0.16	0.28	0.21	0.37	0.27	0.54
	2 歴史・自然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.30	0.89	0.26	0.80	0.33
2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み		0.28	1.56	-0.01	1.50	-0.01	1.22
2-3.里山をまもり、活かす取り組み		0.37	1.03	0.09	0.92	0.05	1.09
2-4.水環境をまもり、活かす取り組み		0.30	1.48	0.12	1.37	0.15	1.04
2-5.環境に配慮した取り組み		0.54	1.59	0.24	1.58	-0.05	1.24
2-6.ごみ処理対策		0.76	1.64	0.58	1.61	0.31	1.61
2-7.きれいなまちなみ・景観づくり		0.29	1.36	0.03	0.83	0.22	0.72
3 居住環境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	0.17	1.20	0.01	1.09	0.27	0.85
	3-2.市営住宅の整備	0.15	0.59	0.16	0.40	0.16	0.19
	3-3.適正な土地利用の推進	-0.07	0.82	-0.17	1.03	-	-
	3-4.広域幹線道路網の整備	0.14	0.84	0.30	1.01	0.61	0.86
	3-5.身近な生活道路の整備	0.03	1.35	0.00	1.38	0.44	1.10
	3-6.公共交通網の整備	0.27	1.07	-0.08	1.01	-0.49	0.92
	3-7.上下水道の整備	0.81	1.53	0.69	1.43	0.51	1.40
	3-8.防犯・交通安全対策の推進	0.44	1.58	0.40	1.55	0.11	1.62
	3-9.防災対策の推進	0.35	1.53	0.36	1.53	0.11	1.61
4 健康・福祉	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	0.50	1.59	0.36	1.57	0.35	1.59
	4-2.高齢者福祉の取り組み	0.27	1.49	0.18	1.48	0.12	1.54
	4-3.障害者福祉の取り組み	0.16	1.42	0.17	1.34	0.06	1.45
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	0.27	1.54	0.19	1.55	0.09	1.56
	4-5.社会保障の取り組み	0.09	1.55	-0.20	1.54	-0.15	1.41
	4-6.バリアフリーの取り組み	0.20	1.36	0.12	1.23	-0.19	1.36
	4-7.地域福祉の取り組み	0.45	1.28	0.39	1.26	-	-
5 産業・観光	5-1.農林業の振興	-0.10	0.99	-0.15	0.88	-0.02	0.75
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	-0.63	1.03	-0.58	0.97	-0.66	1.09
	5-3.工業の振興	0.05	1.20	0.03	1.01	-0.02	1.00
	5-4.観光の振興	-0.14	0.81	-0.13	0.71	-0.19	0.76
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.18	0.70	0.04	0.57	0.03	0.73
	5-6.起業支援・産業連携	-0.04	0.75	-0.08	0.53	-0.17	0.79
	5-7.九谷焼などの伝統産業の振興	0.15	0.89	0.06	0.74	0.12	0.82
	5-8.労働環境の向上・支援	-0.27	1.18	-0.24	1.02	-	-
	5-9.消費生活の向上への取り組み	-0.11	0.82	-0.23	0.88	-	-
6 スポーツ・文化・教育	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	0.19	1.53	0.03	1.60	0.10	1.51
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	0.40	1.50	0.14	1.52	0.26	1.28
	6-3.生涯学習の取り組み	0.38	1.09	0.37	1.01	0.31	0.84
	6-4.芸術・文化の振興	0.43	0.88	0.37	0.82	-	-
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	0.46	0.96	0.41	0.86	0.43	0.71
7 行財政	7-1.効率的な行政運営の取り組み	-0.26	1.28	-0.23	1.22	-	-
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	-0.18	1.12	-0.21	1.17	-0.25	1.22
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	0.14	1.52	-0.27	1.36	-0.29	1.15
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	0.25	1.38	0.04	1.31	-0.05	1.20
8 参画・協働	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	0.02	1.12	-0.04	1.12	-0.17	1.32
	8-2.町内会や校区などの地域活動	0.28	1.06	0.18	1.01	0.32	1.03
	8-3.ボランティアやNPO等への支援	0.13	0.86	0.15	0.81	0.07	0.85
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	0.01	0.60	0.06	0.68	0.10	0.49
平均	0.17	1.15	0.08	1.09	0.07	1.07	
9	9-1.能美市における施策全体の総合評価	0.01	-	-0.06	-	-0.01	-

■優先的に改善すべき項目、■現状を維持・向上すべき項目、■必要に応じて伸ばすべき項目、■改善の余地がある項目（【満足度－重要度グラフ】の領域の色に対応）

## ■満足度の経年変化

- ・満足度の上位 2 項目および下位 2 項目は H19 と変わらず、前者が「3-7 上下水道の整備」「2-6 ごみ処理対策」、後者が「5-2 商業の振興、商店街の活性化」「1-1 地域ごとの拠点づくり」となっています。なお、上位 2 項目は H17 と比較して、評価点が 0.3 以上のプラスとなっています。
- ・H19 と比較して満足度の順位が上がった項目は、上位より順に「2-5 環境に配慮した取り組み」「4-1 医療体制や健康づくりの取り組み」「6-2 青少年の健全育成の取り組み」「2-3 里山をまもり、活かす取り組み」など計 17 項目となっています。
- ・順位が上がった項目の中でも特に、「2-5 環境に配慮した取り組み」と「3-6 公共交通網の整備」の評価点は、H17 と比較して 0.5 以上、H19 と比較して 0.3 以上のプラスとなっており、大きく向上したといえます。
- ・一方、順位が低下がみられる項目は、上位より順に「6-5 スポーツ・レクリエーションの推進」「4-7 地域福祉の取り組み」「3-8 防犯・交通安全対策の推進」「6-4 芸術・文化の振興」など計 29 項目となっています。
- ・順位の下がった項目の中でも、「3-4 広域幹線道路網の整備」と「3-5 身近な生活道路の整備」の評価点は、H17 と比較して 0.3 以上のマイナスとなっていますが、H19 とはあまり差がありません。

## 【満足度の評価点ランキング】

順位			質問項目	評価点				
今回 H21	変動	H19		今回 H21	H19	H17	差 H21-H19	差 H21-H17
1	→	1	3-7 上下水道の整備	0.81	0.69	0.51	0.12	0.30
2	→	2	2-6 ごみ処理対策	0.76	0.58	0.31	0.18	0.44
3	↑	12	2-5 環境に配慮した取り組み	0.54	0.24	-0.05	0.30	0.59
4	↑	8	4-1 医療体制や健康づくりの取り組み	0.50	0.36	0.35	0.14	0.15
5	↓	3	6-5 スポーツ・レクリエーションの推進	0.46	0.41	0.43	0.04	0.03
6	↓	5	4-7 地域福祉の取り組み	0.45	0.39	-	0.07	-
7	↓	4	3-8 防犯・交通安全対策の推進	0.44	0.40	0.11	0.05	0.33
8	↓	7	6-4 芸術・文化の振興	0.43	0.37	-	0.06	-
9	↑	21	6-2 青少年の健全育成の取り組み	0.40	0.14	0.26	0.26	0.14
10	↓	6	6-3 生涯学習の取り組み	0.38	0.37	0.31	0.01	0.07
11	↑	24	2-3 里山をまもり、活かす取り組み	0.37	0.09	0.05	0.28	0.32
12	↓	9	3-9 防災対策の推進	0.35	0.36	0.11	△ 0.01	0.23
13	↑	22	2-4 水環境をまもり、活かす取り組み	0.30	0.12	0.15	0.18	0.15
14	↓	11	2-1 歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.30	0.26	0.33	0.04	△ 0.03
15	↑	32	2-7 きれいなまちなみ・景観づくり	0.29	0.03	0.22	0.26	0.07
16	↑	35	2-2 豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	0.28	-0.01	-0.01	0.29	0.29
17	↓	15	8-2 町内会や校区などの地域活動	0.28	0.18	0.32	0.09	△ 0.05
18	↓	16	4-2 高齢者福祉の取り組み	0.27	0.18	0.12	0.08	0.14
19	↑	39	3-6 公共交通網の整備	0.27	-0.08	-0.49	0.34	0.76
20	↓	14	4-4 児童福祉・子育て支援の取り組み	0.27	0.19	0.09	0.08	0.18
21	↑	28	7-4 市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	0.25	0.04	-0.05	0.20	0.29
22	↑	23	4-6 バリアフリーの取り組み	0.20	0.12	-0.19	0.08	0.38
23	↑	30	6-1 学校教育の充実に向けた取り組み	0.19	0.03	0.10	0.16	0.10
24	↑	29	5-5 北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.18	0.04	0.03	0.14	0.15
25	↑	33	3-1 生活に身近な公園や緑地の整備	0.17	0.01	0.27	0.17	△ 0.09
26	↓	17	4-3 障害者福祉の取り組み	0.16	0.17	0.06	△ 0.00	0.10
27	↓	13	1-6 国際交流の推進	0.16	0.21	0.27	△ 0.05	△ 0.11
28	↓	26	5-7 九谷焼などの伝統産業の振興	0.15	0.06	0.12	0.09	0.03
29	↓	18	3-2 市営住宅の整備	0.15	0.16	0.16	△ 0.02	△ 0.02
30	↑	49	7-3 行政サービスの向上への取り組み	0.14	-0.27	-0.29	0.42	0.43
31	↓	19	1-2 魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.14	0.15	-	△ 0.02	-
32	↓	10	3-4 広域幹線道路網の整備	0.14	0.30	0.61	△ 0.16	△ 0.47
33	↓	20	8-3 ボランティアやNPO等への支援	0.13	0.15	0.07	△ 0.02	0.06
34	↑	44	4-5 社会保障の取り組み	0.09	-0.20	-0.15	0.29	0.24
35	↑	38	1-3 定住化の促進	0.06	-0.06	-	0.11	-
36	↓	31	5-3 工業の振興	0.05	0.03	-0.02	0.02	0.07
37	↓	34	3-5 身近な生活道路の整備	0.03	0.00	0.44	0.03	△ 0.41
38	↓	36	8-1 市民と行政が力を合わせたまちづくり	0.02	-0.04	-0.17	0.05	0.19
39	↓	25	8-4 男女共同参画社会づくりの取り組み	0.01	0.06	0.10	△ 0.05	△ 0.09
40	↓	37	1-5 能美市の情報発信・PRの取り組み	-0.01	-0.05	-0.06	0.04	0.05
41	↓	27	1-4 “能美ブランド”づくり	-0.03	0.06	-0.12	△ 0.09	0.09
42	↓	40	5-6 起業支援・産業連携	-0.04	-0.08	-0.17	0.05	0.13
43	→	43	3-3 適正な土地利用の推進	-0.07	-0.17	-	0.09	-
44	↓	42	5-1 農林業の振興	-0.10	-0.15	-0.02	0.05	△ 0.09
45	↑	47	5-9 消費生活の向上への取り組み	-0.11	-0.23	-	0.12	-
46	↓	41	5-4 観光の振興	-0.14	-0.13	-0.19	△ 0.01	0.05
47	↓	45	7-2 財政の健全化に向けた取り組み	-0.18	-0.21	-0.25	0.03	0.07
48	↓	46	7-1 効率的な行政運営の取り組み	-0.26	-0.23	-	△ 0.03	-
49	↓	48	5-8 労働環境の向上・支援	-0.27	-0.24	-	△ 0.04	-
50	→	50	1-1 地域ごとの拠点づくり	-0.27	-0.28	-	0.01	-
51	→	51	5-2 商業の振興、商店街の活性化	-0.63	-0.58	-0.66	△ 0.04	0.03
-	-	-	- 北陸先端科学技術大学院大学との連携	-	0.07	-	-	-
-	-	-	9-1 能美市における施策全体の総合評価	0.01	-0.06	-0.01	0.08	0.03

0.5以上のプラス

0.3以上のプラス

0.3以上のマイナス

(注：評価点の差は、丸め誤差のため、表に示す数値と一致しないことがあります)

## ■重要度の経年変化

- ・生活に密着した施策への重要度が上がっており、逆に、生活には直接関係しない項目（財政の健全化など）について重要度が下がる傾向にあります。
- ・重要度の上位 2 項目は、「2-6 ごみ処理対策」「2-5 環境に配慮した取り組み」、下位 2 項目は、「1-6 国際交流の推進」「3-2 市営住宅の整備」となっています。なお、「2-5 環境に配慮した取り組み」は、H17 と比較して評価点が 0.36 上がっており、H19 よりも順位を上げています。その他の項目の順位は H19 と変わりませんが、「1-6 国際交流の推進」は調査毎に重要度が下がる一方、「3-2 市営住宅の整備」の重要度は H19 と比較して 0.4 のプラスとなっています。
- ・H19 と比較して重要度の順位が上がった項目は、上位より順に「2-5 環境に配慮した取り組み」「4-1 医療体制や健康づくりの取り組み」「3-8 防犯・交通安全対策の推進」「2-2 豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み」など計 24 項目となっています。
- ・順位の上がった項目の中でも特に、「2-7 きれいなまちなみ・景観づくり」の評価点は、H17 と比較して 0.64、H19 と比較して 0.53 のプラスとなっており、H19 から H21 にかけて、大きく変化したと考えられます。
- ・一方、順位の下下がみられる項目は、上位より順に「4-4 児童福祉・子育て支援の取り組み」「3-9 防災対策の推進」「6-1 学校教育の充実に向けた取り組み」「6-2 青少年の健全育成の取り組み」など計 20 項目となっています。
- ・順位の下がった項目の中でも特に、「8-1 市民と行政が力を合わせたまちづくり」「1-5 能美市の情報発信・PR の取り組み」「1-6 国際交流の推進」の評価点は、H17 と比較して 0.2 以上のマイナスとなっていますが、H19 とはあまり差がありません。一方、「3-3 適正な土地利用の推進」の評価点は H19 と比較して 0.2 以上のマイナスとなっています。

## 【重要度の評価点ランキング】

順位			質問項目	評価点				
今回 H21	変動	H19		今回 H21	H19	H17	差 H21-H19	差 H21-H17
1	→	1	2-6 ごみ処理対策	1.64	1.61	1.61	0.03	0.03
2	↑	3	2-5 環境に配慮した取り組み	1.59	1.58	1.24	0.02	0.36
3	↑	4	4-1 医療体制や健康づくりの取り組み	1.59	1.57	1.59	0.02	△ 0.01
4	↑	6	3-8 防犯・交通安全対策の推進	1.58	1.55	1.62	0.04	△ 0.04
5	↑	10	2-2 豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	1.56	1.50	1.22	0.06	0.34
6	↑	7	4-5 社会保障の取り組み	1.55	1.54	1.41	0.00	0.14
7	↓	5	4-4 児童福祉・子育て支援の取り組み	1.54	1.55	1.56	△ 0.01	△ 0.03
8	↑	12	3-7 上下水道の整備	1.53	1.43	1.40	0.10	0.13
9	↓	8	3-9 防災対策の推進	1.53	1.53	1.61	0.00	△ 0.08
10	↓	2	6-1 学校教育の充実に向けた取り組み	1.53	1.60	1.51	△ 0.08	0.01
11	↑	15	7-3 行政サービスの向上への取り組み	1.52	1.36	1.15	0.16	0.37
12	↑	20	1-3 定住化の促進	1.50	1.23	-	0.27	-
13	↓	9	6-2 青少年の健全育成の取り組み	1.50	1.52	1.28	△ 0.02	0.22
14	↓	11	4-2 高齢者福祉の取り組み	1.49	1.48	1.54	0.01	△ 0.05
15	↓	14	2-4 水環境をまもり、活かす取り組み	1.48	1.37	1.04	0.11	0.45
16	→	16	4-3 障害者福祉の取り組み	1.42	1.34	1.45	0.08	△ 0.03
17	→	17	7-4 市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	1.38	1.31	1.20	0.06	0.17
18	↑	19	4-6 バリアフリーの取り組み	1.36	1.23	1.36	0.13	0.01
19	↓	13	3-5 身近な生活道路の整備	1.35	1.38	1.10	△ 0.03	0.25
20	↑	38	2-7 きれいなまちなみ・景観づくり	1.36	0.83	0.72	0.53	0.64
21	↓	18	4-7 地域福祉の取り組み	1.28	1.26	-	0.03	-
22	↓	21	7-1 効率的な行政運営の取り組み	1.28	1.22	-	0.06	-
23	↑	24	3-1 生活に身近な公園や緑地の整備	1.20	1.09	0.85	0.11	0.35
24	↑	30	5-3 工業の振興	1.20	1.01	1.00	0.19	0.20
25	↑	26	5-8 労働環境の向上・支援	1.18	1.02	-	0.16	-
26	↓	23	8-1 市民と行政が力を合わせたまちづくり	1.12	1.12	1.32	0.01	△ 0.20
27	↓	22	7-2 財政の健全化に向けた取り組み	1.12	1.17	1.22	△ 0.05	△ 0.10
28	↑	31	6-3 生涯学習の取り組み	1.09	1.01	0.84	0.09	0.25
29	↓	27	3-6 公共交通網の整備	1.07	1.01	0.92	0.06	0.15
30	↓	29	8-2 町内会や校区などの地域活動	1.06	1.01	1.03	0.05	0.03
31	↑	33	2-3 里山をまもり、活かす取り組み	1.03	0.92	1.09	0.11	△ 0.06
32	→	32	5-2 商業の振興、商店街の活性化	1.03	0.97	1.09	0.06	△ 0.06
33	↑	34	5-1 農林業の振興	0.99	0.88	0.75	0.11	0.24
34	↑	36	6-5 スポーツ・レクリエーションの推進	0.96	0.86	0.71	0.10	0.25
35	↑	43	1-2 魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.92	0.77	-	0.15	-
36	↑	44	5-7 九谷焼などの伝統産業の振興	0.89	0.74	0.82	0.16	0.07
37	↑	42	2-1 歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.89	0.80	0.75	0.09	-
38	↑	39	6-4 芸術・文化の振興	0.88	0.82	-	0.06	-
39	↑	41	8-3 ボランティアやNPO等への支援	0.86	0.81	0.85	0.05	0.01
40	↓	28	3-4 広域幹線道路網の整備	0.84	1.01	0.86	△ 0.17	△ 0.02
41	↓	35	5-9 消費生活の向上への取り組み	0.82	0.88	-	△ 0.06	-
42	↓	25	3-3 適正な土地利用の推進	0.82	1.03	-	△ 0.22	-
43	↑	46	5-4 観光の振興	0.81	0.71	0.76	0.10	0.05
44	↓	37	1-5 能美市の情報発信・PRの取り組み	0.76	0.83	1.02	△ 0.07	△ 0.26
45	↓	40	1-4 “能美ブランド”づくり	0.76	0.82	0.76	△ 0.06	0.00
46	↑	49	5-6 起業支援・産業連携	0.75	0.53	0.79	0.22	△ 0.04
47	↓	45	1-1 地域ごとの拠点づくり	0.73	0.72	-	0.01	-
48	→	48	5-5 北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.70	0.57	0.73	0.13	△ 0.03
49	↓	47	8-4 男女共同参画社会づくりの取り組み	0.60	0.68	0.49	△ 0.08	0.11
50	→	50	3-2 市営住宅の整備	0.59	0.40	0.19	0.19	0.40
51	→	51	1-6 国際交流の推進	0.28	0.37	0.54	△ 0.09	△ 0.26
-	-	-	- 北陸先端科学技術大学院大学との連携	-	0.63	-	-	-

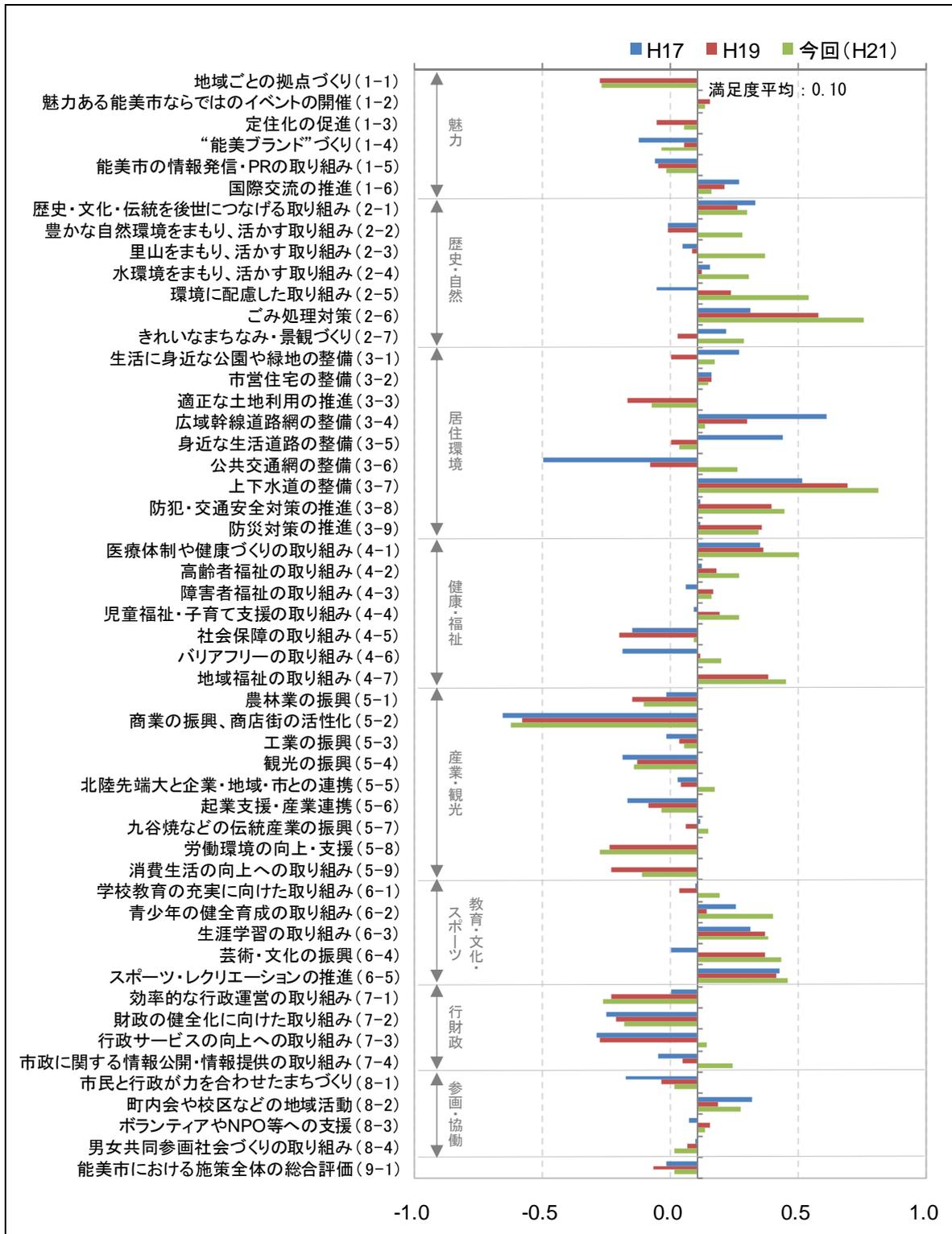
0.5以上のプラス

0.3以上のプラス

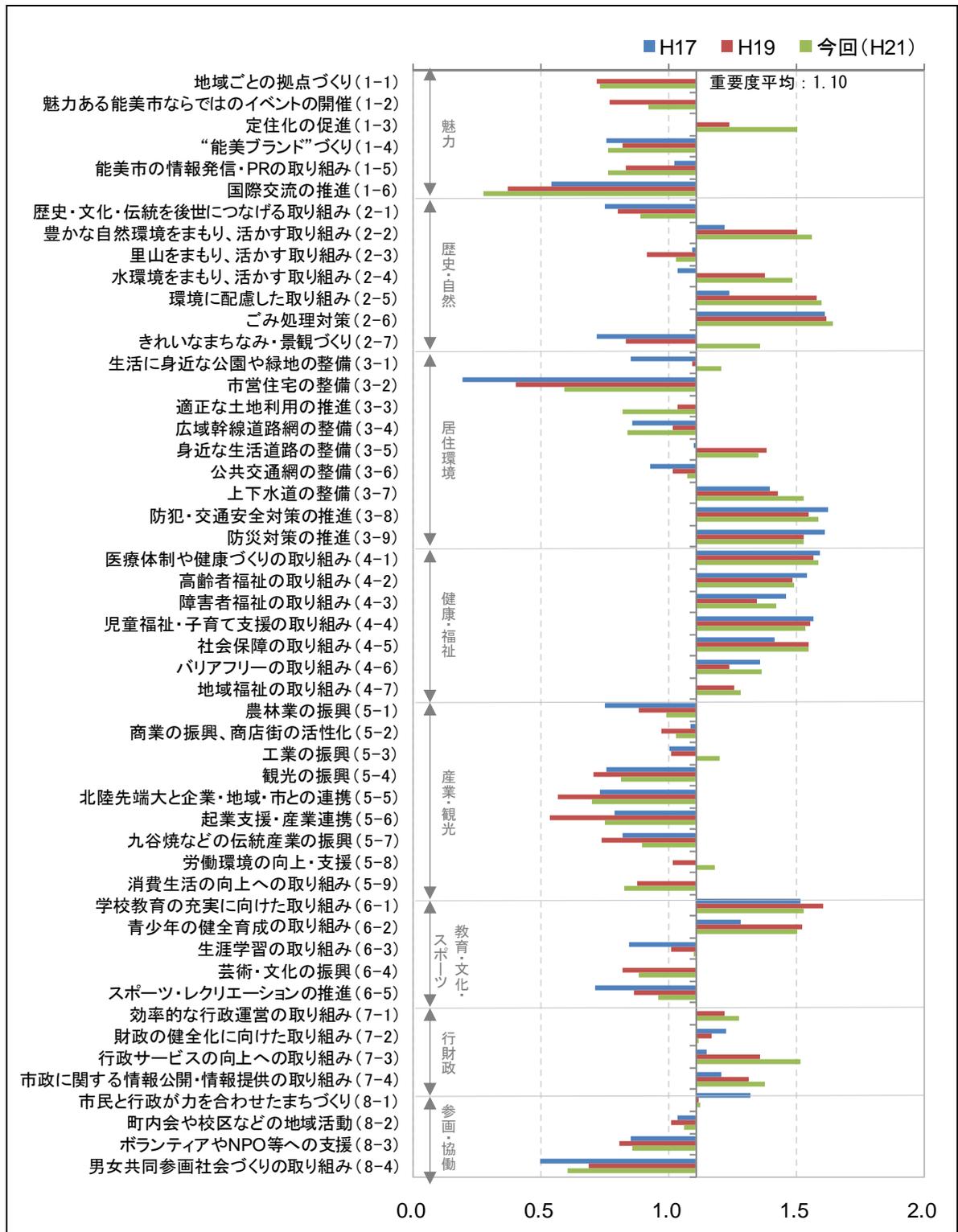
0.2以上のマイナス

(注：評価点の差は、丸め誤差のため、表に示す数値と一致しないことがあります)

【満足度の経年変化】

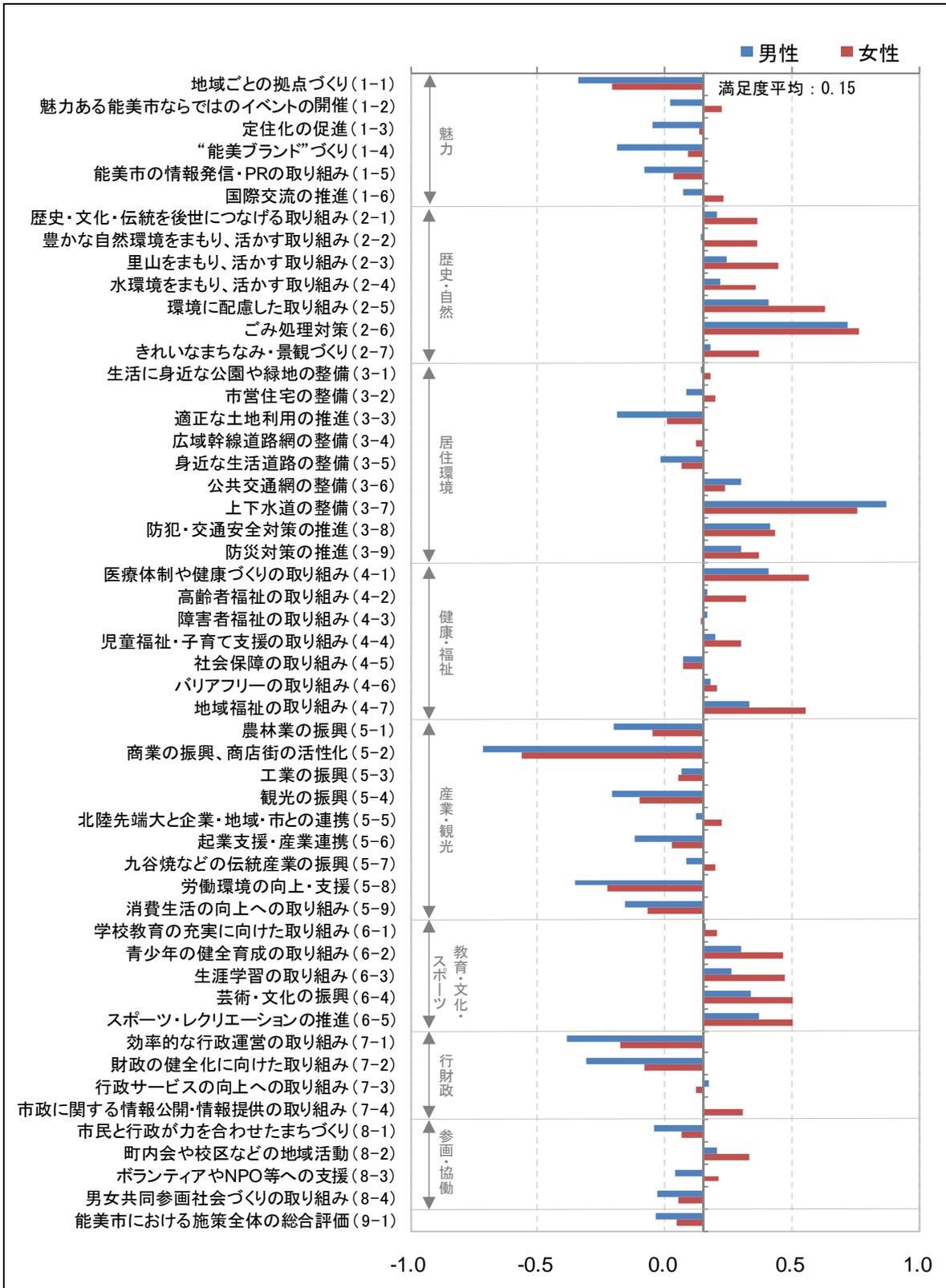


【重要度の経年変化】



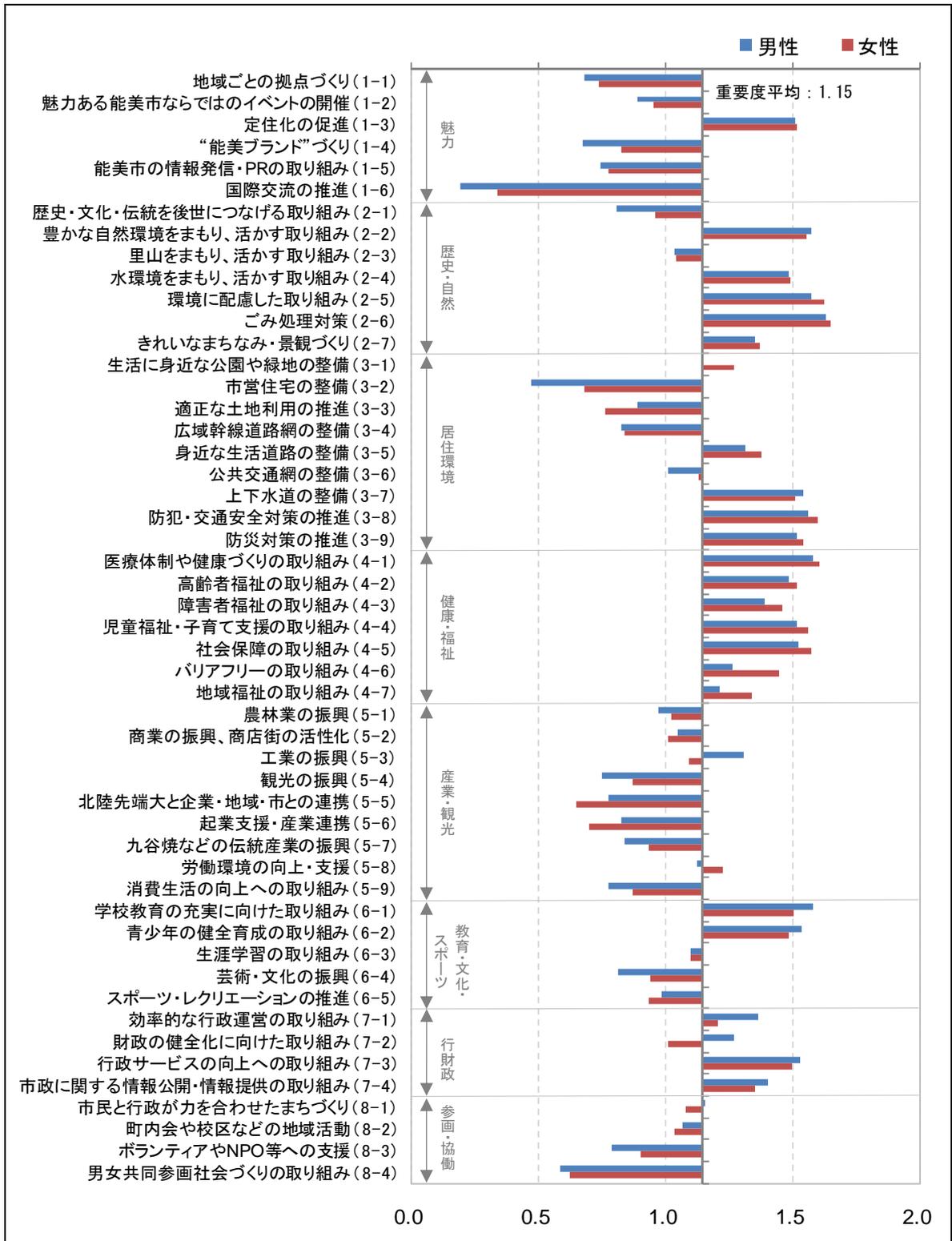
■満足度（性別）

- ・男性では「上下水道の整備（3-7）」が、女性では「ごみ処理対策（2-6）」が最も高くなっています。一方、評価が最も低い項目は、男女ともに、「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」となっています。
- ・評価点の平均は、女性が 0.21、男性が 0.09 と女性の方が高くなっています。



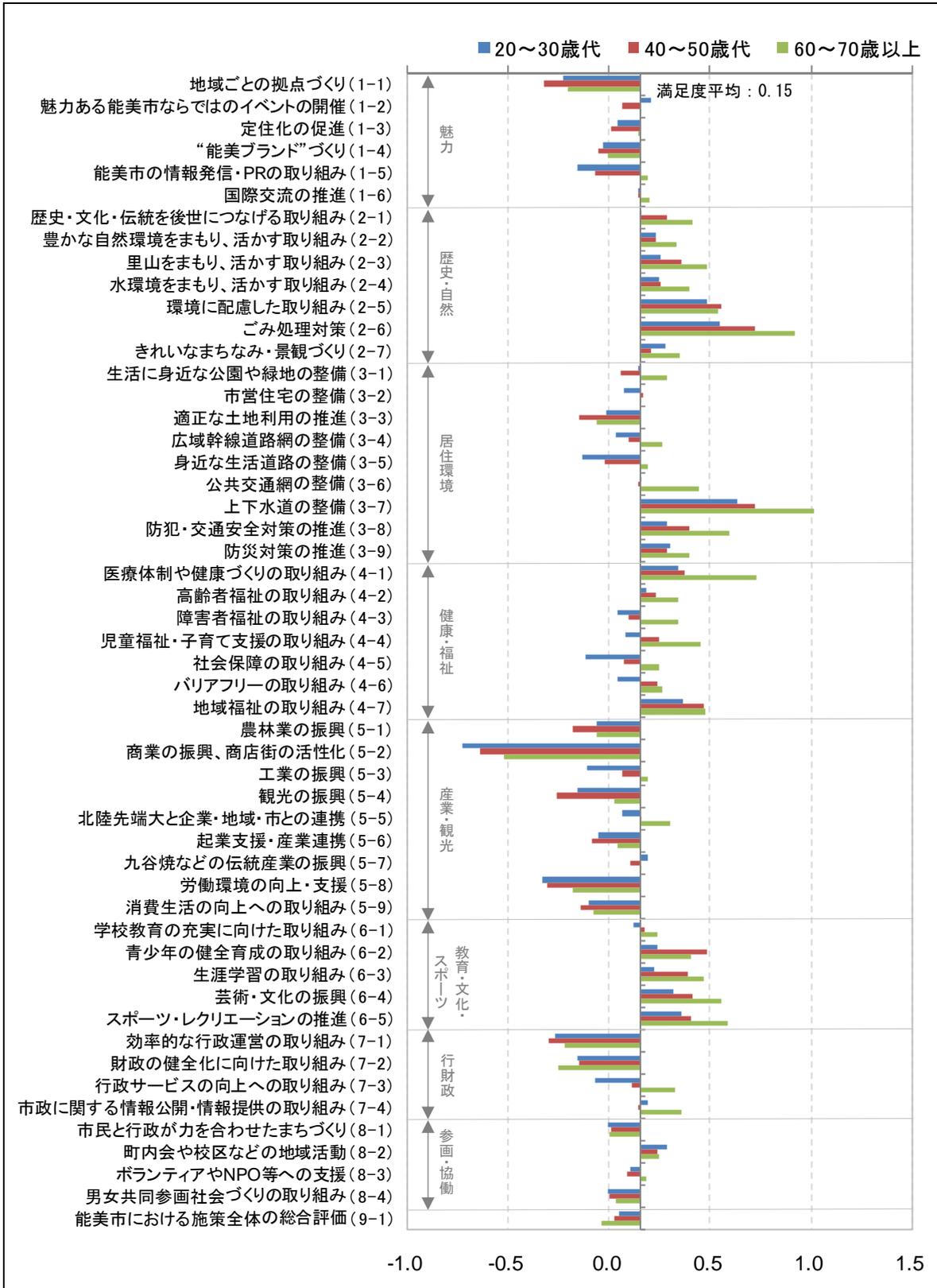
■重要度（性別）

- ・重要度を性別で見ると、男女ともに「ごみ処理対策（2-6）」が最も高く、「国際交流の推進（1-6）」が最も低くなっています。
- ・「財政の健全化に向けた取り組み（7-2）」は性別による評価点の差が最も大きく、男性の方が高くなっています。



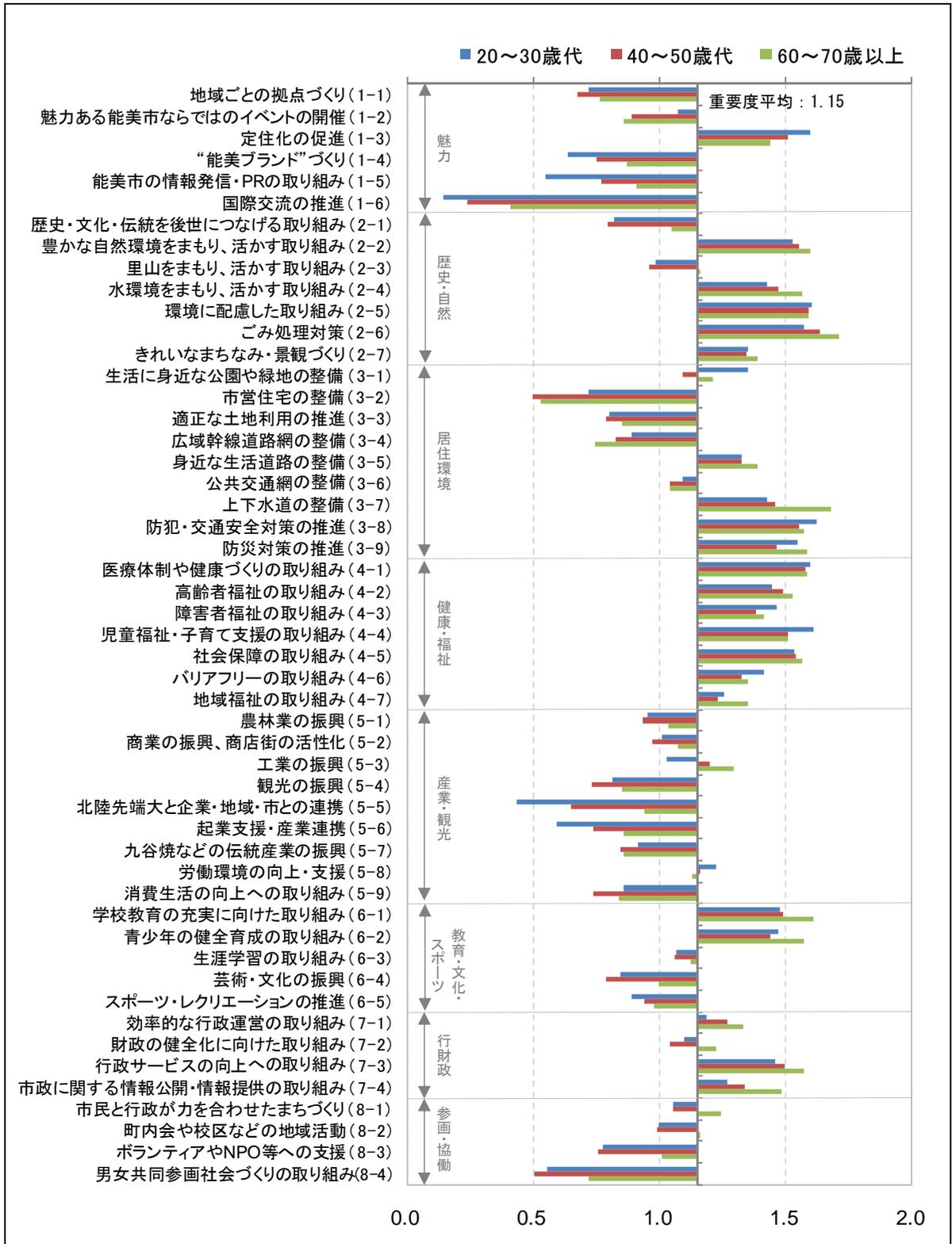
■満足度（年代別）

- ・年齢（年代）別にみると、全体的に年齢層が高くなるほど満足度が高くなっています。
- ・20～30 歳代および 60～70 歳以上では「上下水道の整備（3-7）」が、40～50 歳代では「ごみ処理対策（2-6）」の満足度が最も高くなっています。



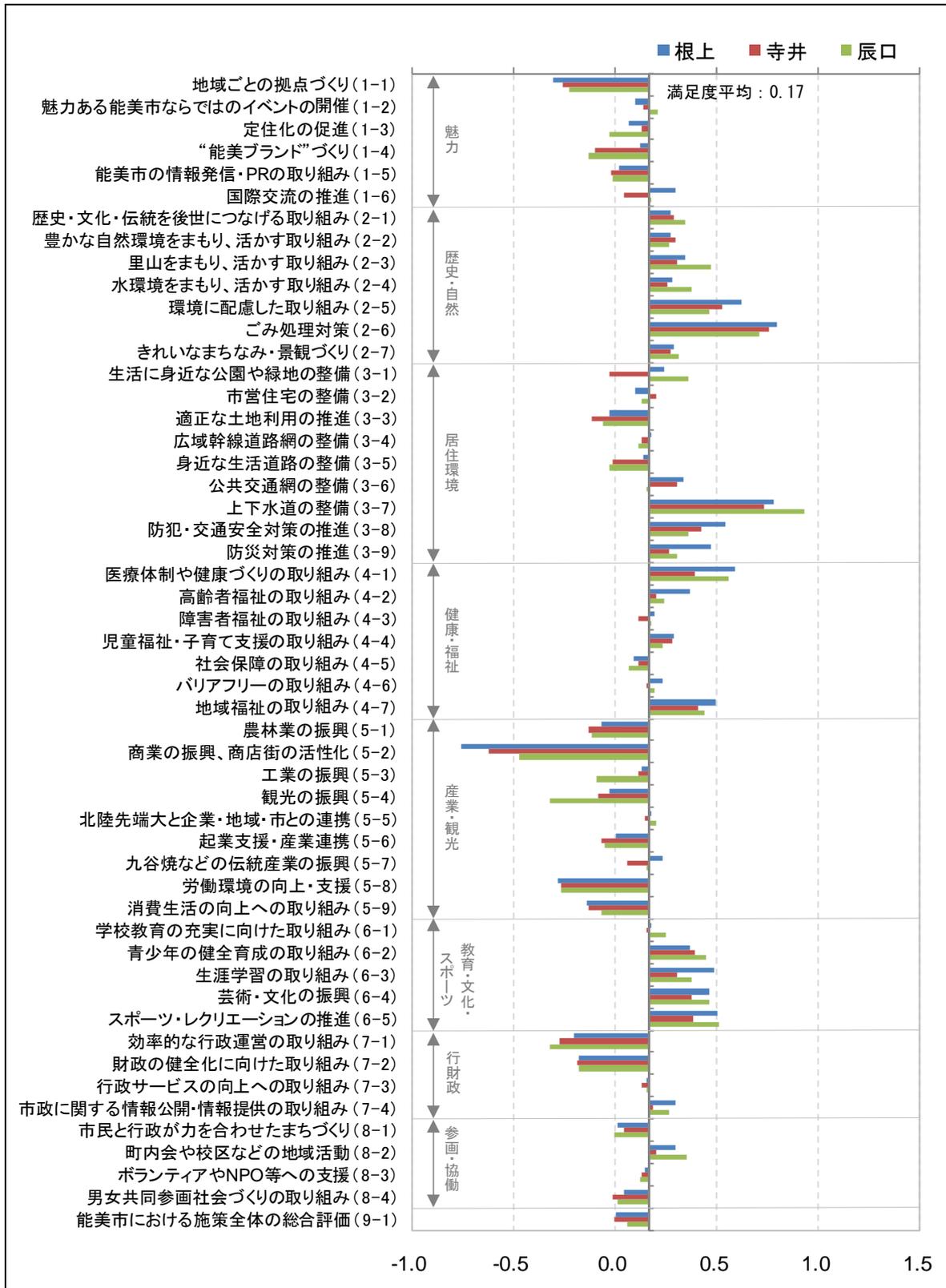
■重要度（年代別）

- ・20～30 歳代では「防犯・交通安全対策の推進（3-8）」が、40～50 歳代以上では「ごみ処理対策（2-6）」の重要度が最も高くなっています。
- ・どの年代も「国際交流の推進（1-6）」の重要度が最も低く、特に 20 歳代で低くなっています。



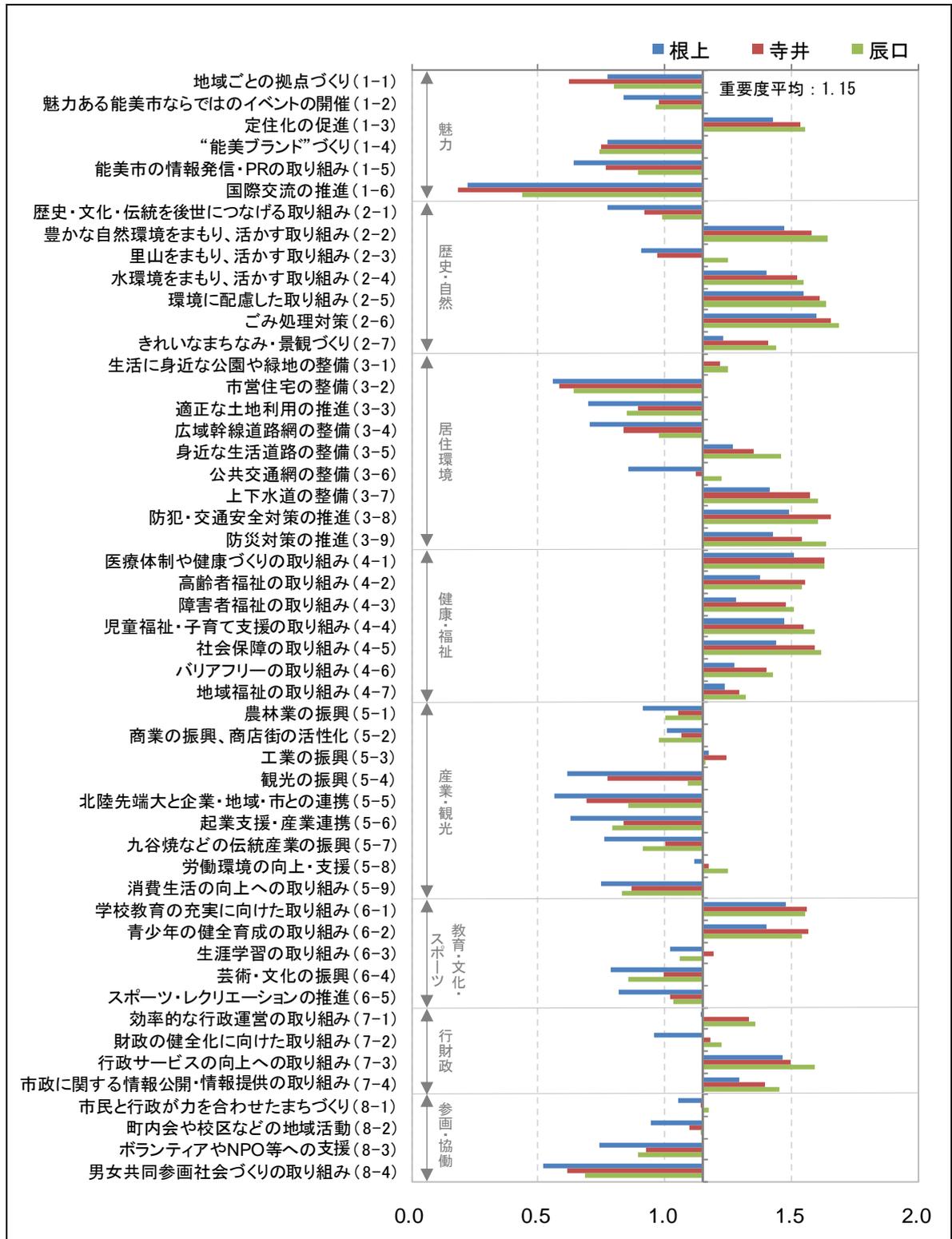
■満足度（地区別）

- ・地区別にみると、根上と寺井では「ごみ処理対策（2-6）」、辰口地区では「上下水道の整備（3-7）」の評価が最も高くなっています。
- ・どの地域でも「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」の評価が最も低くなっています。
- ・「国際交流の推進（1-6）」や「生活に身近な公園や緑地の整備（3-1）」の評価は、根上、辰口では平均以上ですが、寺井では平均以下となっています。



■重要度（地区別）

- ・「里山をまもり、活かす取り組み（2-3）」と「公共交通網の整備（3-6）」の重要度は、辰口では平均以上、その他2地区では平均以下となっています。
- ・「財政の健全化に向けた取り組み（7-2）」の重要度は、根上では平均以下、その他2地区では平均以上となっています。

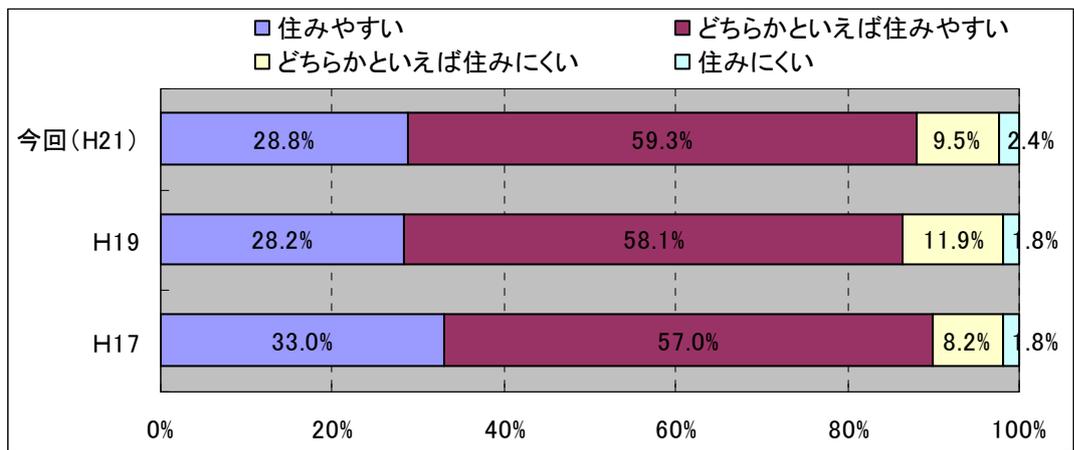


(3) 能美市に住むことについて

**問 12** あなたは、能美市を住みやすいところだと思いますか？

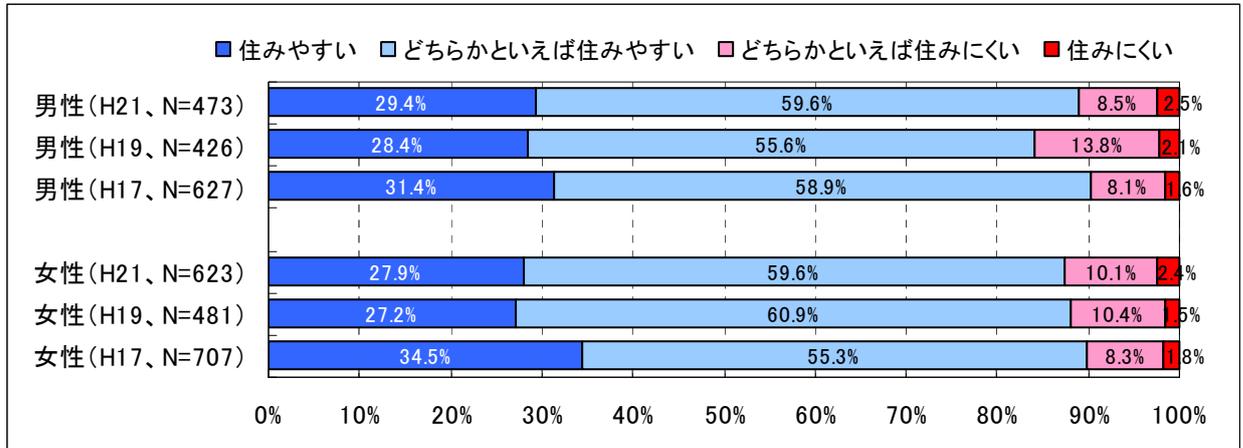
- ◆「住みやすい」28.8%、「どちらかといえば住みやすい」59.3%であり、回答者の約9割が能美市は住みやすいところであると評価しています。
- ◆H17、H19 に比べて大きな変化はみられません。

選択項目		今回(H21)		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	住みやすい	333	28.8%	264	28.2%	447	33.0%
2	どちらかといえば住みやすい	685	59.3%	543	58.1%	772	57.0%
3	どちらかといえば住みにくい	110	9.5%	111	11.9%	111	8.2%
4	住みにくい	28	2.4%	17	1.8%	24	1.8%
	無回答	18	-	31	-	67	-
	合計	1174	-	966	-	1421	-
	回答者数(合計-無回答)	1156	100.0%	935	100.0%	1354	100.0%



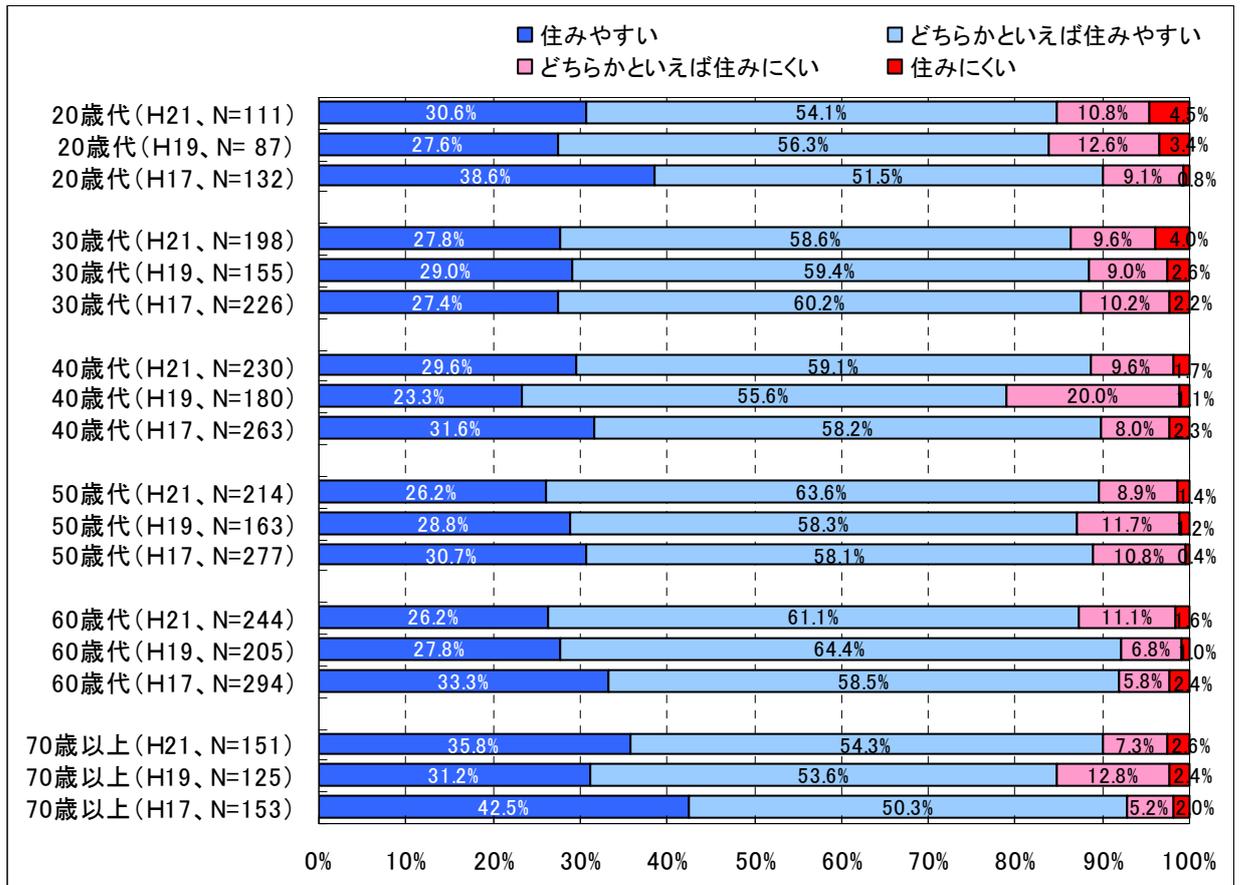
■能美市の住みやすさに対する意識（性別）

- ・性別による傾向は同様に、「どちらかといえば住みやすい」が6割近くとなっています。
- ・H17～H21にかけて、変化は特にみられません。



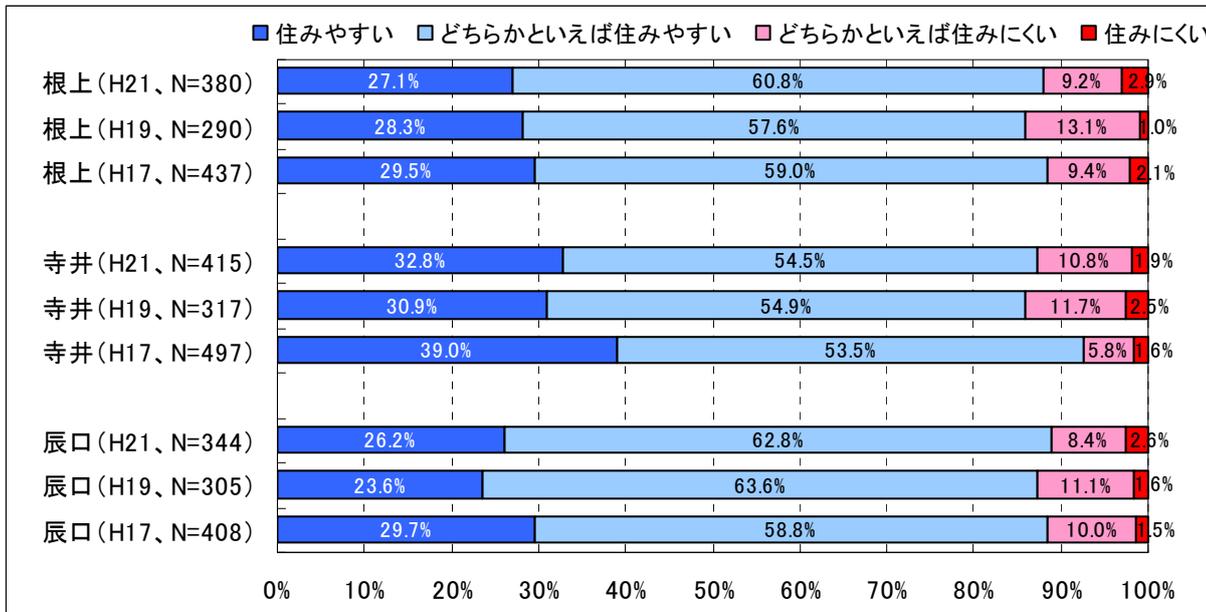
■能美市の住みやすさに対する意識（年代別）

- ・20歳代と60歳以上の「住みやすい」との回答は、H19とH21はH17と比較して5ポイント以上減少しています。



■能美市の住みやすさに対する意識（地区別）

- ・寺井は「住みやすい」の割合が他地区と比較して高い一方で、根上と辰口は寺井よりも「どちらかといえば住みやすい」の割合が高くなっており、いずれの地区においても両項目の合計が約9割となっています。
- ・寺井では、H17と比較してH19とH21に「住みやすい」との回答が6ポイント以上減少しています。



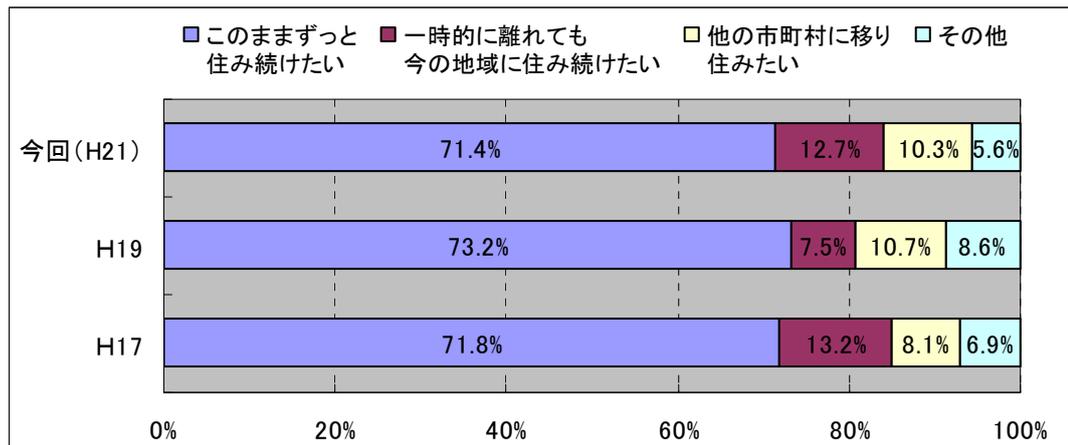
### 問 13 あなたは、これからも能美市に住み続けたいと思いますか？

- ◆「このままずっと住み続けたい」71.4%、「一時的に離れても今の地域に住み続けたい」12.7%であり、8割以上の回答者が市内に住み続けたいと回答しています。
- ◆H17、H19 に比べて大きな変化はみられません。

選択項目	今回(H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 このままずっと住み続けたい	810	71.4%	674	73.2%	953	71.8%
2 一時的に離れても今の地域に住み続けたい	144	12.7%	69	7.5%	175	13.2%
3 他の市町村に移り住みたい	117	10.3%	99	10.7%	107	8.1%
4 その他	64	5.6%	79	8.6%	92	6.9%
無回答	39	-	45	-	94	-
合計	1174	-	966	-	1421	-
回答者数(合計-無回答)	1135	100.0%	921	100.0%	1327	100.0%

その他： 分からない(12)、こだわりはない(5)、将来的には移る予定(5)、住み続けるしかない(4)、他により場所があれば検討(3)、どちらともいえない(2)、住み続けてもよい、迷っている、 など

※( ): H21 における回答者数



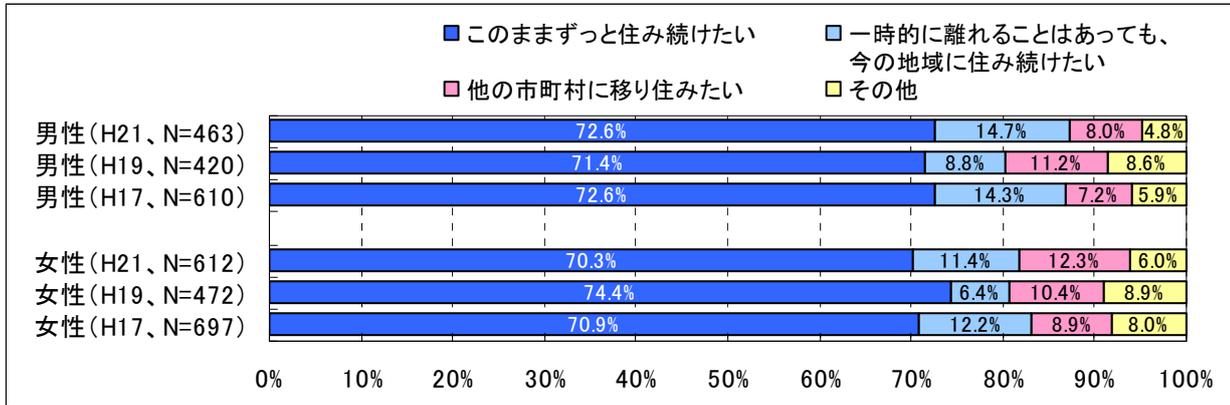
#### 【定住意向の主な理由 (H21)】

定住意向	回答数	主な意見
①このままずっと住み続けたい	223 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇生まれ育ったところだから。</li> <li>◇慣れ親しんだ土地だから。</li> <li>◇自然環境がよく、水もおいしく、心温まる生活を送ることができるから。</li> </ul>
②一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい	39 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自然環境がよいから。</li> <li>◇仕事の都合で転勤があるため。</li> <li>◇生まれ育った場所だから。</li> </ul>
③他の市町村に移り住みたい	69 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇田舎のため、買い物や通勤・通学が不便だから。</li> <li>◇交通が不便なため、老後が不安だから。</li> <li>◇固定資産税などの税金が高額なため。</li> </ul>

※詳細は「自由回答一覧」を参照して下さい。

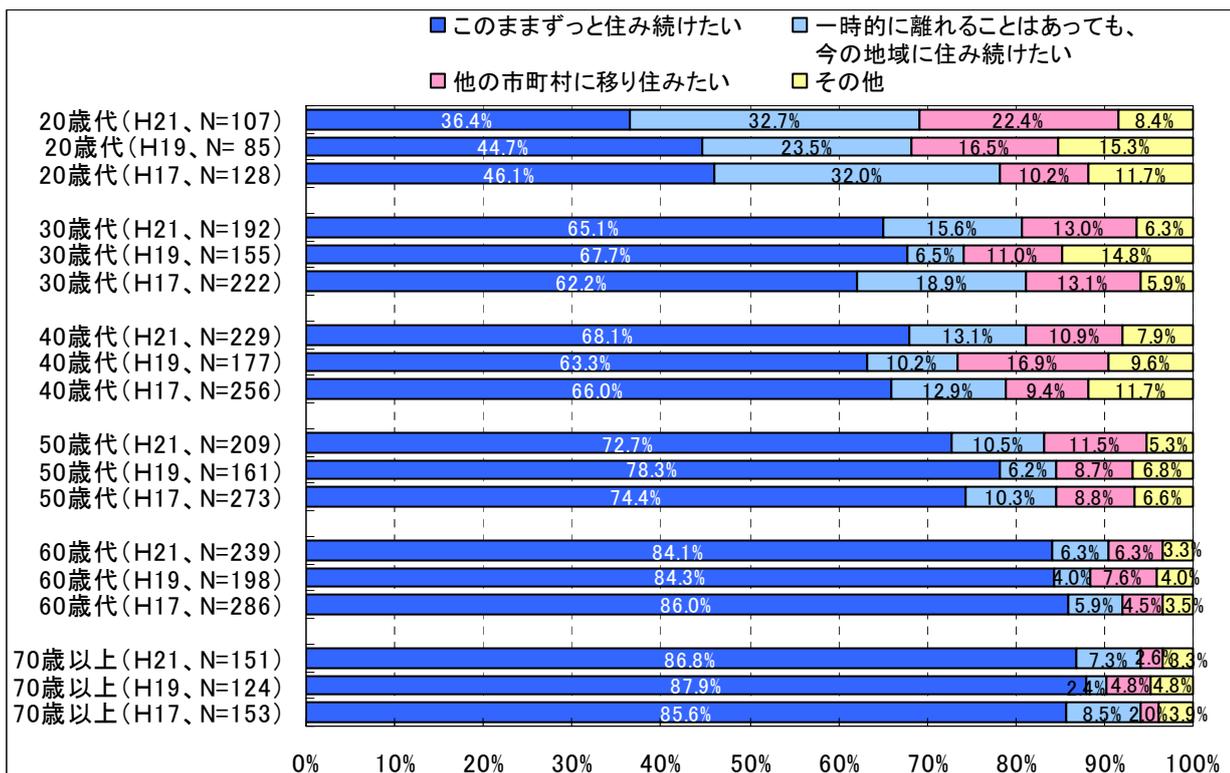
■将来的な定住意向（性別）

- ・性別による差はほとんどありません。
- ・H19 は「一時的に離れることはあっても、今の地域に住み続けたい」との回答が他年度と比較して5ポイント以上少なく、男性はその分「他の市町村に移り住みたい」が、女性は「このままずっと住み続けたい」が多くなっています。



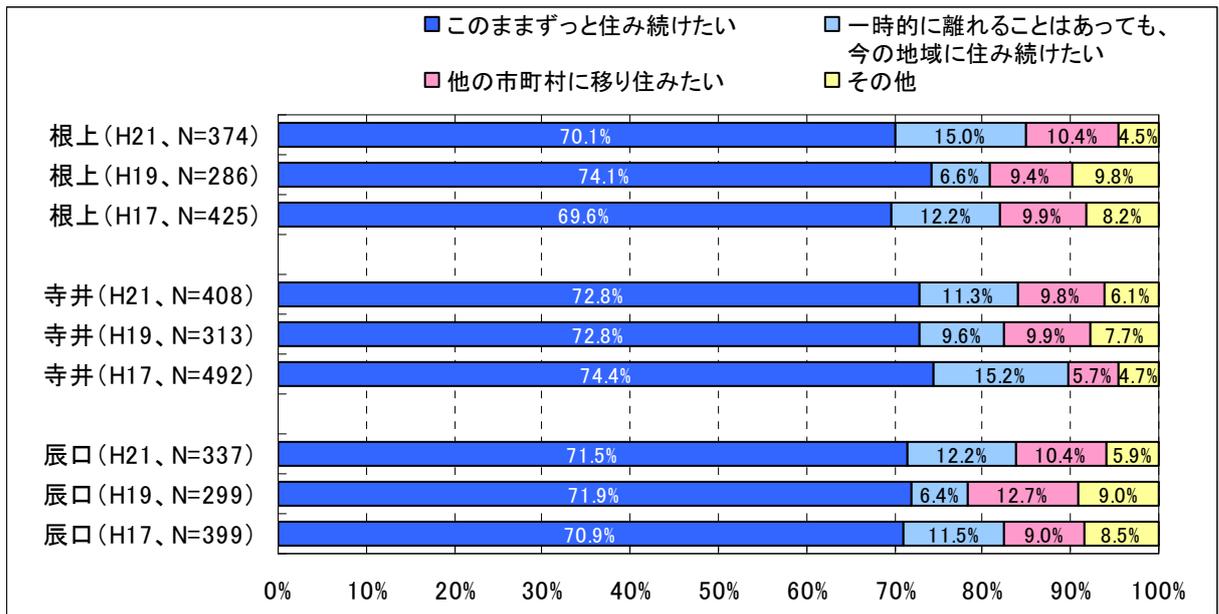
■将来的な定住意向（年代別）

- ・年代が上がるにつれて「このままずっと住み続けたい」が多くなり「一時的に離れることはあっても今の地域に住み続けたい」「他の市町村に移り住みたい」が少なくなっています。
- ・20歳代は「このままずっと住み続けたい」との回答が減少する一方で、「他の市町村に移り住みたい」との回答が増加傾向にあります。
- ・H19 は、30～40歳代の「このままずっと住み続けたい」「一時的に離れることはあっても今の地域に住み続けたい」の合計が他年度に比べて5ポイント以上少なく、40歳代では「他の市町村に移り住みたい」が6ポイント以上多くなっています。



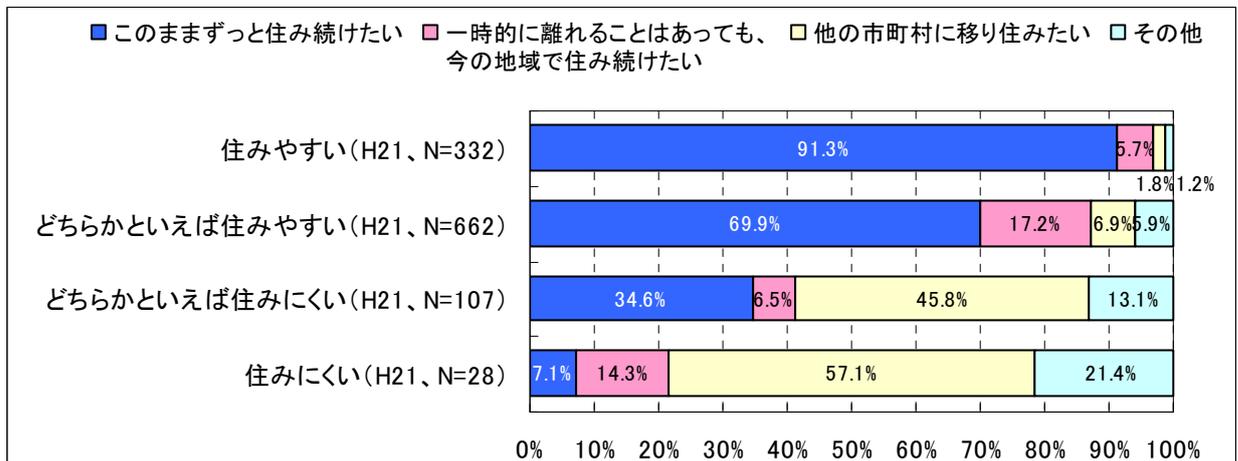
■将来的な定住意向（地区別）

・地区や年度による差はほとんどありません。



■将来的な定住意向（能美市の住みやすさに対する意識別）

- ・能美市は住みやすいと評価する回答者の9割以上、どちらかといえば住みやすいと評価する回答者の7割近くが、「このままずっと住み続けたい」と回答しています。
- ・一方、能美市は住みにくいと評価する回答者の約6割、どちらかといえば住みにくいと評価する回答者の約5割が「他の市町村に移り住みたい」と回答しています。



**問 14 能美市に定住した主なきっかけは何ですか？（当てはまるもの全てに○）**

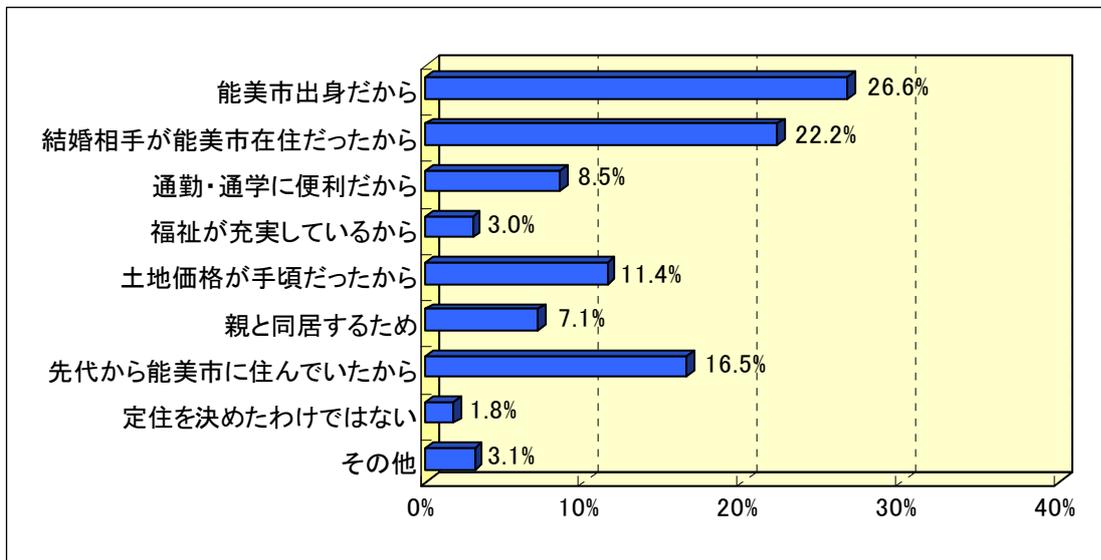
※H21 に追加した新規の設問

◆「能美市出身だから」26.6%、「結婚相手が能美市在住だったから」22.2%、「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」16.5%となっており、能美市に家族がいることが定住の主なきっかけとなっています。

選択項目		回答数	構成比
1	能美市出身だから	439	38.5%
2	結婚相手が能美市在住だったから	366	32.1%
3	通勤・通学に便利だから	140	12.3%
4	福祉が充実しているから	49	4.3%
5	土地価格が手頃だったから	189	16.6%
6	親と同居するため	117	10.3%
7	先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから	272	23.8%
8	現在アパート・寮などに住んでいて、能美市での定住を決めたわけではない	29	2.5%
9	その他	51	4.5%
	無回答	33	-
	回答数	1685	147.7%
	回答者数	1141	100.0%

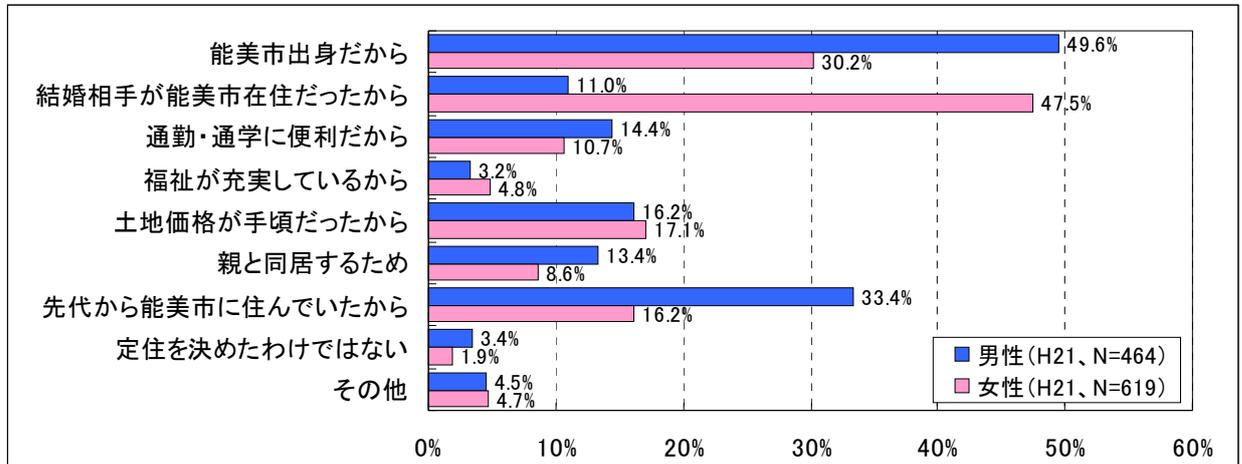
その他： 仕事のため(20)、家族や友人・知人の近くにいたかったから(10)、自然環境が良いから(9)、たまたま(6)、利便性と自然とのバランスが良いから(3)、家族の都合(2)、子ども福祉が充実していたから(2)、生活環境がよいから、能美市に愛着をもっているから、土地を相続したから、人柄がよいから、自然災害が少ないから、丸谷焼の勉強のため など

※( ):回答者数



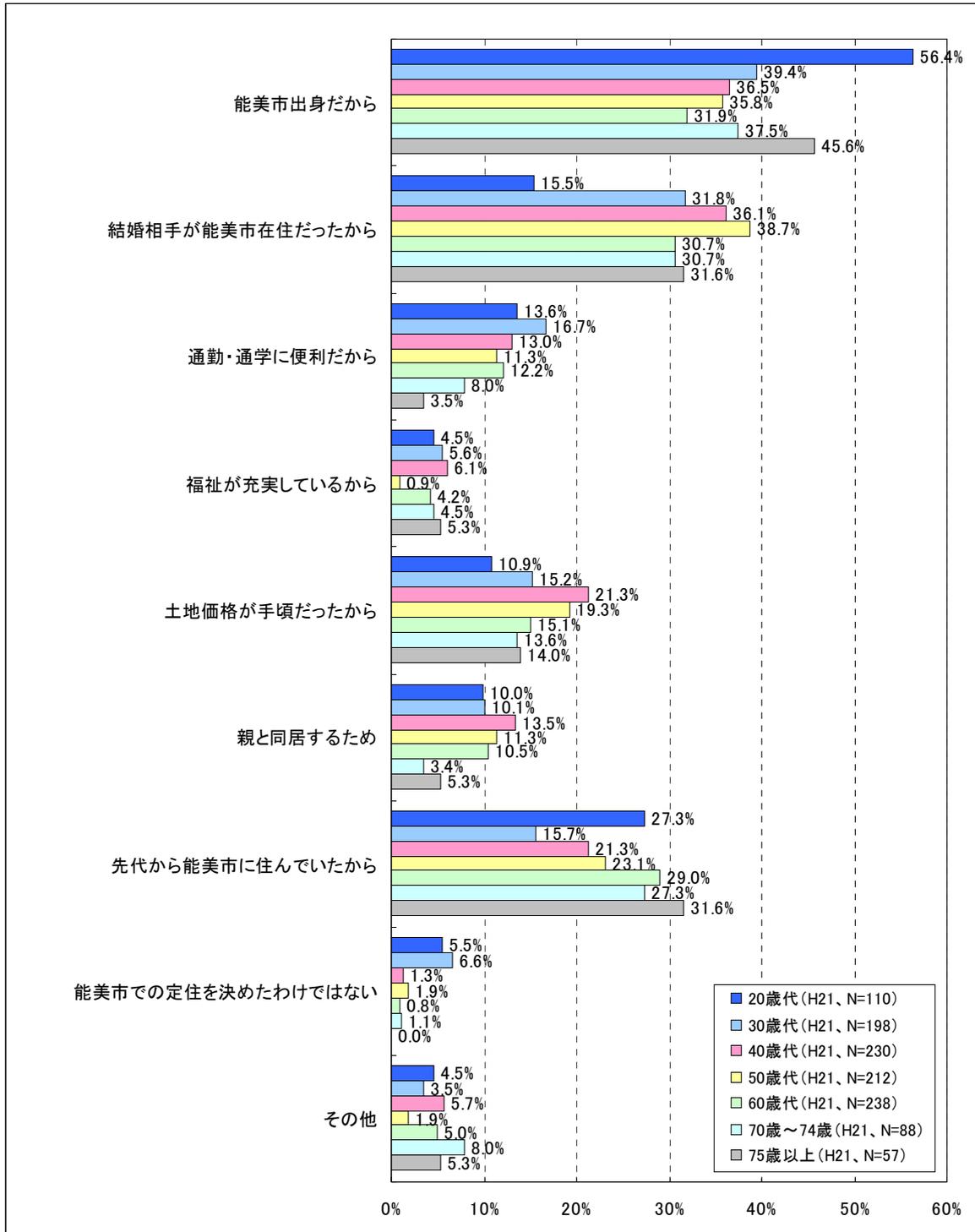
### ■能美市に定住した主なきっかけ（性別）

- ・「能美市出身だから」「先代から能美市に住んでいたから」は、男性が女性より 17 ポイント以上高く、「結婚相手が能美市在住だったから」は女性が男性より 36.5 ポイント高くなっています。



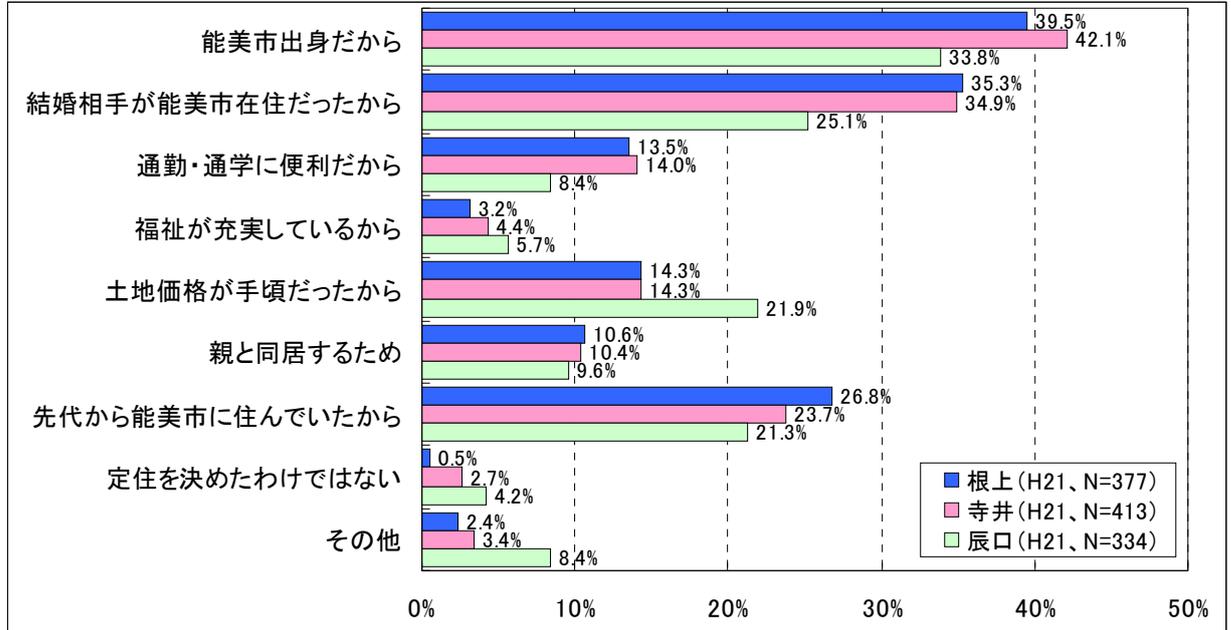
■能美市に定住した主なきっかけ（年代別）

・「能美市出身だから」は、20 歳代が他の年代よりも 10 ポイント以上高く、「通勤・通学に便利だから」は 30 歳代が、「土地価格が手ごろだったから」は 40 歳代が、他の年代よりもやや高くなっています。



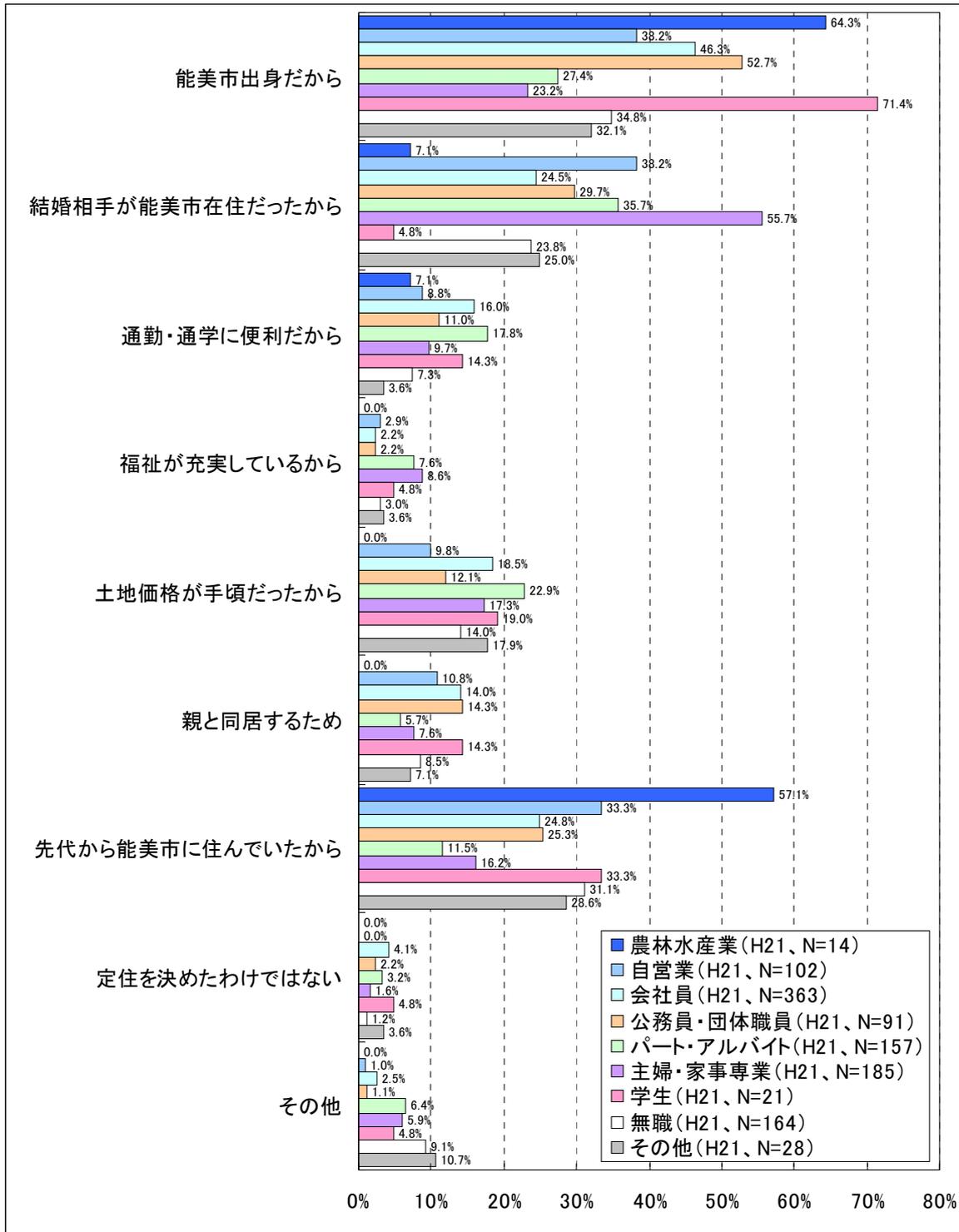
### ■能美市に定住した主なきっかけ（地区別）

- ・「能美市出身だから」「先代から能美市に住んでいたから」「結婚相手が能美市在住だったから」「通勤・通学に便利だから」について、辰口は他地区と比較して低くなっています。
- ・一方、辰口は「土地価格が手頃だったから」が他地区より 7 ポイント以上高くなっています。



■能美市に定住した主なきっかけ（職業別）

- ・「能美市出身だから」との回答は、農林水産業と学生が特に多く、6割以上となっています。
- ・また「先代から能美市に住んでいたから」についても、農林水産業が57.1%と他の職業に比べて20ポイント以上高くなっています。
- ・「結婚相手が能美市在住だったから」は、主婦・家事専業の過半数を占めており、他の職業と比較して17ポイント以上高くなっています。



**問 15** 能美市に定住することは、他の市町村に比べどんな点に魅力を感じますか？  
(当てはまるもの全てに○)

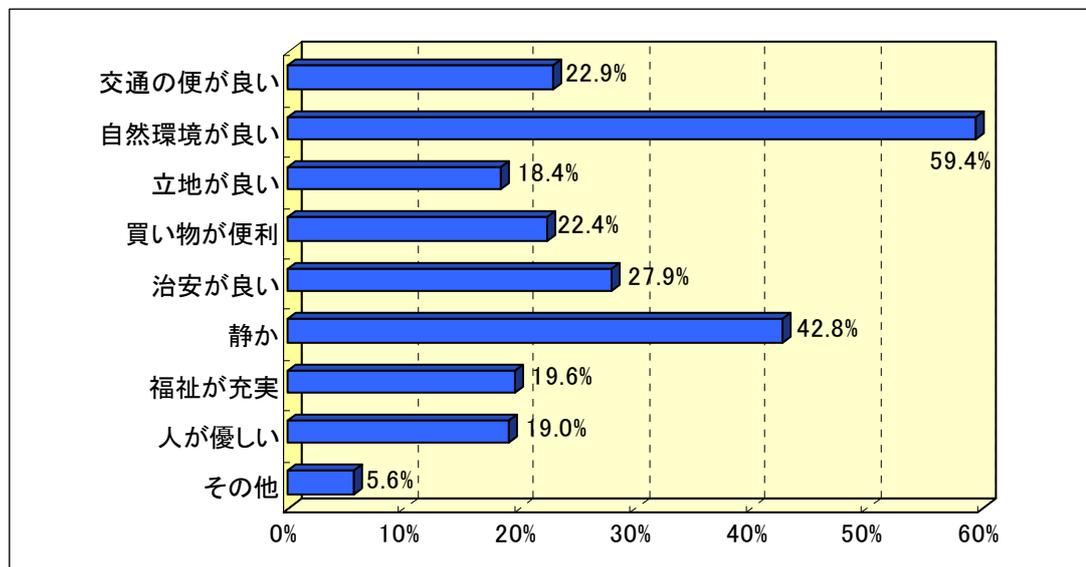
※H21 に追加した新規の設問

- ◆「自然環境が良い」(59.4%)、「静か」(42.8%)といった点が、他の市町村に比べて魅力に感じられているといえます。

	選択項目	回答数	構成比
1	交通の便が良い	258	22.9%
2	自然環境が良い	669	59.4%
3	立地が良い	207	18.4%
4	買い物が便利	252	22.4%
5	治安が良い	314	27.9%
6	静か	482	42.8%
7	福祉が充実	221	19.6%
8	人が優しい	214	19.0%
9	その他	63	5.6%
	無回答	47	-
	回答数	2727	242.0%
	回答者数	1127	100.0%

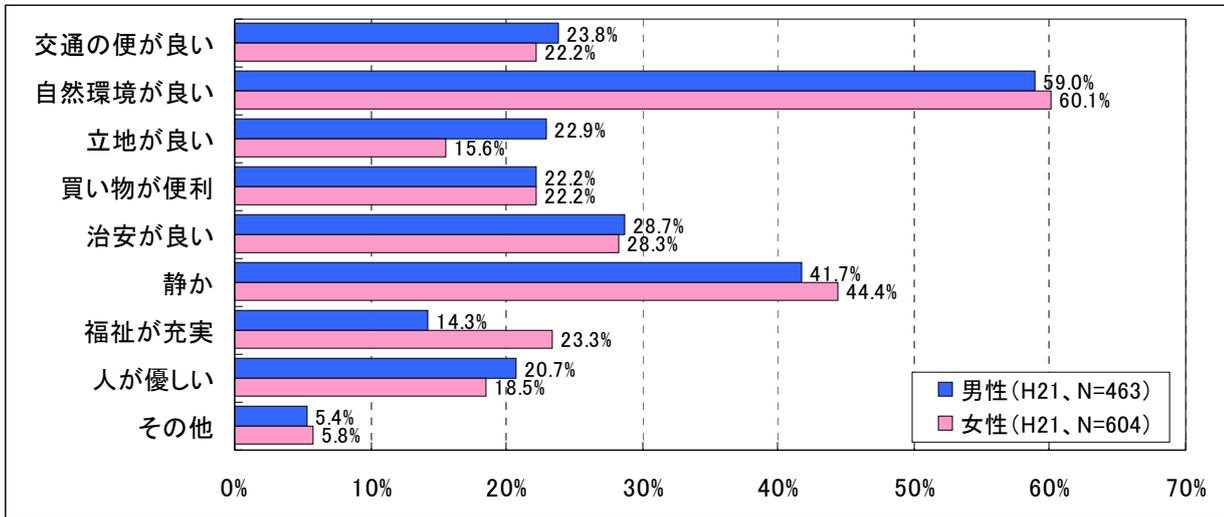
その他： 特にない(14)、分からない(9)、子育て支援が充実(3)、公共施設(運動施設・図書館・公園など)が充実(3)、災害が少ない(3)、税金が安い(2)、のどか(2)、個人病院が多い、空港・駅に近い、道路がよい、交通量が少ない、学校の校風がよい など

※( ): 回答者数



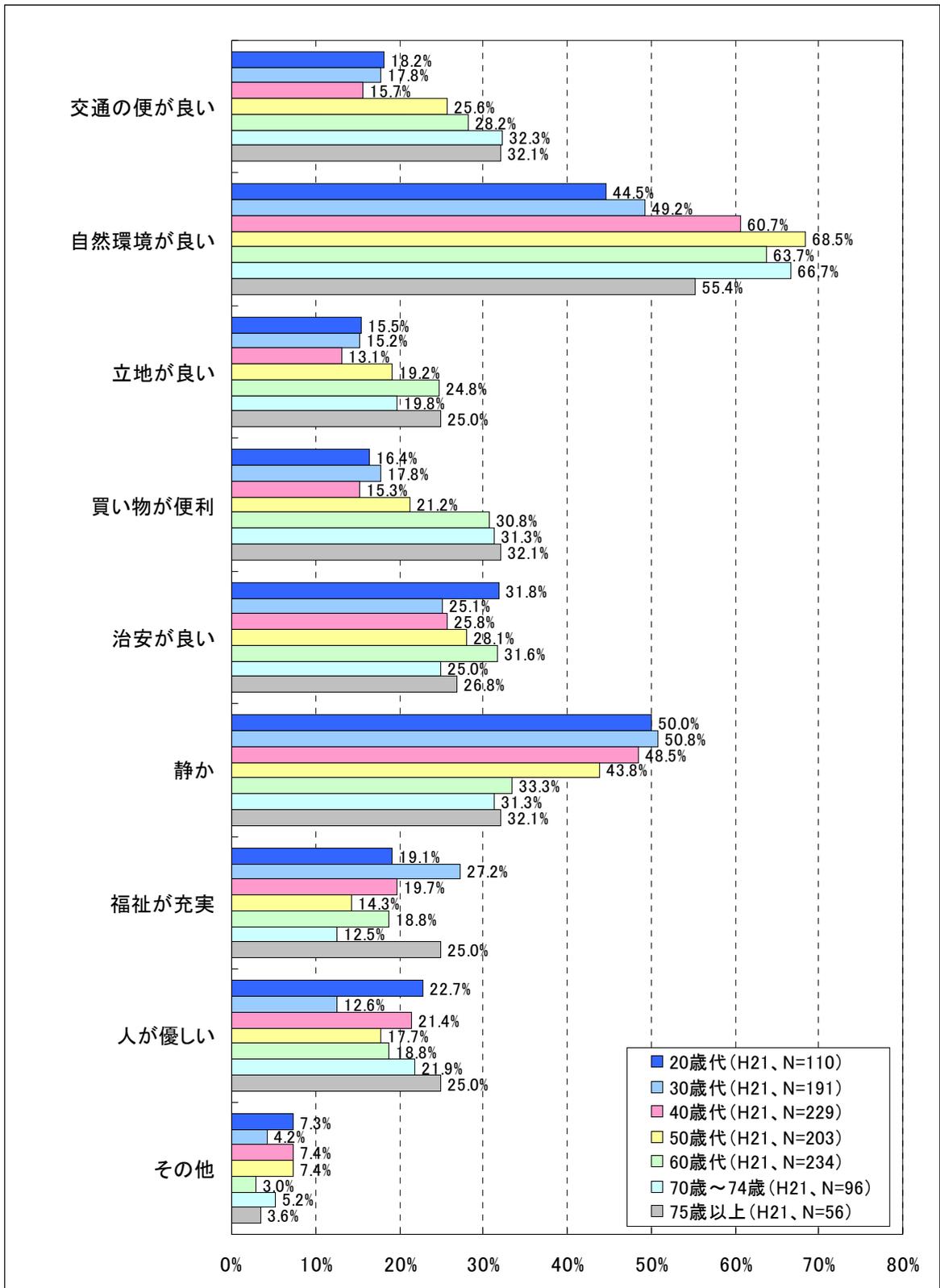
■能美市に定住することの魅力（性別）

・「立地が良い」との回答は、男性が女性より 7.3 ポイント高く、「福祉が充実」は、女性が男性より 9.0 ポイント高くなっています。



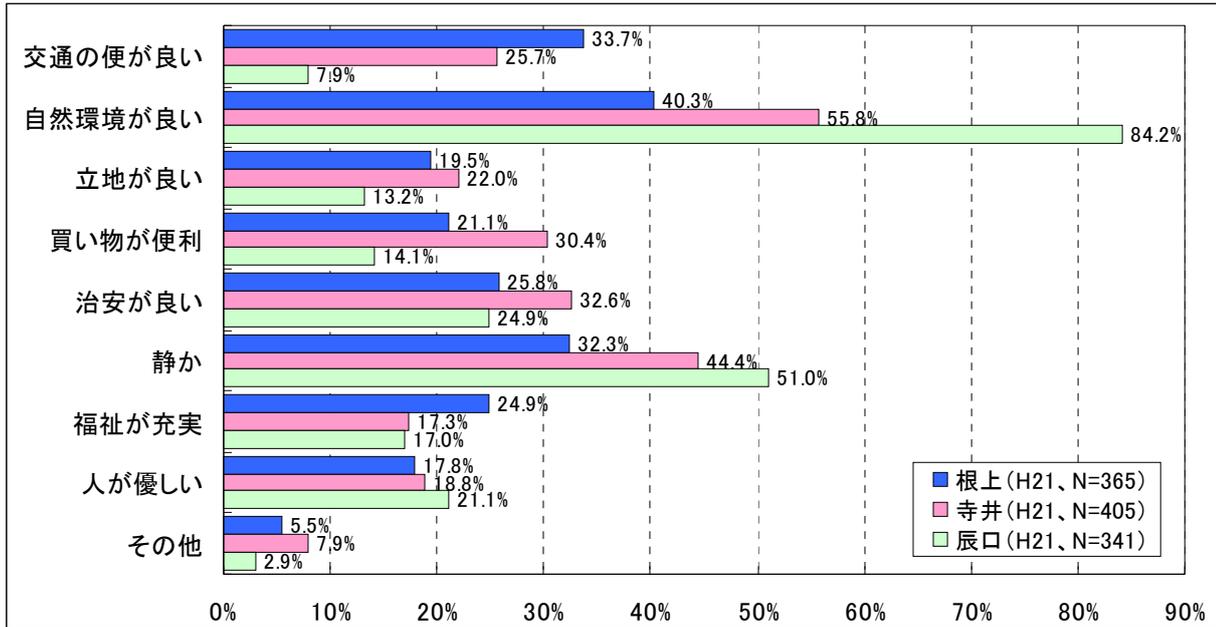
■能美市に定住することの魅力（年代別）

・「自然環境が良い」は40～74歳が6割と高く、「買い物が便利」は60歳代以上、「静か」は20～50歳代、「福祉が充実」は30歳代が、他の年代よりも高くなっています。



■能美市に定住することの魅力（地区別）

- ・「自然環境が良い」「静か」との回答は、いずれの地区においても最も多く、特に、辰口ではそれぞれ 84.2%、51.0%と多くなっています。
- ・根上は「交通の便が良い」が 33.7%と他地区より 7ポイント以上高くなっています（辰口では1割以下）。
- ・「買い物が便利」「治安が良い」について、寺井は他地区と比較して、6ポイント以上高くなっています。
- ・「福祉が充実」について、根上は他地区よりも7ポイント以上高くなっています。



## (4) 地域活動および市民と行政の協働について

問 16

あなたは、現在、仕事や学業とは別に、地域活動として参加しているものがありますか？（当てはまるもの全てに○）

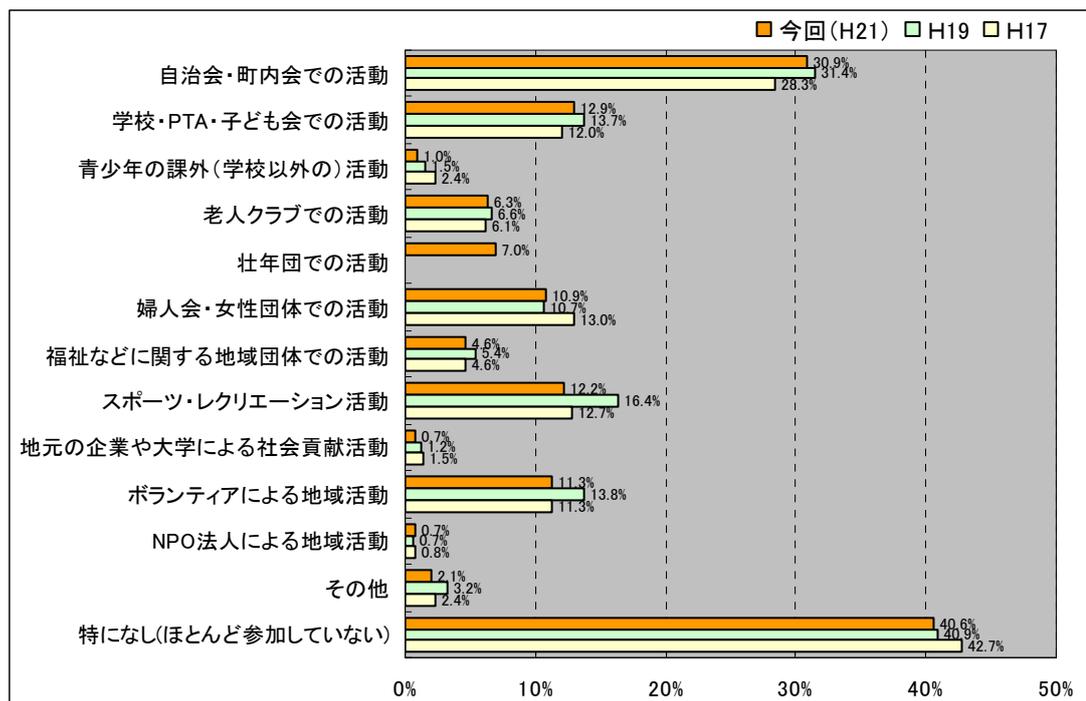
- ◆ 「特になし」 40.6%に対し、約6割の回答者が何らかの地域活動に参加しています。
- ◆ 「自治会・町内会での活動」が30.9%と多く、次いで、「学校・PTA・子ども会での活動」12.9%、「スポーツ・レクリエーション活動」12.2%「ボランティアによる地域活動」11.3%となっています。

選択項目	今回(H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 自治会・町内会での活動	344	30.9%	285	31.4%	369	28.3%
2 学校・PTA・子ども会での活動	144	12.9%	124	13.7%	157	12.0%
3 青少年の課外(学校以外の)活動	11	1.0%	14	1.5%	31	2.4%
4 老人クラブでの活動	70	6.3%	60	6.6%	80	6.1%
5 壮年団での活動	78	7.0%	-	-	-	-
6 婦人会・女性団体での活動	121	10.9%	97	10.7%	169	13.0%
7 福祉などに関する地域団体での活動	51	4.6%	49	5.4%	60	4.6%
8 スポーツ・レクリエーション活動	136	12.2%	149	16.4%	166	12.7%
9 地元の企業や大学による社会貢献活動	8	0.7%	11	1.2%	19	1.5%
10 ボランティアによる地域活動	126	11.3%	125	13.8%	147	11.3%
11 NPO法人による地域活動	8	0.7%	6	0.7%	11	0.8%
12 その他	23	2.1%	29	3.2%	31	2.4%
13 特になし(ほとんど参加していない)	452	40.6%	371	40.9%	556	42.7%
無回答	60	-	59	-	118	-
回答数	1632	146.5%	1320	145.5%	1796	137.8%
回答者数	1114	100.0%	907	100.0%	1303	100.0%

その他： 商工会(2)、育成会(2)、見守隊、民生委員、郷土芸能、文化団体協議会、美術作家協会、民謡会、消防団、身障者協同交流会、国際交流協会、生産組合、農作物の団体活動、七夕まつり、ゴミ拾いなど

※「壮年団での活動」は、H19、H17は調査項目なし

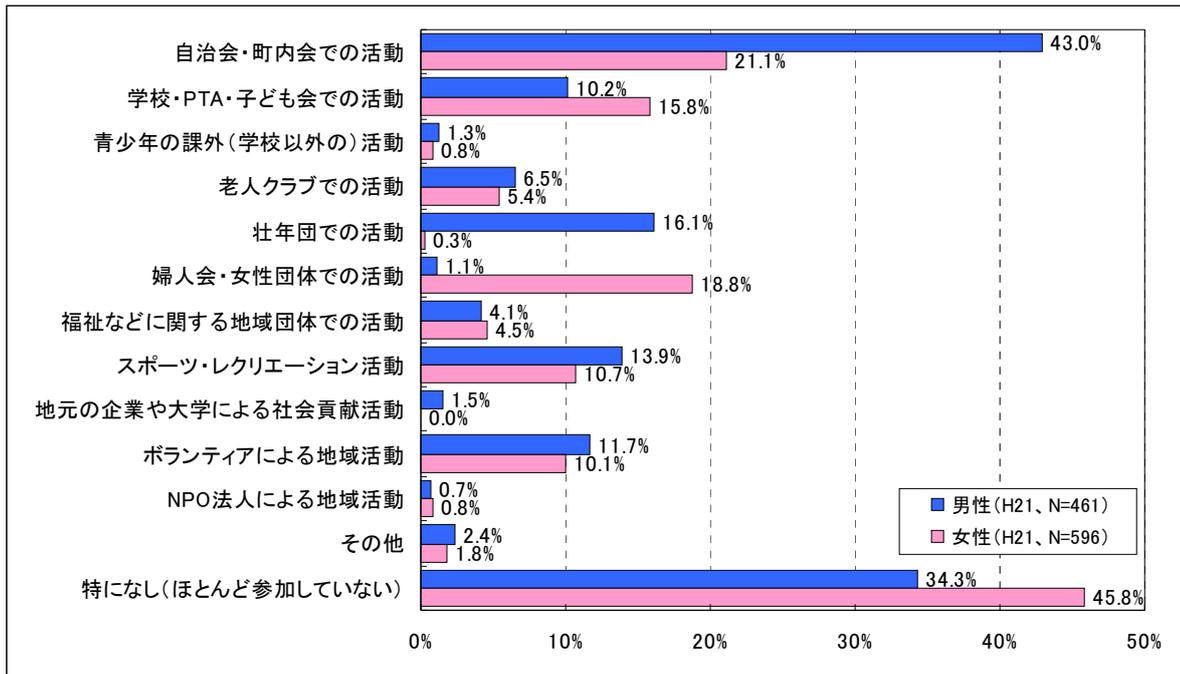
※( ): H21における回答者数



■地域活動への参加の状況（性別）

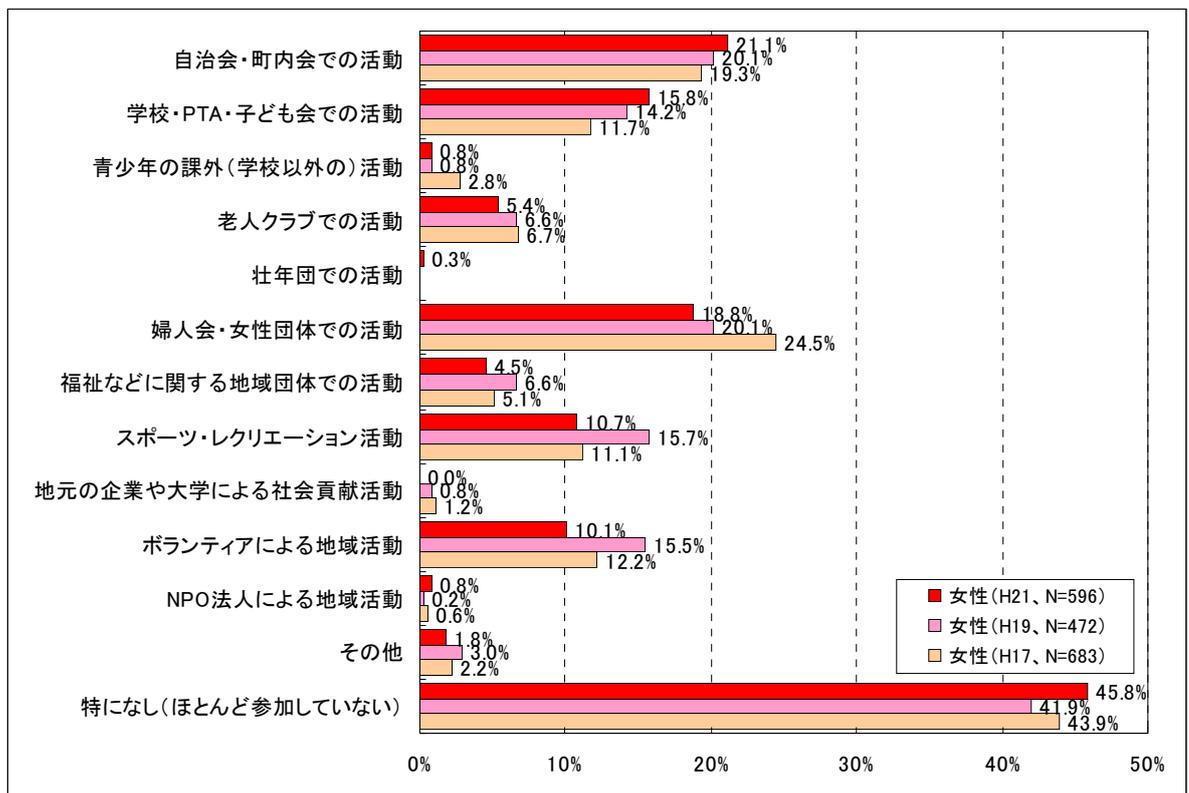
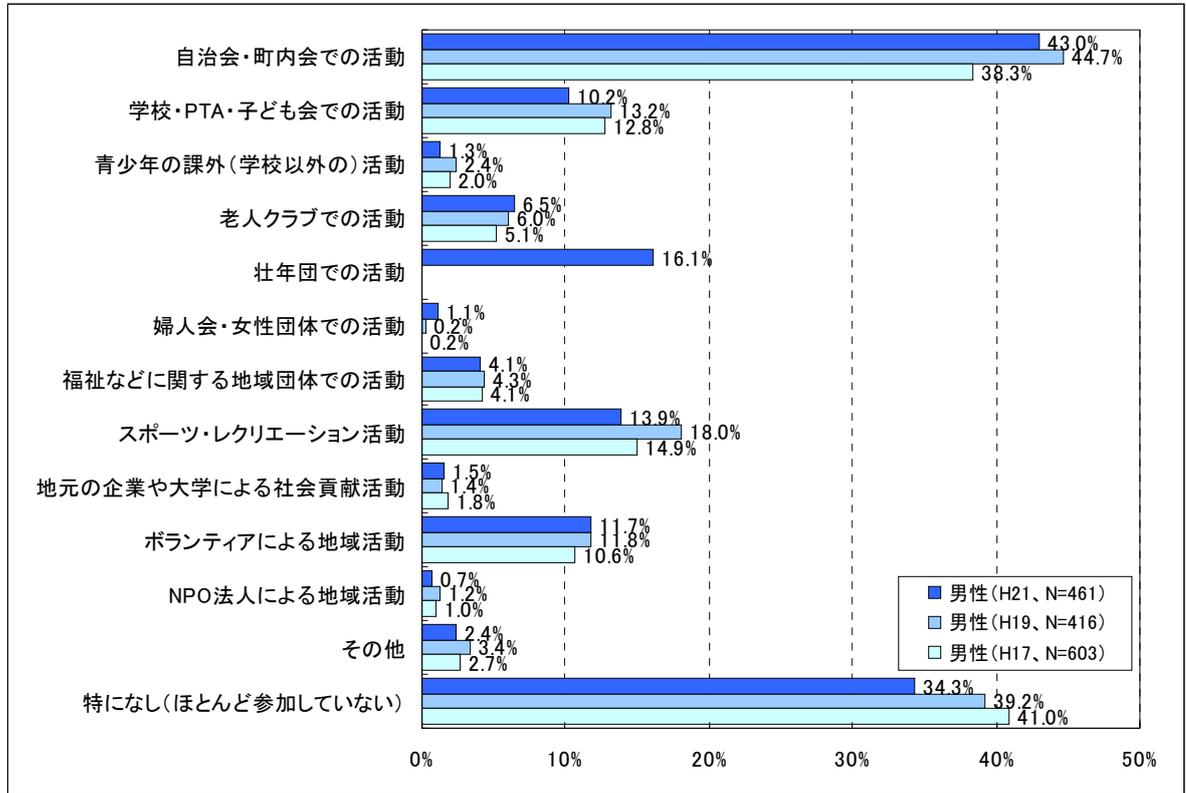
【今回（H21）】

- ・男性の約 7 割、女性の約 5 割が何らかの地域活動に参加しています。
- ・「自治会・町内会での活動」「壮年団での活動」は男性が女性より約 20 ポイント高い一方、「婦人会・女性団体での活動」「学校・PTA・子ども会での活動」は女性が男性より、それぞれ 17.7 ポイント、5.6 ポイント高くなっています。
- ・また、「特になし」との回答は、女性の方が約 10 ポイント高くなっています。



【経年変化】

- ・男性は、「特になし」との回答が減少傾向にあり、H19 よりも約5ポイント減っています。
- ・女性の「自治会・町内会での活動」「学校・PTA・子ども会での活動」への参加が徐々に増える一方で、「婦人会・女性団体での活動」への参加が減少傾向にあります。

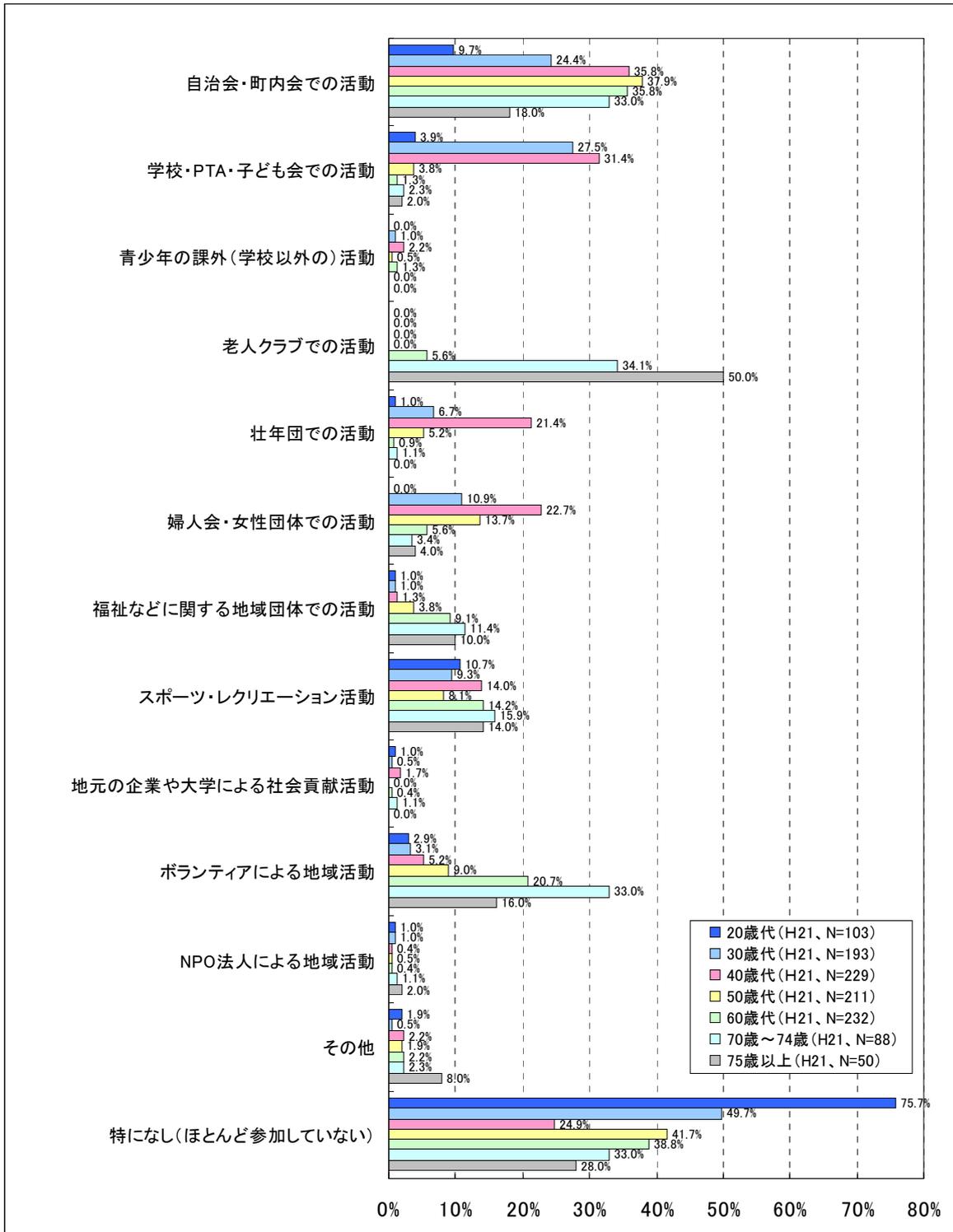


※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

■地域活動への参加の状況（年代別）

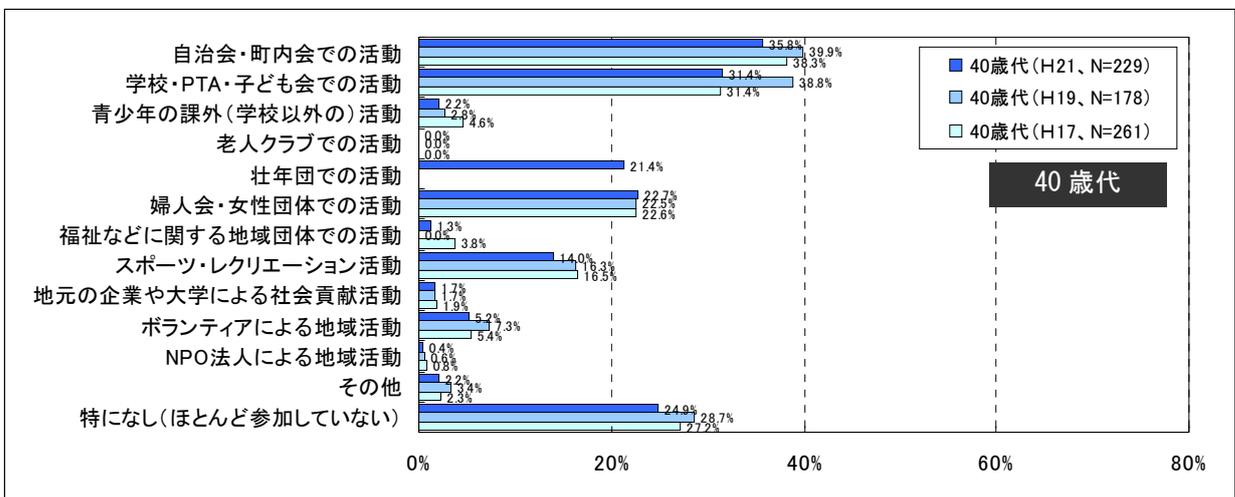
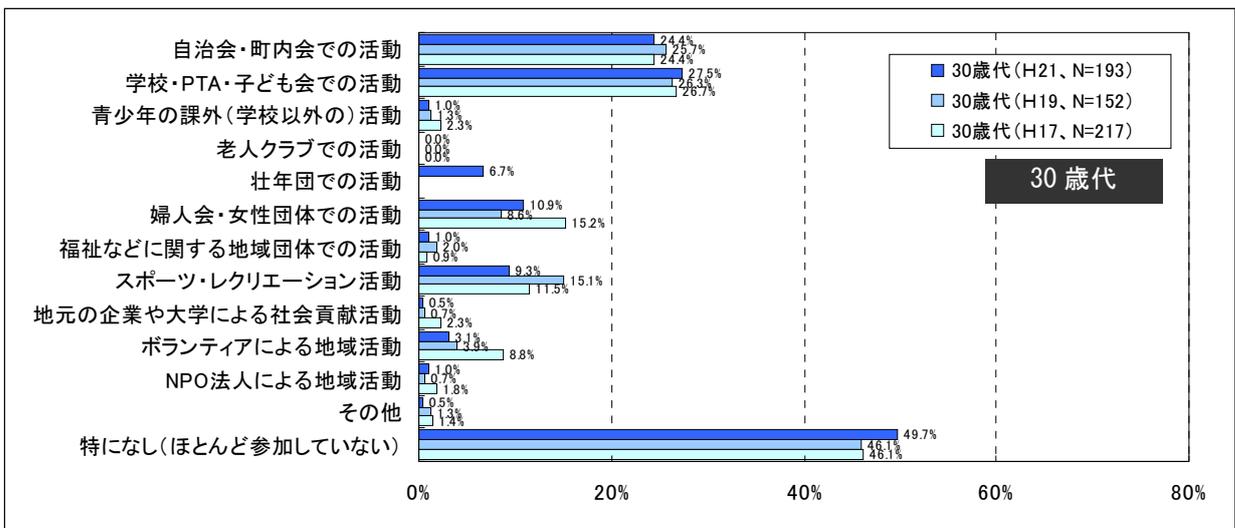
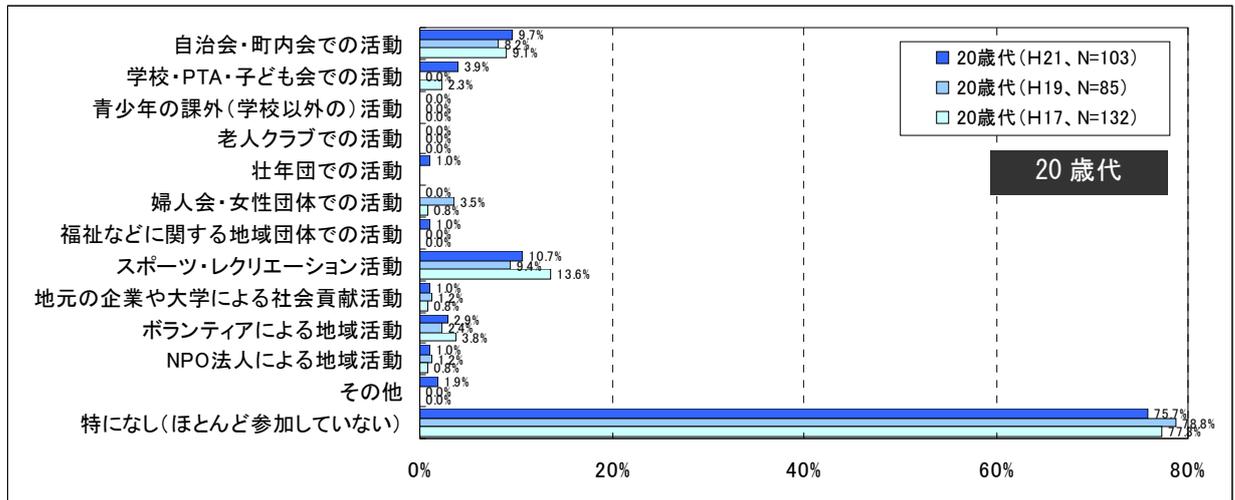
【今回（H21）】

- ・「福祉などに関する地域団体での活動」「ボランティアによる地域活動」は、年代が上がるほど参加の割合が高くなっています。
- ・「学校・PTA・子ども会での活動」は、30～40 歳代の参加が約 3 割と高く、「自治会・町内会での活動」は、40～60 歳代が約 4 割、70～74 歳でも約 3 割と高くなっています。
- ・「特になし」の割合は、40 歳代が 24.9%と最も低く、約 8 割が何らかの活動に参加しています。その他の年代では、年代が上がるほど「特になし」の割合が減少しています。

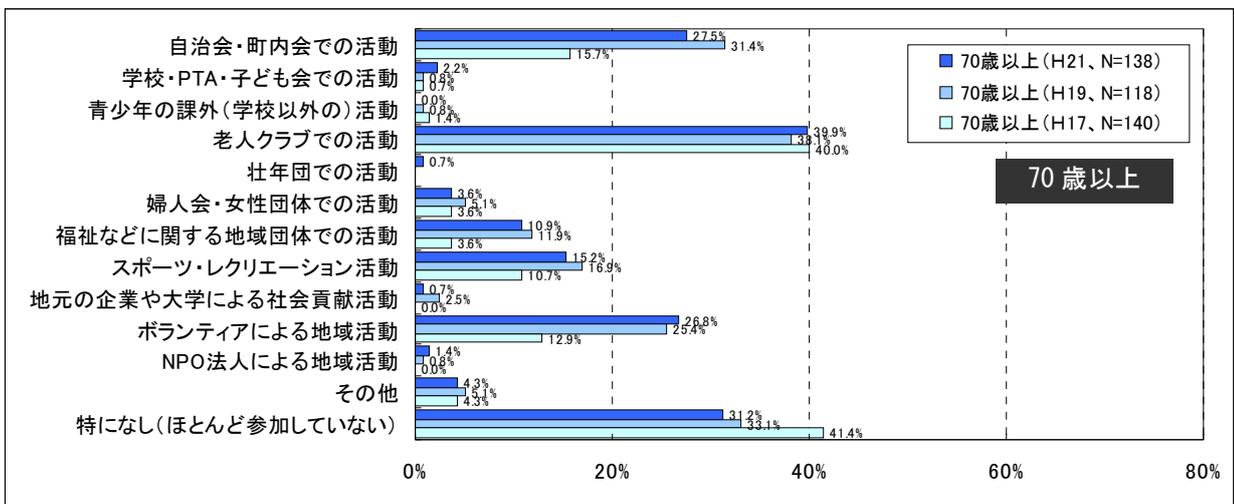
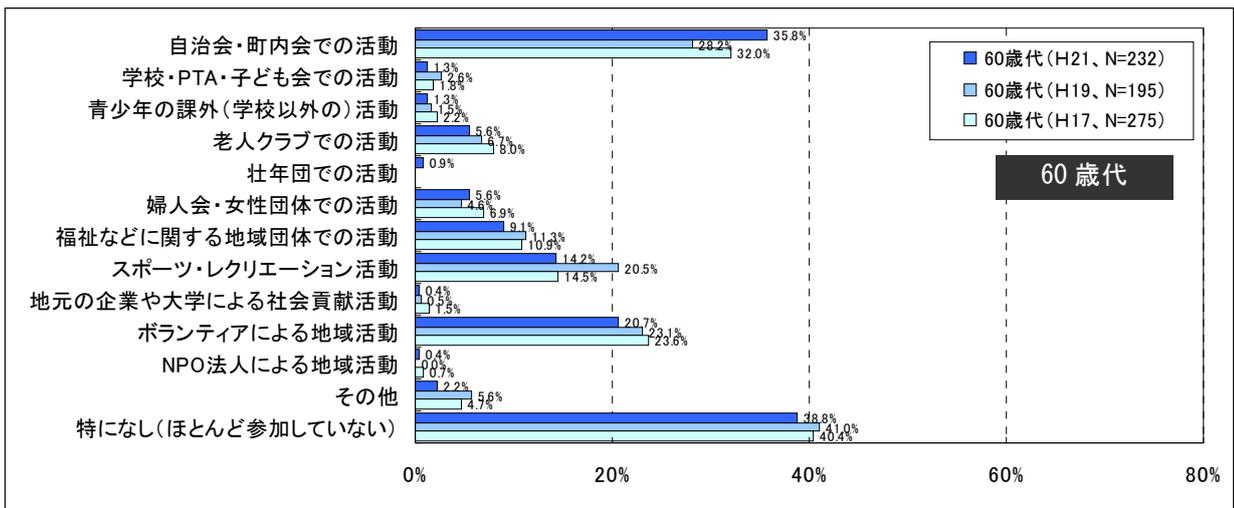
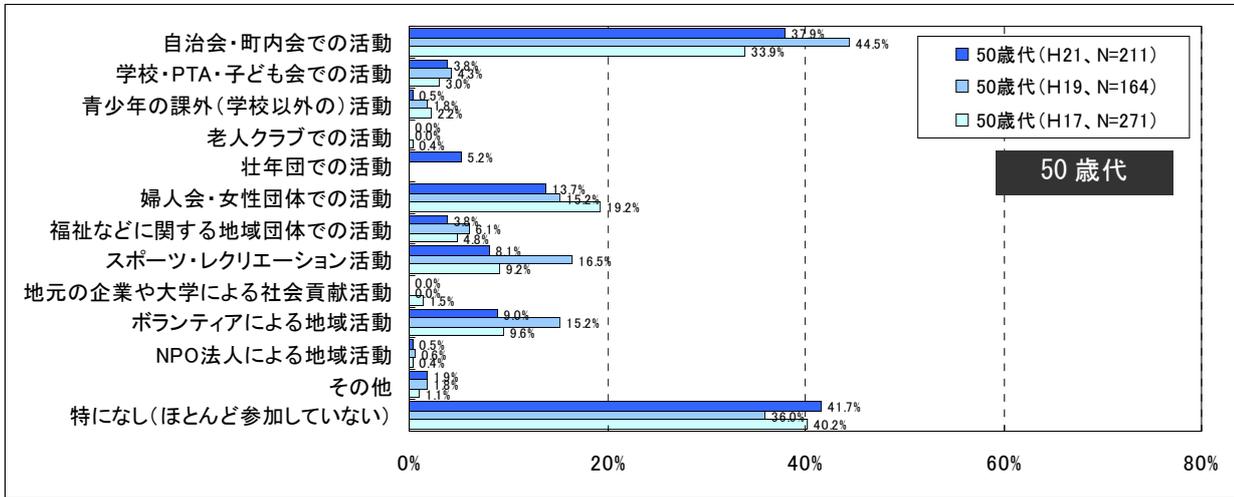


【経年変化】

- ・30 歳代と 50 歳代で「特になし」の割合がやや増加していますが、その他の年代では減少しており、特に 70 歳代では H17 から H21 にかけて約 10 ポイントの減少幅となっています。
- ・「ボランティアによる地域活動」の割合が 70 歳代で増加傾向にありますが、30 歳代、60 歳代では減少傾向となっています。



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

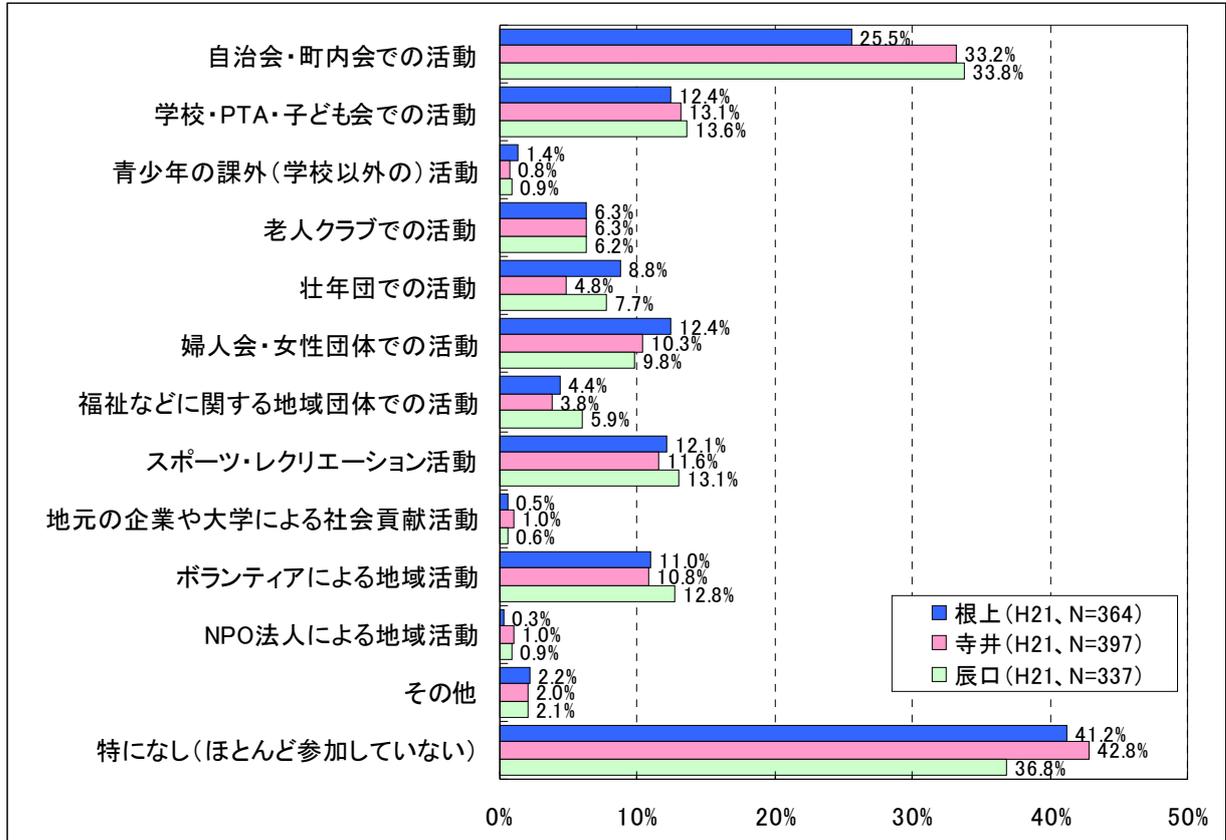


※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

■ 地域活動への参加の状況（地区別）

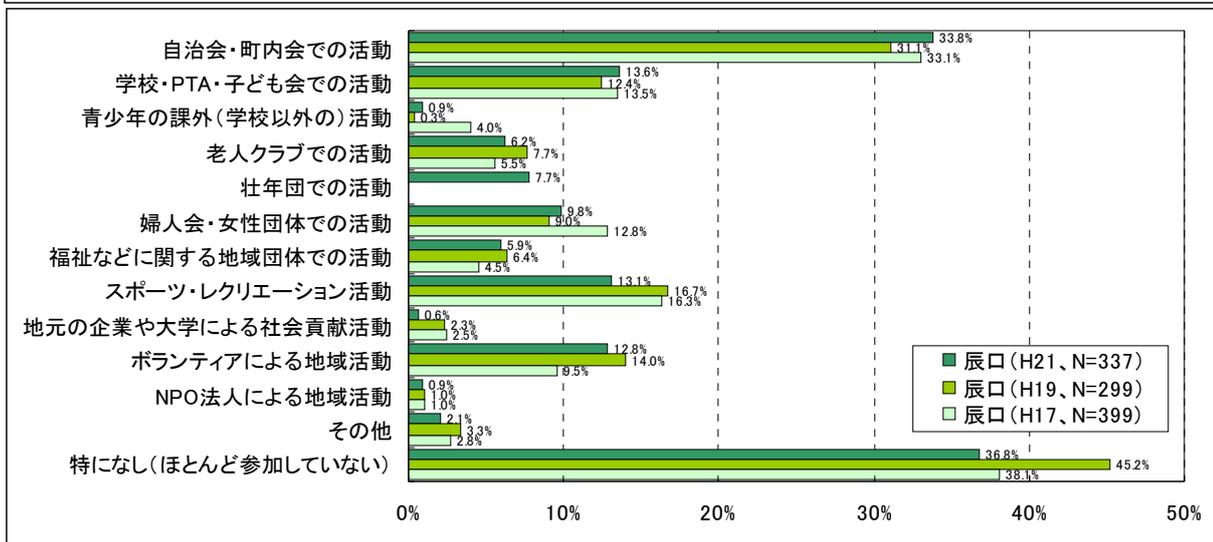
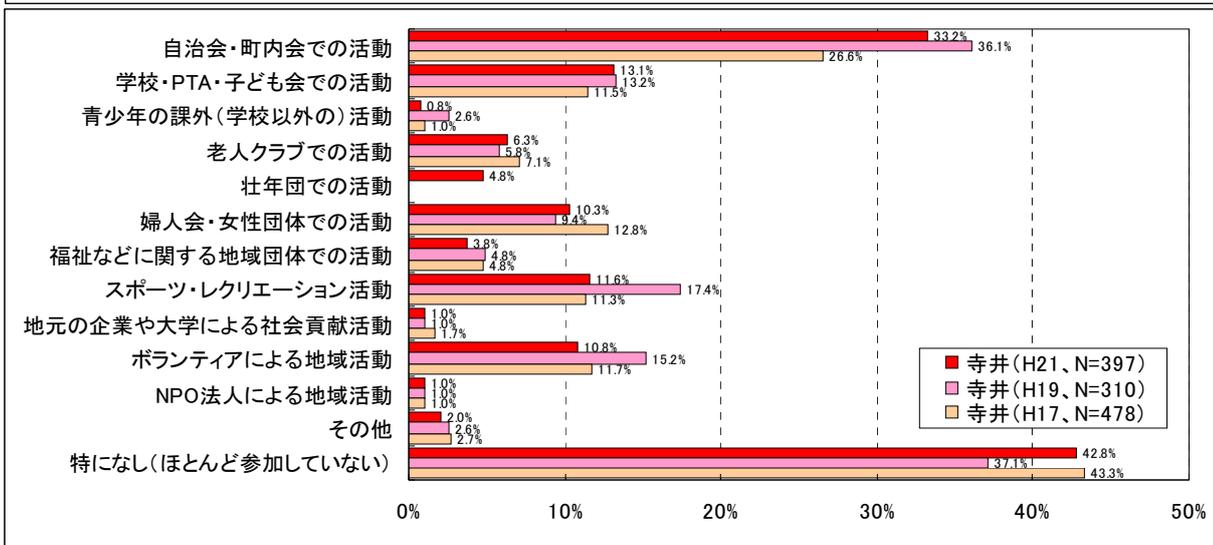
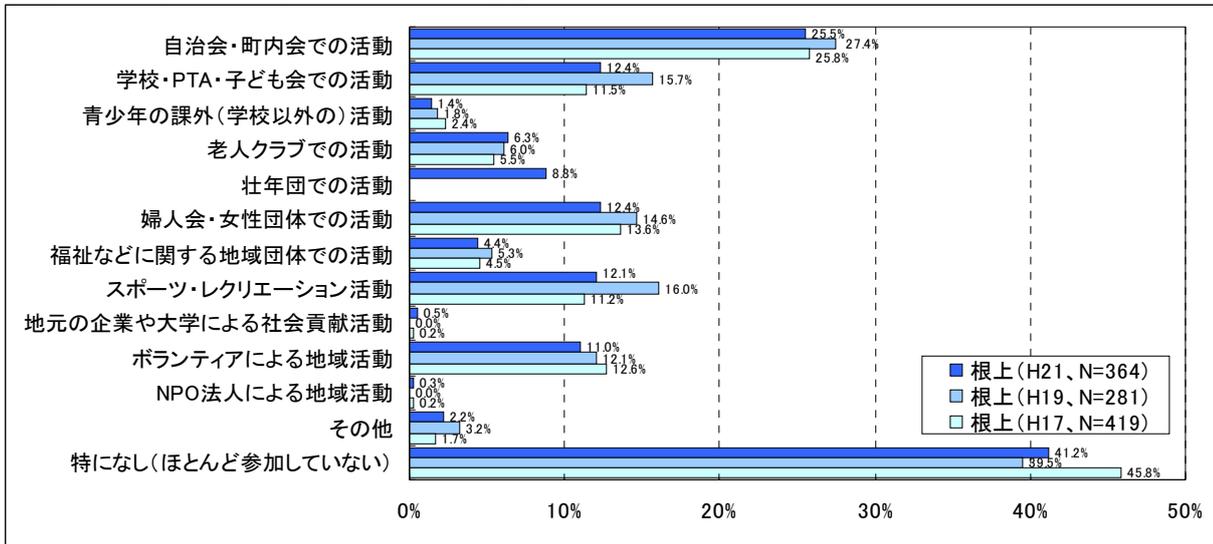
【今回（H21）】

・「自治会・町内会での活動」の割合は、辰口・寺井で約 33%となっており、根上よりも高くなっています。



【経年変化】

- ・ 寺井では、「自治会・町内会での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」「ボランティアによる地域活動」の割合が H17 から H19 にかけて増加したものの、H21 には減少しており、後者の 2 項目については、ほぼ H17 の割合まで戻っています。
- ・ 辰口は、H19 には「特になし」の割合が他の 2 地区よりも高くなっていましたが、H21 には他の 2 地区よりも低くなっています。

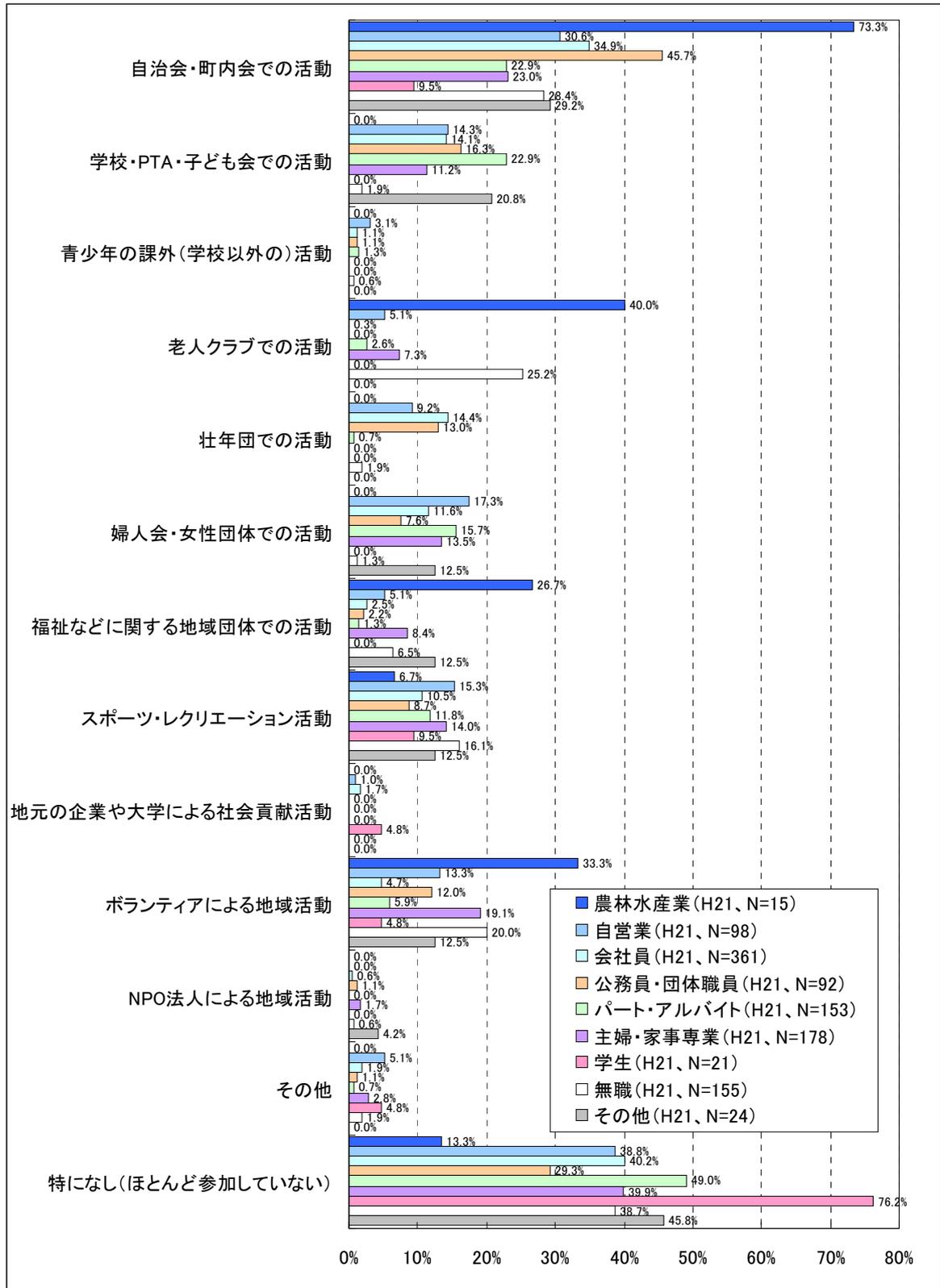


※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

■地域活動への参加の状況（職業別）

【今回（H21）】

- ・農林水産業者は「自治会・町内会での活動」「老人クラブでの活動」「福祉などに関する地域団体での活動」「ボランティアによる地域活動」において、他の職業よりも割合が高くなっています。
- ・学生は全体的に活動への参加の割合が低く、76.2%が「特になし」と回答しています。

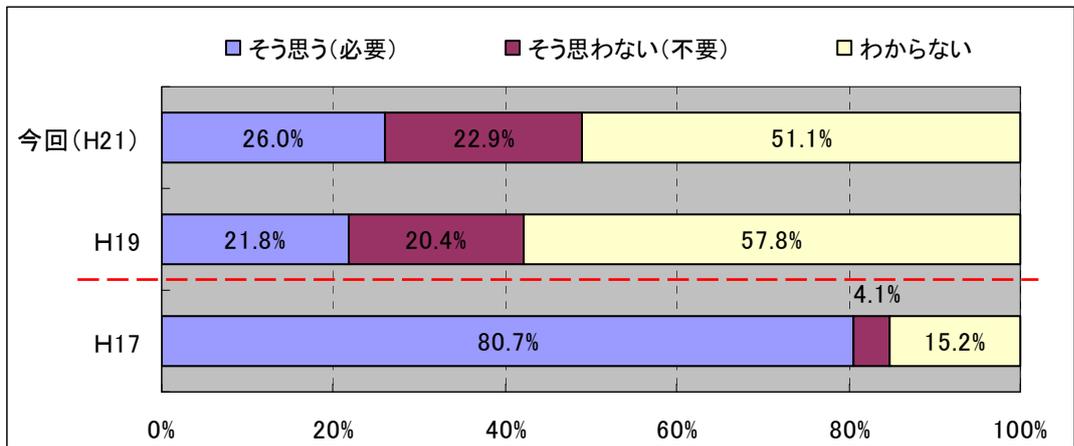


**問 17** あなたは、地域社会での生活において、住民どうし、あるいは住民と行政との協力（協働※）が行われていると思いますか？

◆「わからない」との回答が 51.1%と過半数を占めていますが、H19 と比較すると 6.7 ポイント減少しており、協働の取り組みの認知度がやや高まったことが伺えます。

選択項目	今回 (H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 そう思う(必要)	290	26.0%	196	21.8%	1071	80.7%
2 そう思わない(不要)	256	22.9%	184	20.4%	55	4.1%
3 わからない	571	51.1%	521	57.8%	201	15.2%
無回答	57	-	65	-	94	-
合計	1174	-	966	-	1421	-
回答者数(合計-無回答)	1117	100.0%	901	100.0%	1327	100.0%

※H17 は「協働体制は必要だと思いますか？」という設問を設定



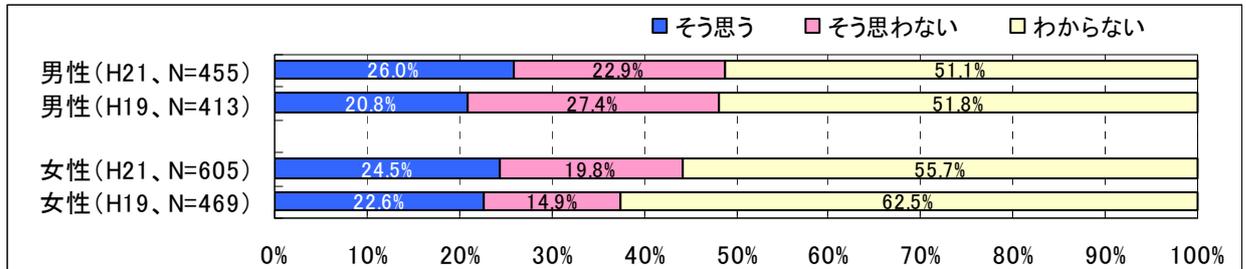
【理由 (H21)】

	回答数	主な意見
① そう思う	122 件	◇川掃除、バーベキュー大会、輪踊り等で協働しているから。 ◇区長、公民館長等が中心となって地域の住民と協力しているから。 ◇町内会活動や公民館活動が活発に行われているから。
② そう思わない	96 件	◇一部の人達だけで全員が協働しているとは思わないため。 ◇協働するのは、溝掃除やごみ収集しか見たことがないから。 ◇住民と行政とのつながりが少ないため。
③ わからない	90 件	◇地域活動にあまり参加していないため。 ◇関心がないため。

※詳細は「自由回答一覧」を参照して下さい。

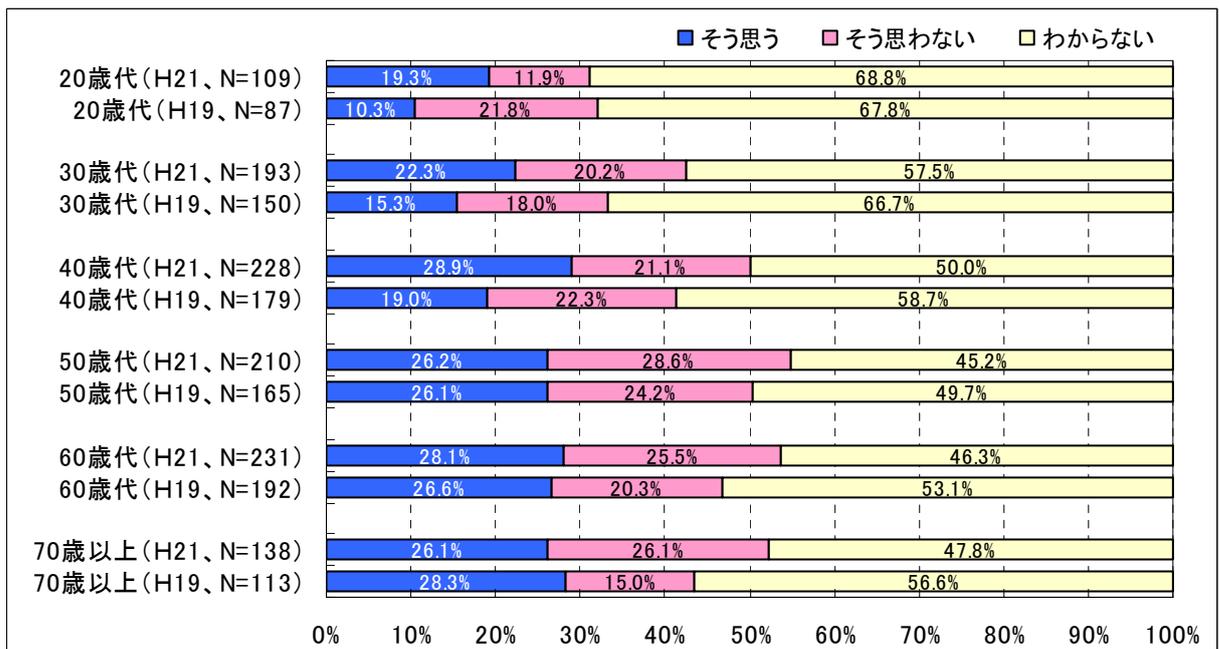
■協働に対する現状の認識（性別）

- ・男性は H19 と比較して、協働が行われていると思う（「そう思う」）との回答が 5 ポイント以上増えています。
- ・一方、女性は H19 と比較して「わからない」が 6 ポイント以上減り、認知度が上がったことが伺えます。



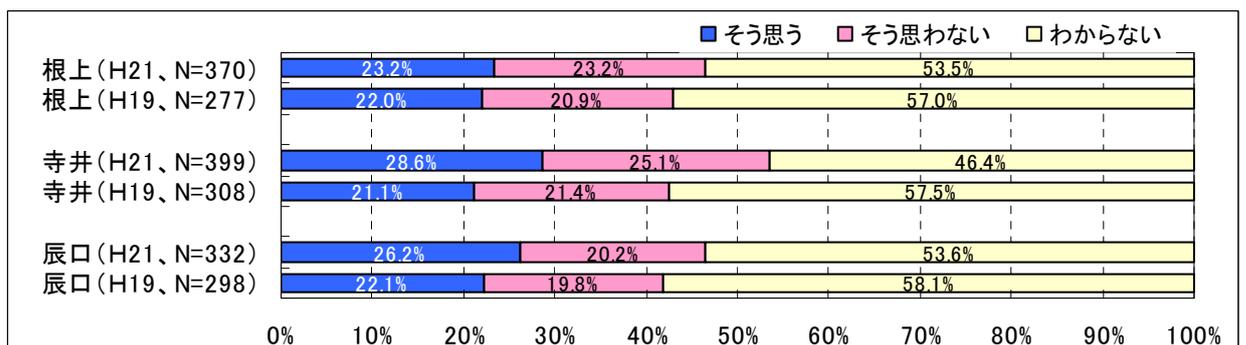
■協働に対する現状の認識（年代別）

- ・20 歳代は「わからない」との回答が 7 割近くを占めています。
- ・協働が行われていると思わない（「そう思わない」）との回答は、H19 と比較して、20 歳代では 9.9 ポイント以上減り、70 歳以上では 11.1 ポイント増えています。



■協働に対する現状の認識（地区別）

- ・寺井は、H19 と比較して「わからない」が 10 ポイント以上減っています。



問 18

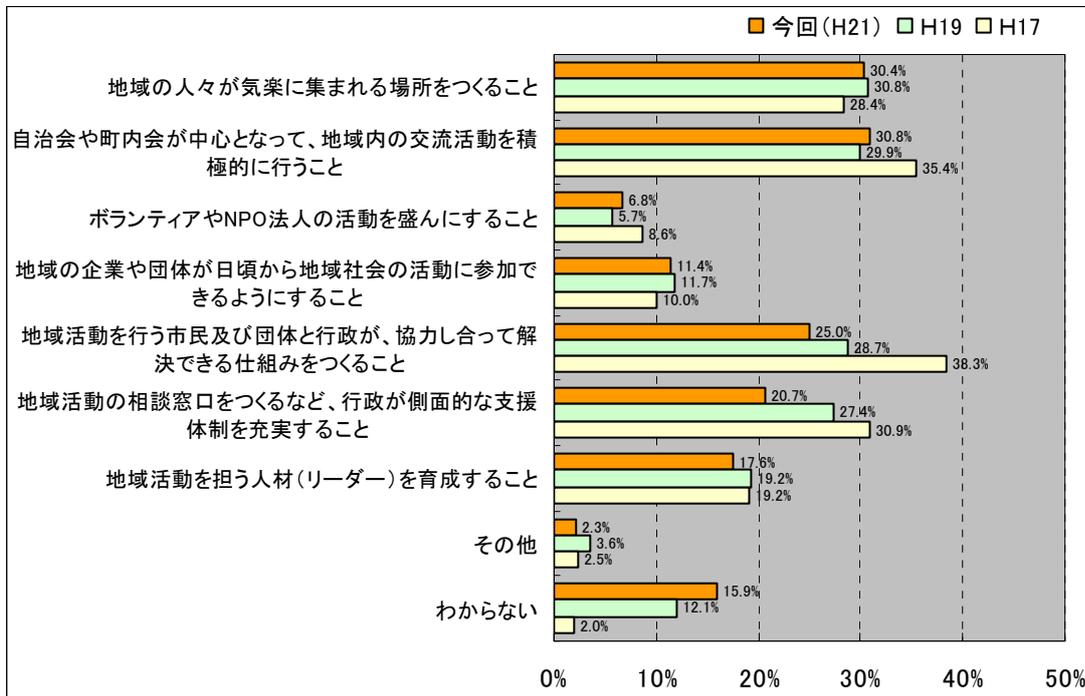
地域社会の問題解決に向けて、住民どうし、あるいは住民と行政の協力（協働）関係を築くために、どんなことが重要だと思いますか？（2つまで○）

- ◆「自治会や町内会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行うこと」が 30.8%と最も多く、次いで、「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくること」30.4%となっており、既存団体等の活動促進や交流の場の提供が求められています。
- ◆H17 から H21 にかけて、「地域活動を行う市民および団体と行政が、協力し合って解決できる仕組みをつくること」は 38.3%から 25.0%に、「地域活動の相談窓口をつくるなど、行政が側面的な支援体制を充実すること」は、30.9%から 20.7%に減っています。

選択項目	今回 (H21)		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 地域の人々が気楽に集まれる場所をつくること	337	30.4%	275	30.8%	301	28.4%
2 自治会や町内会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行うこと	342	30.8%	267	29.9%	375	35.4%
3 ボランティアやNPO法人の活動を盛んにすること	75	6.8%	51	5.7%	91	8.6%
4 地域の企業や団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること	127	11.4%	105	11.7%	106	10.0%
5 地域活動を行う市民及び団体と行政が、協力し合って解決できる仕組みをつくること	278	25.0%	257	28.7%	406	38.3%
6 地域活動の相談窓口をつくるなど、行政が側面的な支援体制を充実すること	230	20.7%	245	27.4%	327	30.9%
7 地域活動を担う人材（リーダー）を育成すること	195	17.6%	172	19.2%	203	19.2%
8 その他	25	2.3%	32	3.6%	26	2.5%
9 わからない	177	15.9%	108	12.1%	21	2.0%
無回答	64	-	72	-	12	-
回答数	1850	166.7%	1512	169.1%	1856	175.3%
回答者数	1110	100.0%	894	100.0%	1059	100.0%

その他： ボランティアに依存しすぎないこと(2)、本音を言えるような環境・場をすること、行政が 24 時間体制でいつでも対応する窓口を一つは設けること、行政サイドがリードしながら核となる人材を育成すること、地域の企業や団体への行政の直接的な働きかけを行うこと、地域の人々のサークル活動への支援 など

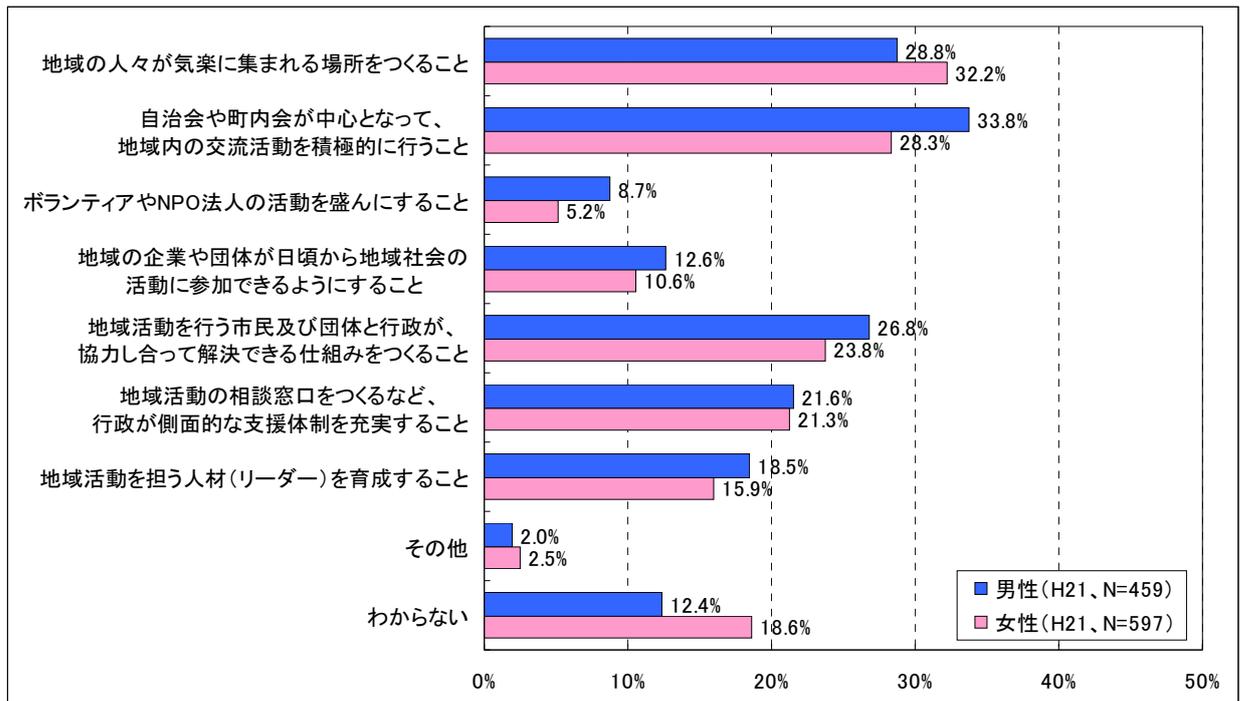
※H17 は協働体制が「必要」と回答した人のみ、( ) : H21 における回答者数



## ■協力関係を構築していくために重要なこと（性別）

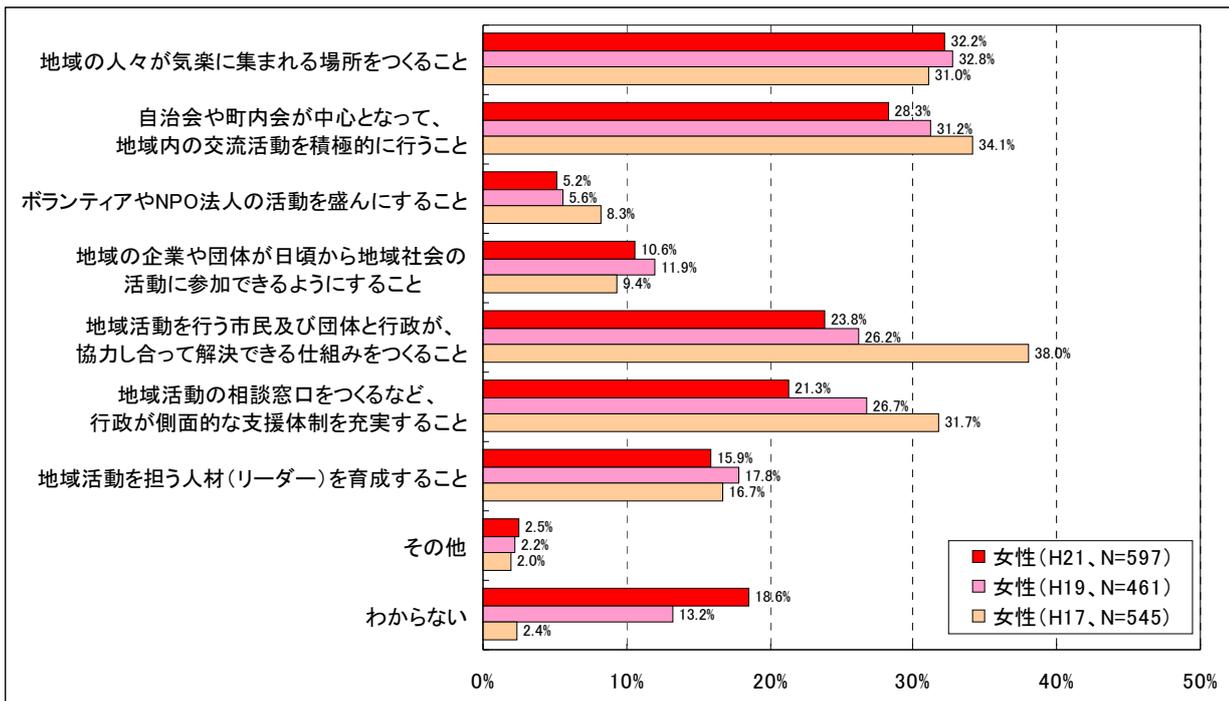
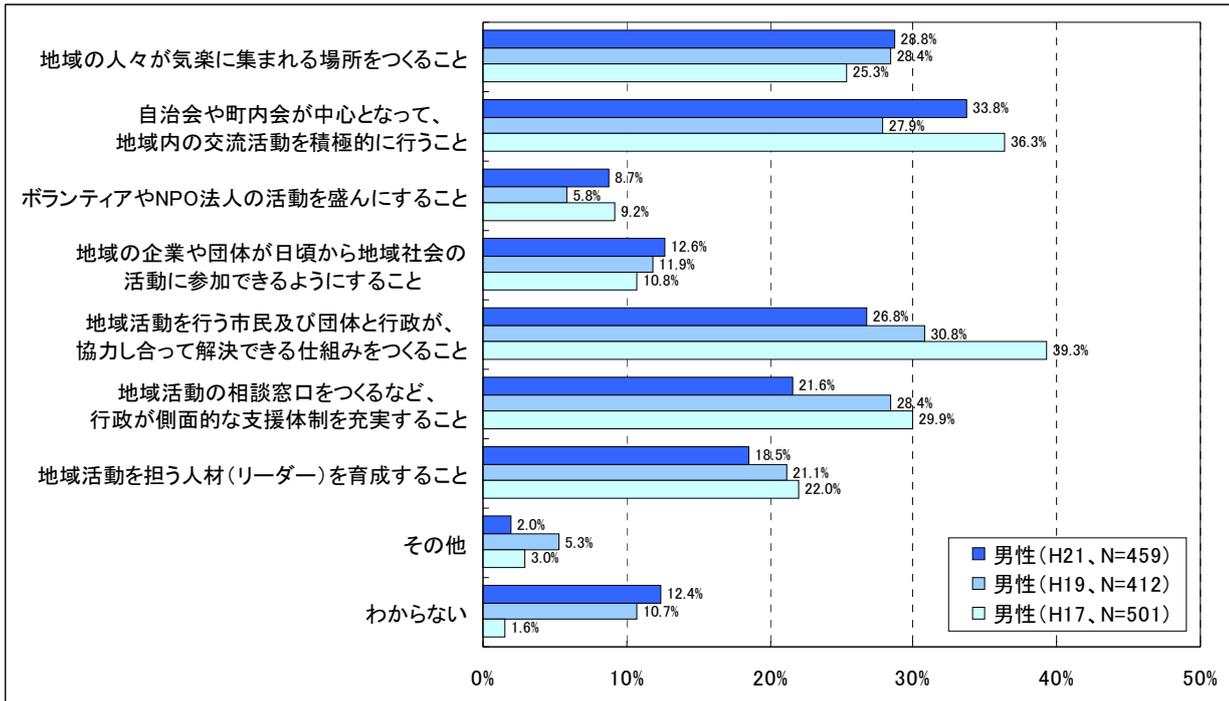
### 【今回（H21）】

- ・男性では「自治会や町内会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行うこと」が 33.8% と最も高く、女性では「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくること」との回答割合が 32.2% と最も高くなっています。
- ・「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくること」については、女性の方が重視しており、その他の項目については、男性の方が重視していることが伺えます。



【経年変化】

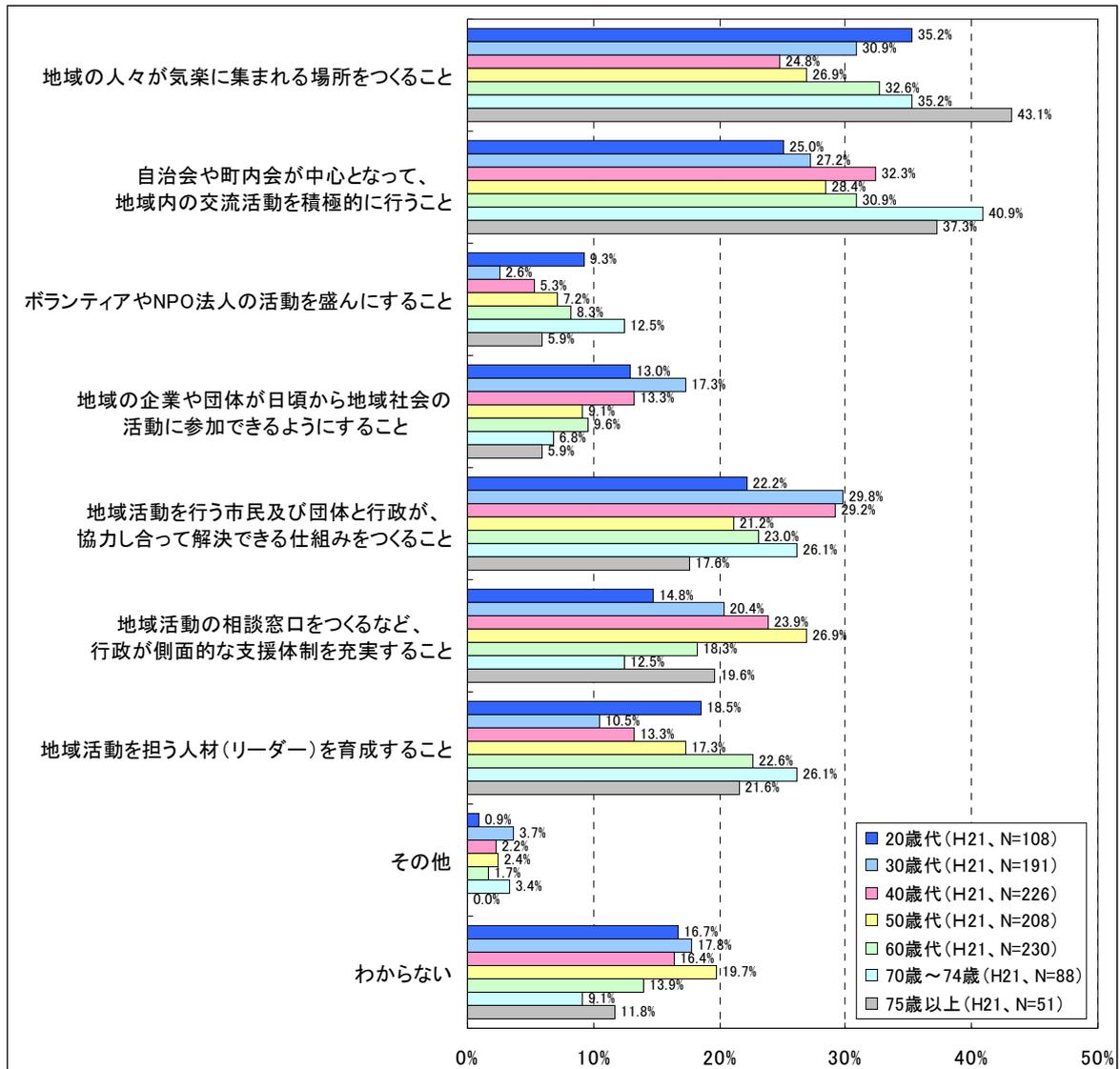
- ・男女ともに、H17 から H21 にかけて「地域活動を行う市民および団体と行政が、協力し合っ  
て解決できる仕組みをつくること」「地域活動の相談窓口をつくるなど、行政が側面的な支  
援体制を充実すること」の割合が減少しています。
- ・「自治会や町内会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行うこと」との回答は、女  
性では H17 から H21 にかけて減少していますが、男性では H19 から約 6 ポイント増えていま  
す。



■協力関係を構築していくために重要なこと（年代別）

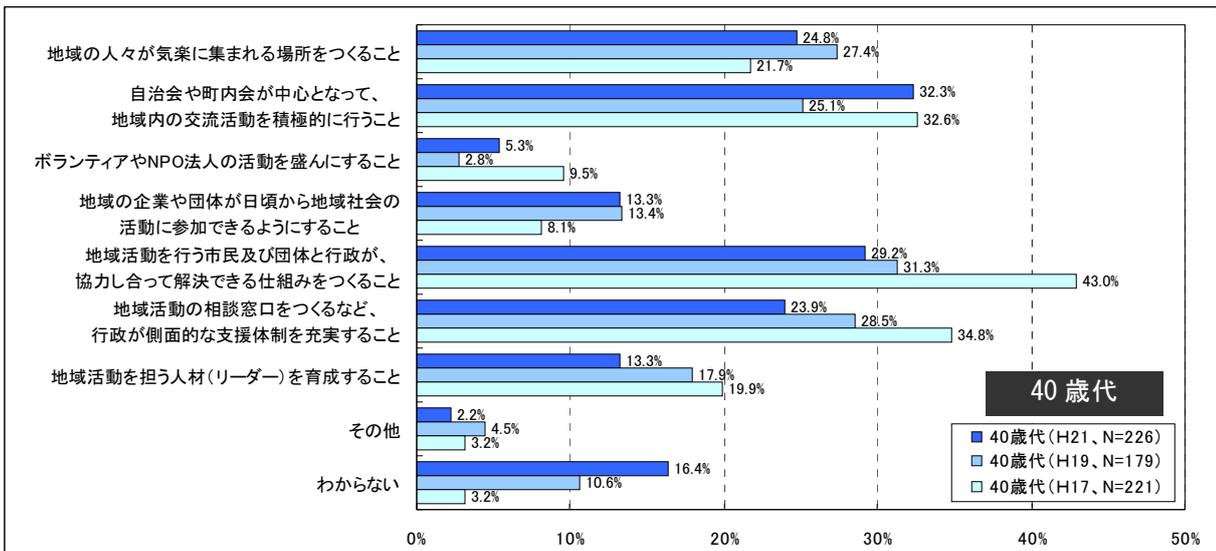
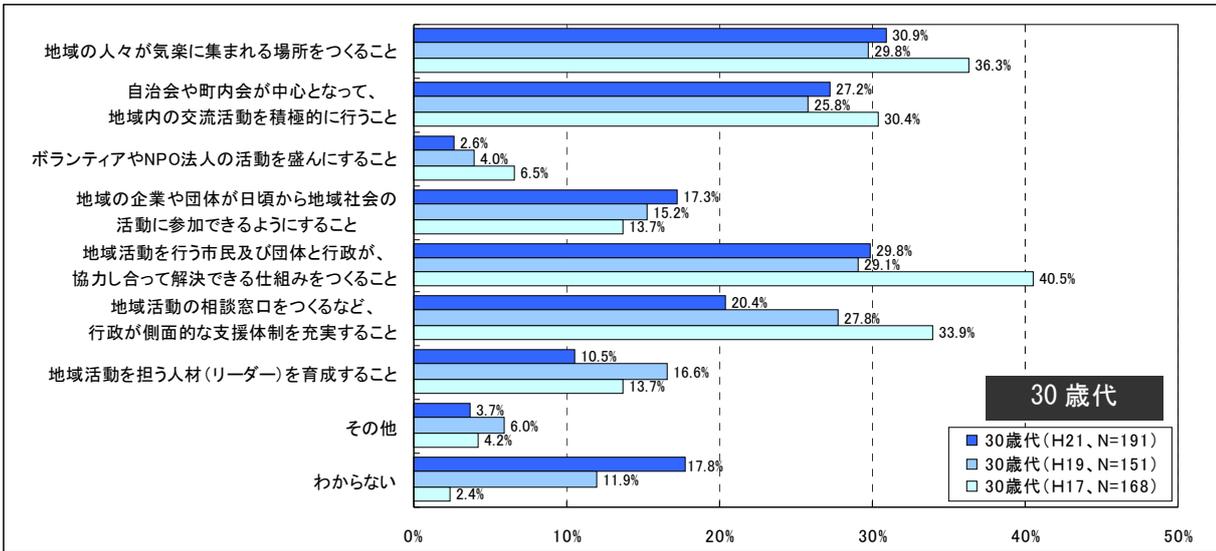
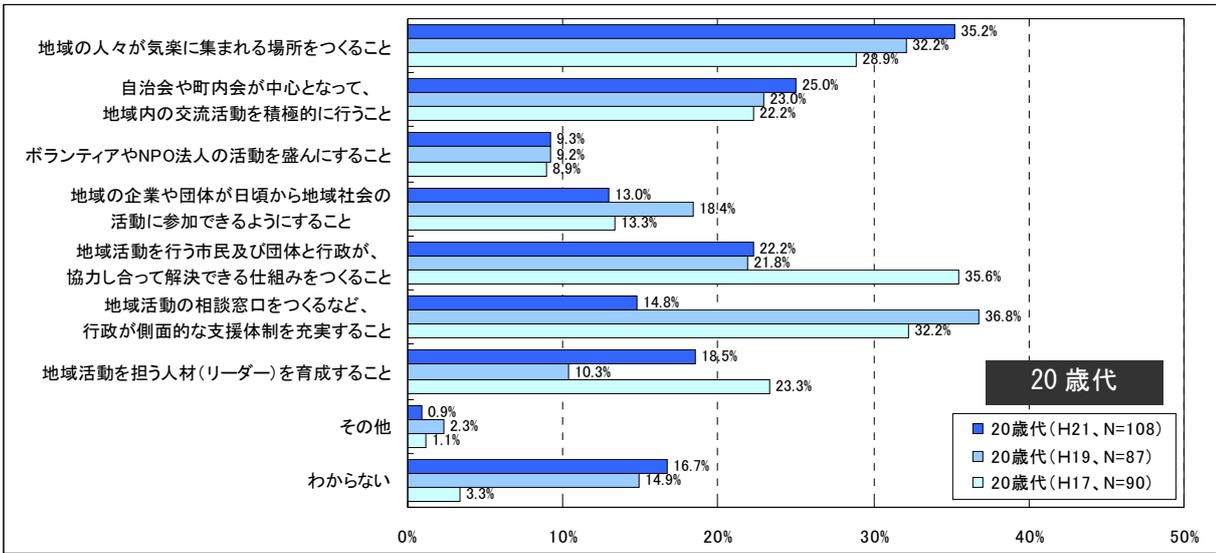
【今回（H21）】

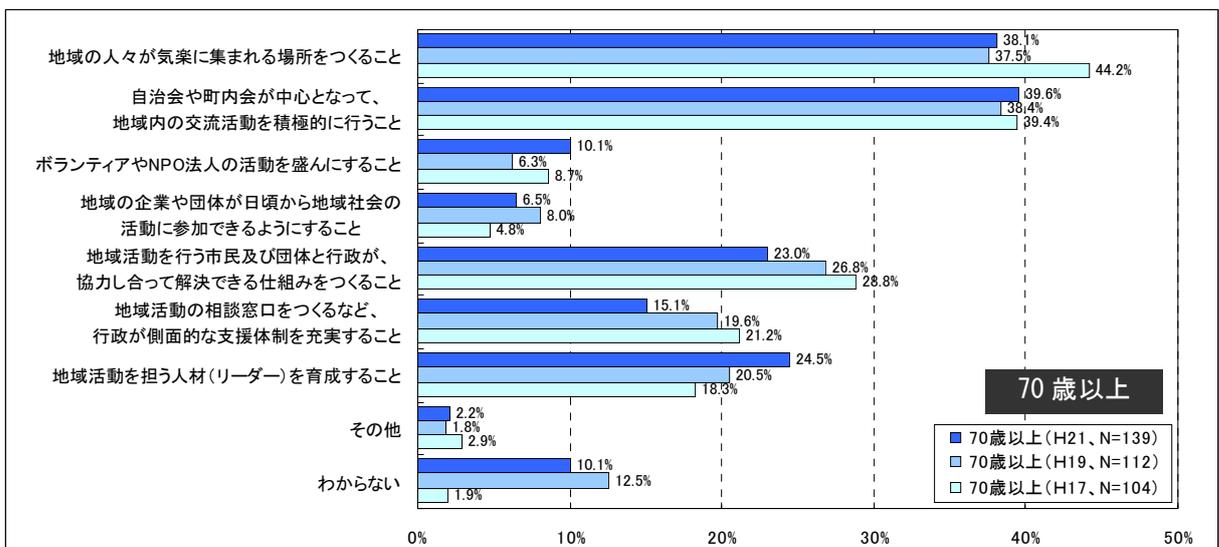
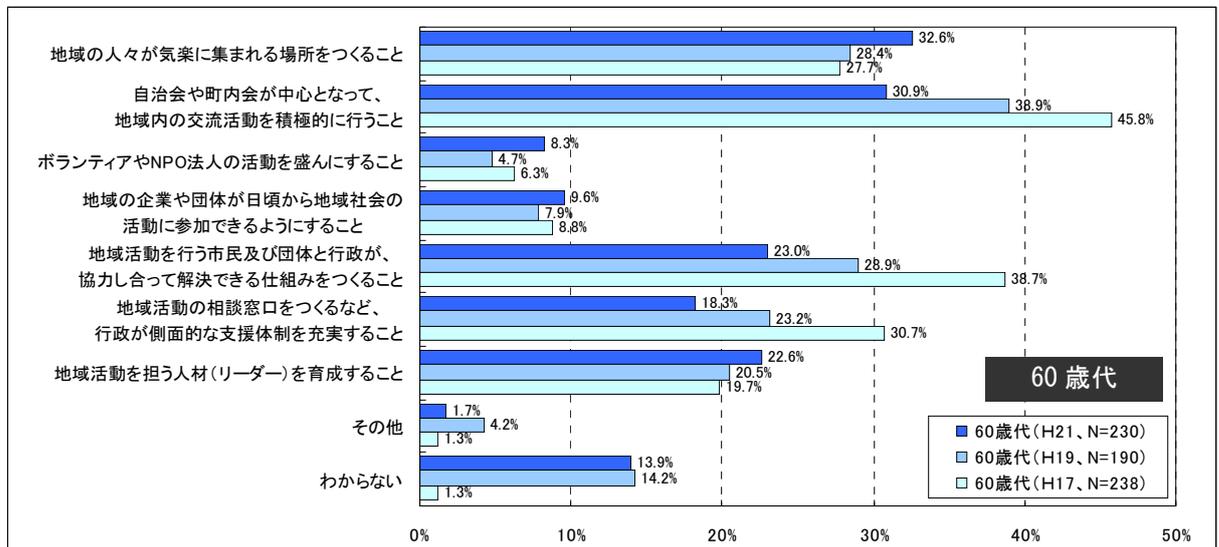
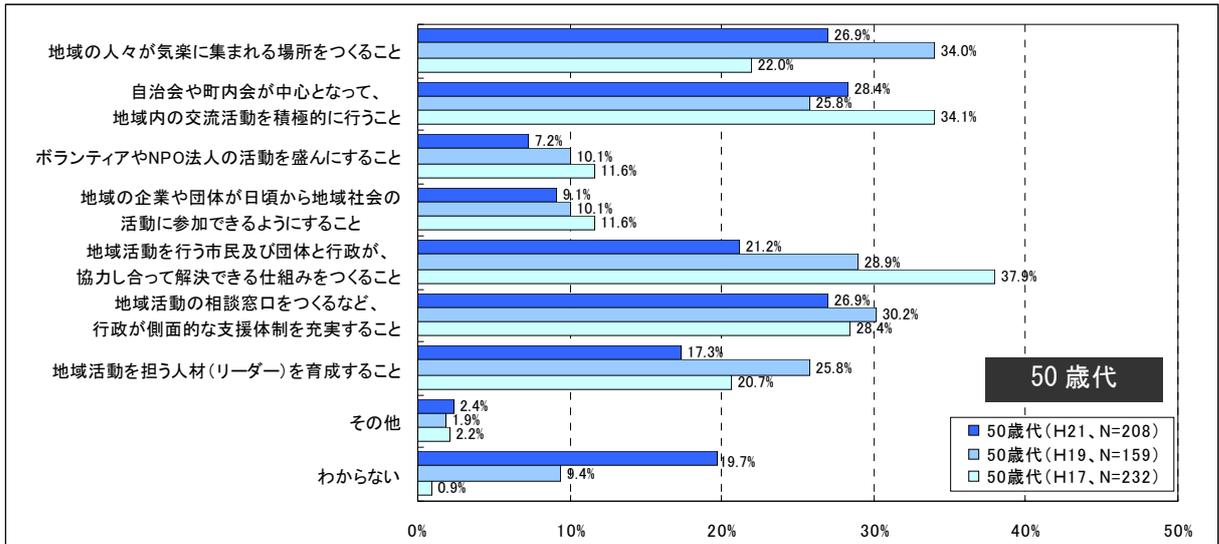
- ・20～30 歳代および 60 歳以上の 3 割以上が「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくること」を重視しており、高い割合となっています。
- ・40～50 歳代および 70～74 歳の回答者は、「自治会や町内会が中心となって地域内の交流活動を積極的に行うこと」との回答割合が最も高くなっています。



【経年変化】

- ・すべての年代で「地域活動を行う市民および団体と行政が、協力し合って解決できる仕組みをつくること」「地域活動の相談窓口をつくるなど、行政が側面的な支援体制を充実すること」の割合が H17 と比べて減っています。
- ・「自治会や町内会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行うこと」は、60 歳代で大幅に減少しており、H17 から H21 にかけて 45.8%から 30.9%まで減っています。
- ・「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくること」との回答割合は、20 歳代と 60 歳代で増加しており、「地域活動を担う人材（リーダー）を育成すること」は、60 歳以上で増加しています。

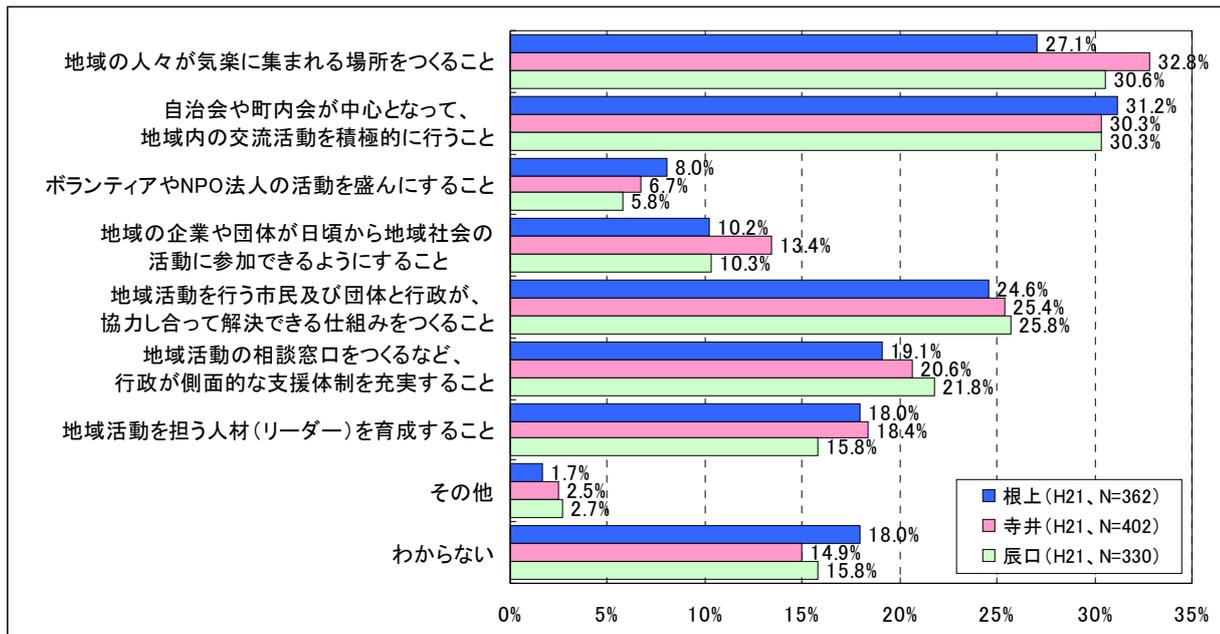




■協力関係を構築していくために重要なこと（地区別）

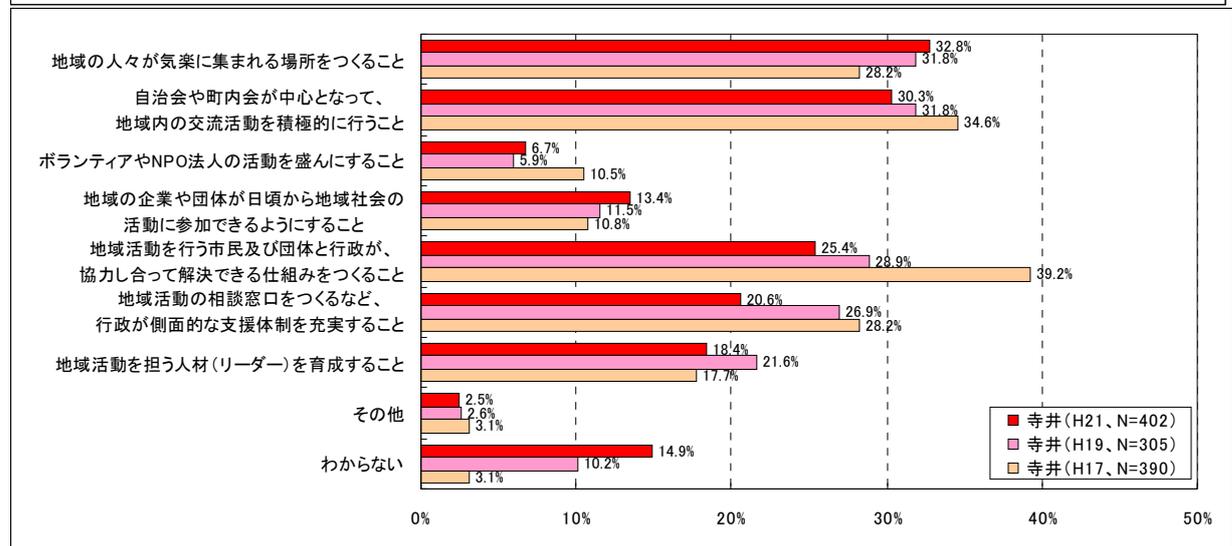
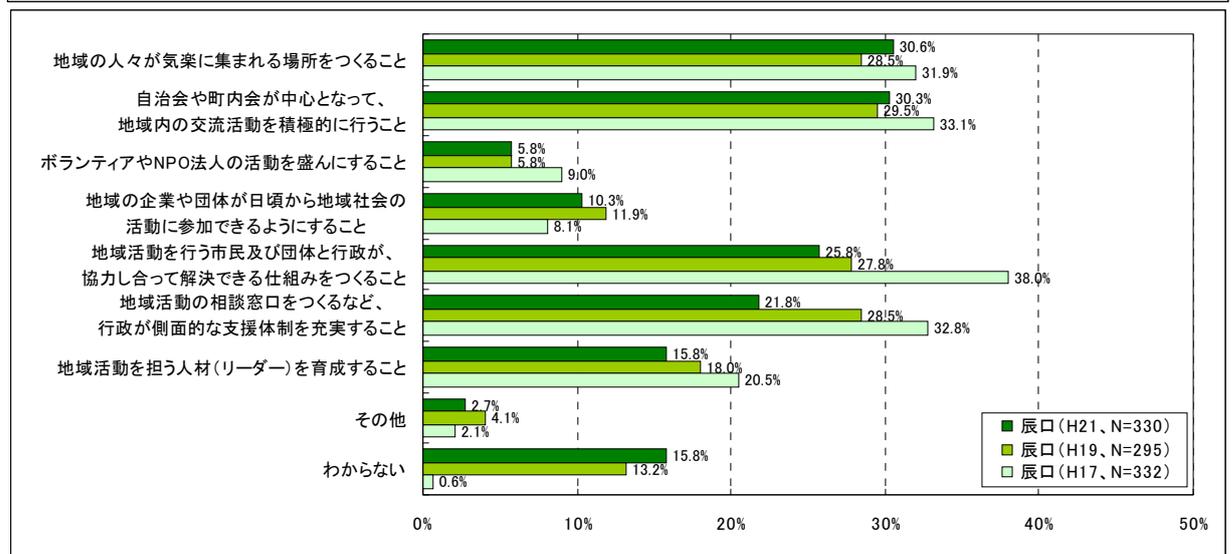
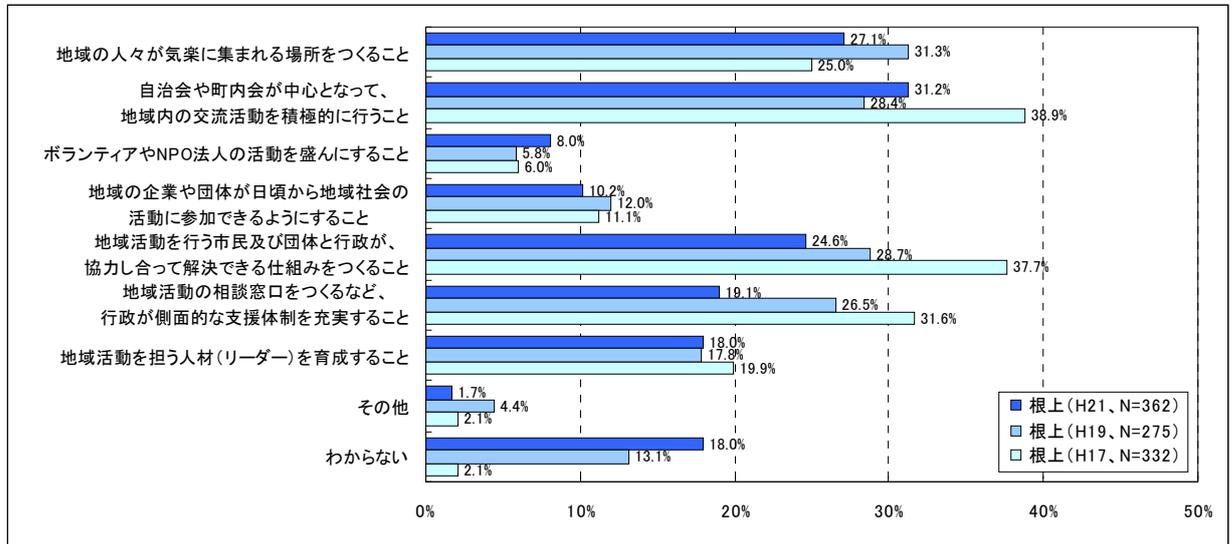
【今回（H21）】

- ・「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくること」「自治会や町内会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行うこと」との回答は、いずれの地区においても約3割となっており、特に、寺井では前者を、根上では後者を重視する傾向にあります。
- ・「地域の企業や団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること」との回答割合は、寺井が他地区よりも3ポイント以上高くなっています。



【経年変化】

- すべての地区で、「地域活動を行う市民および団体と行政が、協力し合って解決できる仕組みをつくること」「地域活動の相談窓口をつくるなど、行政が側面的な支援体制を充実すること」の割合が減少傾向となっています。



※問 19 以降は、H21 に追加した新規の設問

(5) 効率的な行政運営・インターネット接続環境について

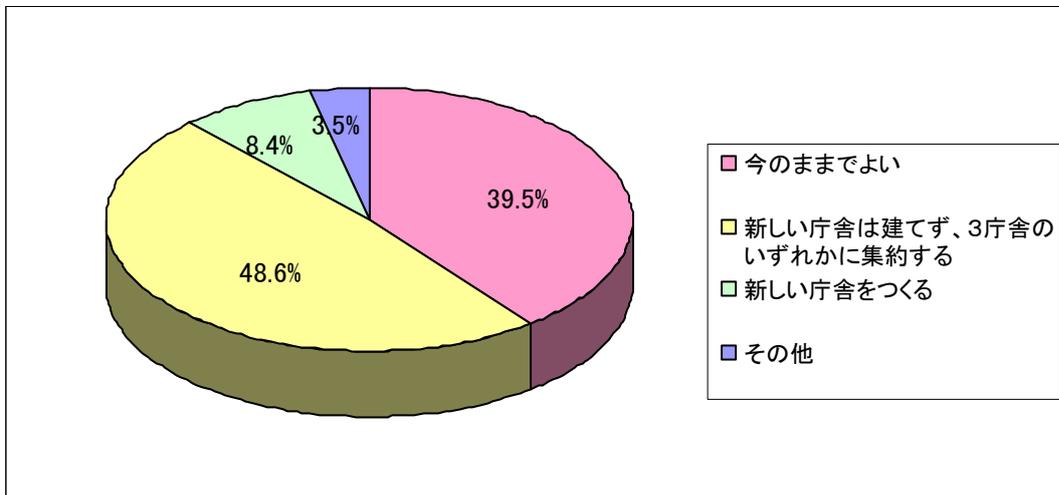
**問 19** 皆さんは市役所庁舎のあり方についてどう思いますか？現在、能美市は3つの庁舎に分かれて事務を行っています。市民にとって身近に市役所があるという便利さの半面、非効率で無駄な経費がかかっていることも事実です。また、新しいまちづくりの“顔”として、統合庁舎を建設するという考え方もあります。

◆「新しい庁舎は建てず、3庁舎のいずれかに集約する」が48.6%、「今のままでよい」が39.5%となっており、約9割が新庁舎を建設しない方向性を望んでいます。

選択項目		回答数	構成比
1	今のままでよい	447	39.5%
2	新しい庁舎は建てず、3庁舎のいずれかに集約する	550	48.6%
3	新しい庁舎をつくる	95	8.4%
4	その他	40	3.5%
	無回答	42	-
	回答数	1174	-
	回答者数(合計-無回答)	1132	100.0%

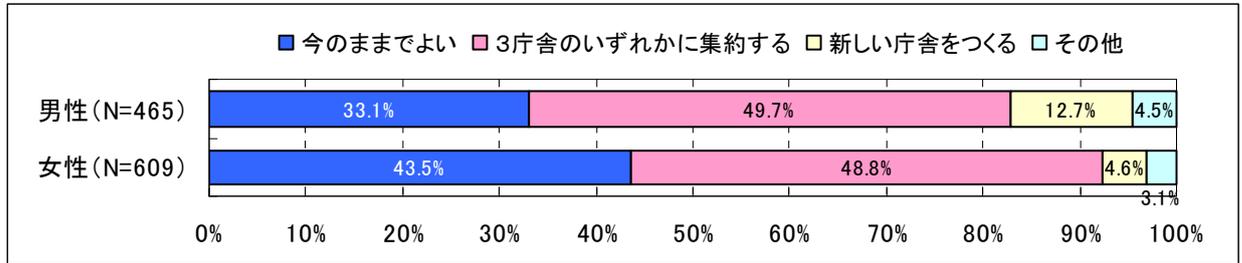
その他： 本庁は1カ所に集約し、他の場所は支所として窓口業務のみを残す(15)、辰口に集約(8)、寺井に集約(5)、分からない(3)、新庁舎の建設はやめて欲しい(2)、今のままで申請のあったものは各庁舎間でデータのやりとりをする、今のままでVPN・ネットTV・SIP等を活用して無駄を省く、無駄な箇所を公開した上で市民に意見を聞いて欲しい など

※( ):回答者数



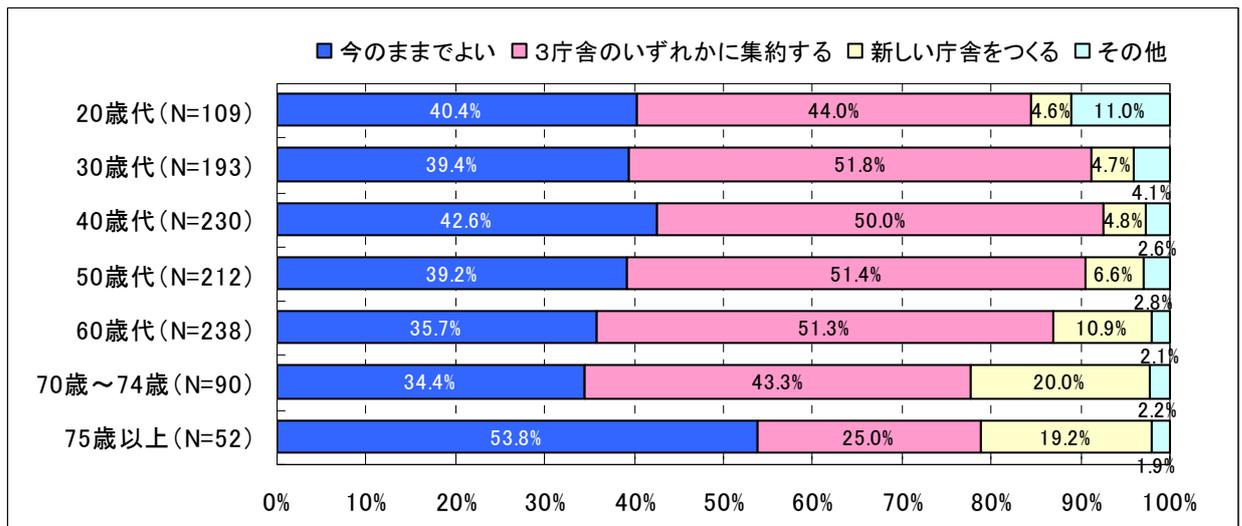
■市役所庁舎のあり方(性別)

- ・男女とも、回答の傾向は同様ですが、項目ごとにみると、「今のままでよい」との回答は、女性が男性よりも約 10 ポイント高く、一方、「新しい庁舎をつくる」との回答は、男性が女性よりも約 8 ポイント高くなっています。



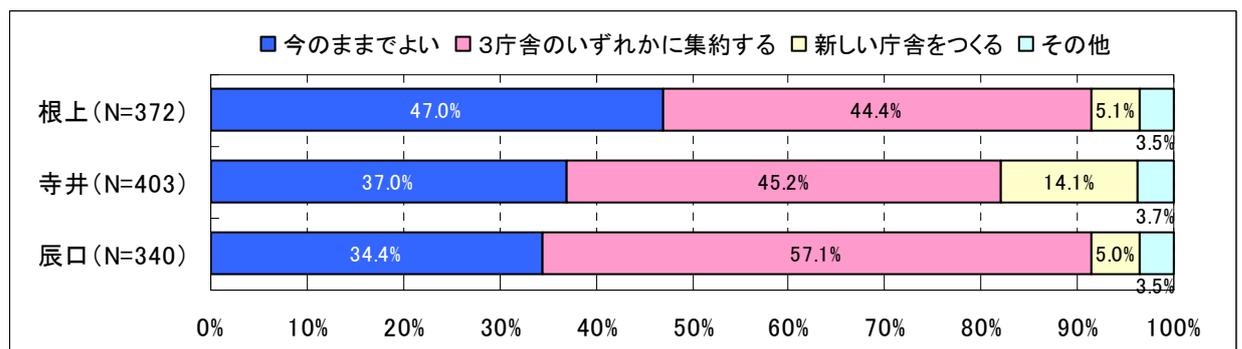
■市役所庁舎のあり方(年代別)

- ・75 歳以上では、「今のままでよい」との回答が最も多く（5 割以上）、その他の年代では、「3 庁舎のいずれかに集約する」との回答が最も多くなっています。
- ・年代が上がるにつれて、「新しい庁舎をつくる」の割合が高くなっています。



■市役所庁舎のあり方(地区別)

- ・根上では「今のままでよい」の割合が約 5 割と高く、辰口では「3 庁舎のいずれかに集約する」が約 6 割を占めています。また、寺井では「新しい庁舎をつくる」の割合が他地区と比較して約 9 ポイント高くなっています。

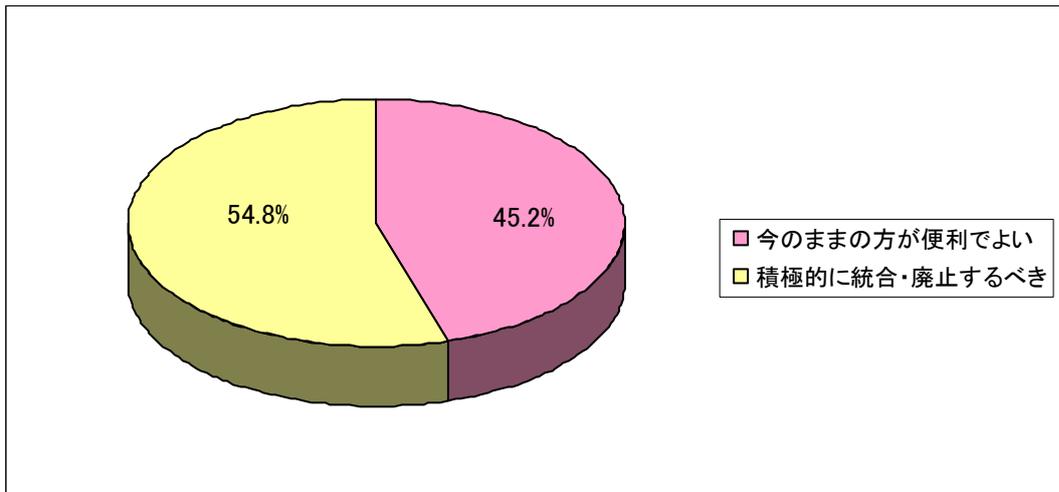


問 20

皆さんは、公共施設の統合や廃止についてどう思いますか？能美市では、合併前に旧 3 町で整備した施設をそのまま引き継ぎ、運営しています。しかし、狭い範囲内に同じような施設があったり、維持費がかかりすぎる施設があったりすることから、統合あるいは廃止することで、無駄な出費を抑えることも考えていかなければなりません。

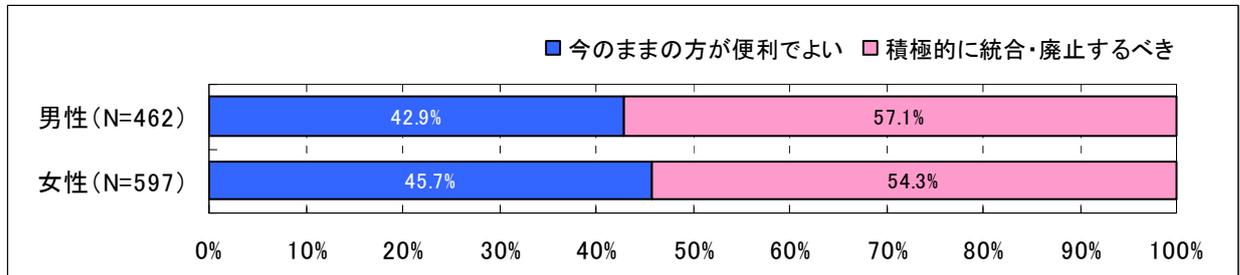
◆「今のままの方が便利でよい」と「積極的に統合・廃止するべき」は、ほぼ半数に分かれましたが、後者を望む回答者の方がやや多くなっています。

選択項目		回答数	構成比
1	今のままの方が便利でよい	505	45.2%
2	積極的に統合・廃止するべき	612	54.8%
	無回答	57	-
	回答数	1174	-
	回答者数(合計-無回答)	1117	100.0%



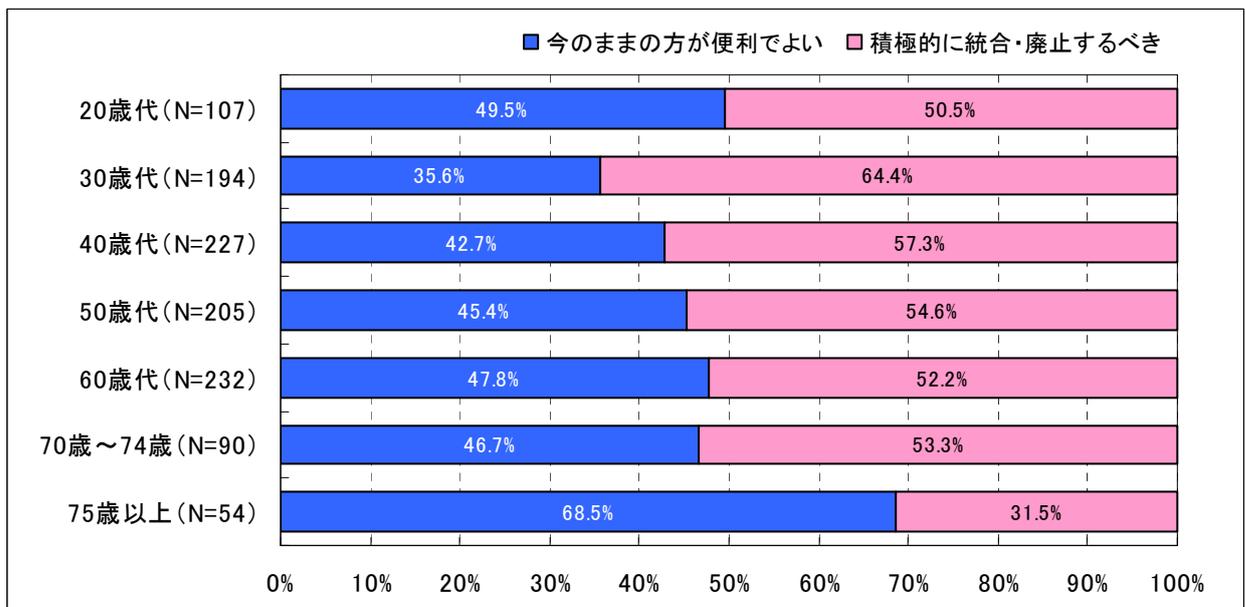
### ■ 公共施設の統合・廃止の是非(性別)

- ・性別による差はほとんどありませんが、女性の方が、「今のままの方が便利でよい」がやや多くなっています。



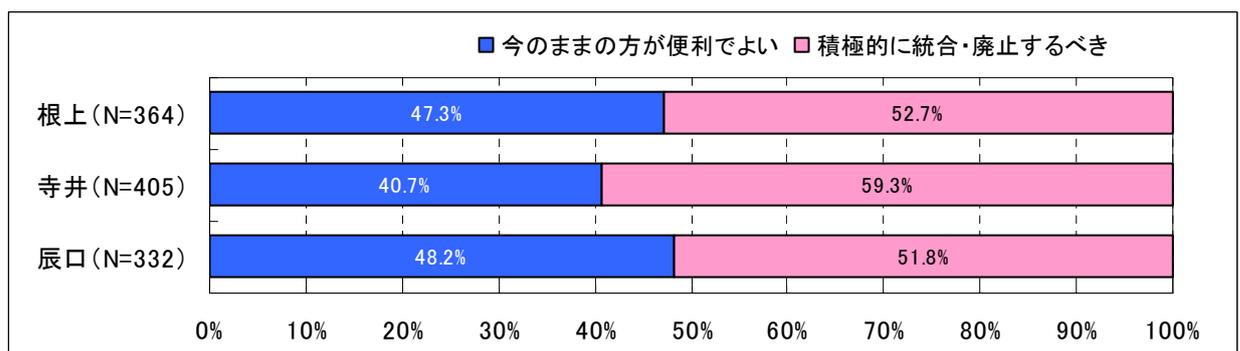
### ■ 公共施設の統合・廃止の是非(年代別)

- ・「今のままの方が便利でよい」との回答は、75歳以上で68.5%と最も多く、30歳代以外の年代でも4割以上を占めています。



### ■ 公共施設の統合・廃止の是非(地区別)

- ・「今のままの方が便利でよい」との回答は、根上と辰口では約5割、寺井では約4割となっています。



問 21

問 20 で 2 と答えた方は、どのような公共施設を統合・廃止すべきと思いますか？（自由記入）

- ◆ 「博物館」「公民館」「図書館」の統合・廃止を望む回答が多く、博物館としては「能美市立歴史民族資料館」、図書館としては「市立辰口図書館」が挙げられています。

【施設の種類の種類】

博物館（124）、公民館（79）、図書館（76）、庁舎（34）、体育館（27）、保育園（16）、福祉施設（15）、児童館（10）、フラワーセンター（3）、商工会議所、消防署（2）、青年の家、カルチャーセンター、健康センター、九谷焼関連施設

【具体的な施設】

能美市保養センターわだやま荘（3）、クアハウス九谷（3）、辰口町の温泉施設（ex. 里山の湯）（4）、能美市立歴史民族資料館（2）、市営長野体育館、泉台体育館（2）、JA（2）、赤井地区広域働く婦人の家、根上翠ヶ丘いこいの広場テニスコート、浅蔵五十吉美術館→廃止、寺井情報ステーション→市役所と統合、市立辰口図書館→廃止、能美市保養センターわだやま荘のプール、寺井福祉会館、すこやかセンター、ふるさと交流館

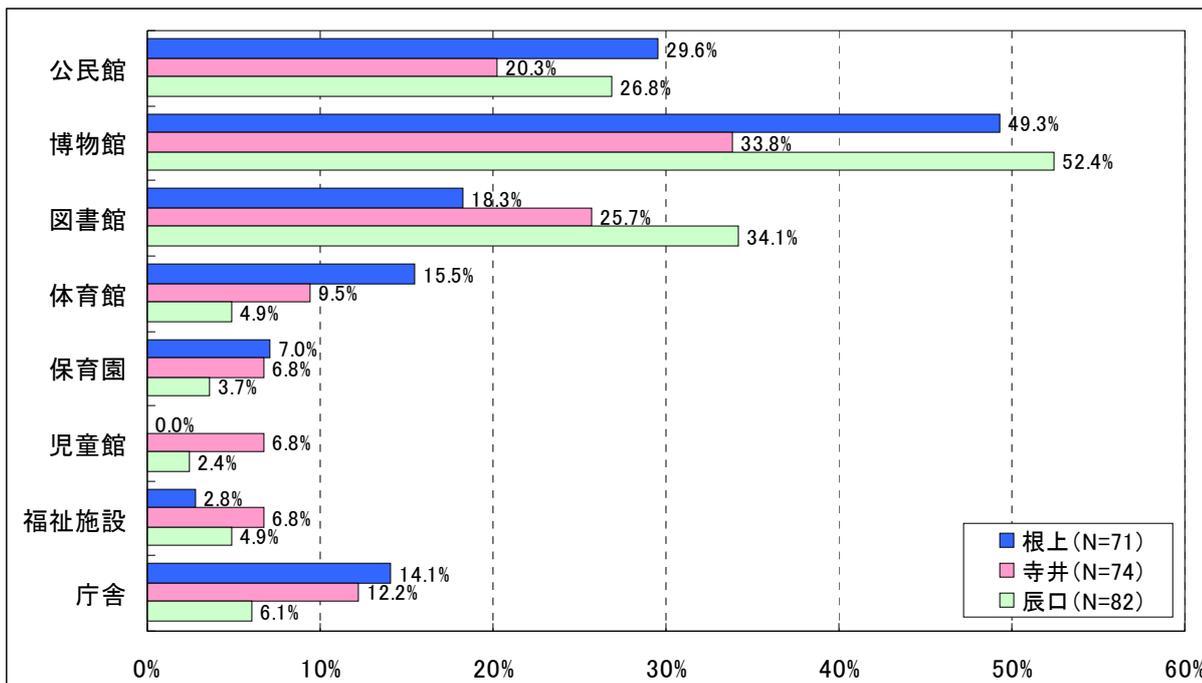
【その他】

あまり利用されていないもの（4）、旧 3 町で重複している施設（2）、維持費の高いもの、同じような施設があるところは利用者数が少ない方を廃止、今のままで良いが、無駄があるのなら地域住民に聞いてから進めるべき

※（ ）：回答者数

■ 統合・廃止すべき公共施設（地区別）

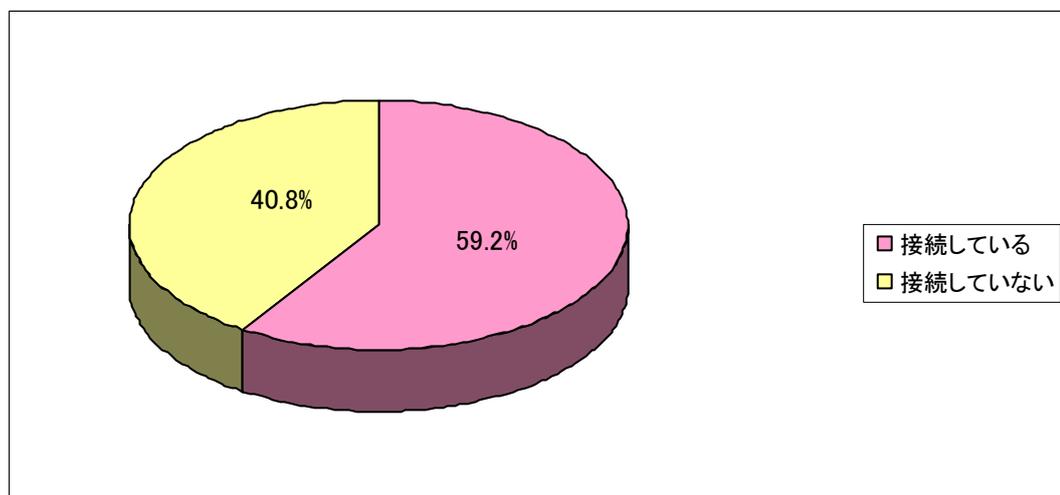
- ・ 「図書館」「博物館」の統合・廃止は、辰口の居住者が特に必要と考えていることが伺えます。



## 問 22 あなたは、ご自宅でインターネットに接続していますか？

- ◆ 「接続している」が 59.2%となっており、「接続していない」よりも割合が高くなっています。
- ◆ H20 年度に総務省が実施した調査によると、全国の自宅でのインターネット接続率は 79.3%であり、能美市は全国と比較して接続率が低いことが伺えます。

選択項目		回答数	構成比
1	接続している	671	59.2%
2	接続していない	463	40.8%
	無回答	40	-
	回答数	1174	-
	回答者数(合計-無回答)	1134	100.0%



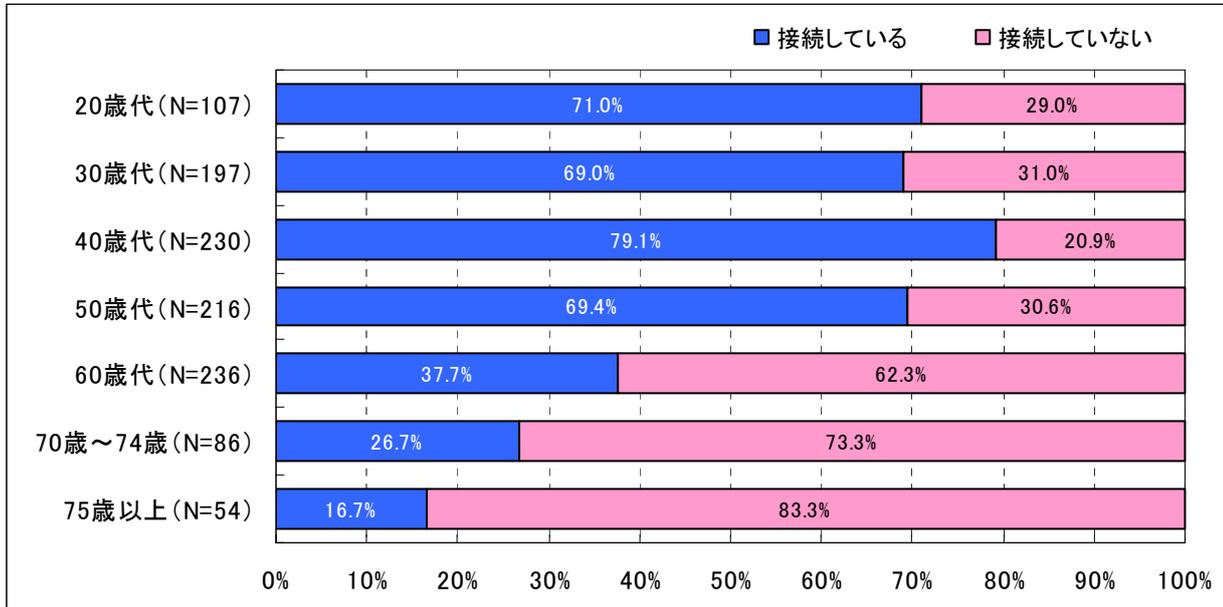
(参考) 全国の現況 (H20 年度)

- ◇ 自宅でのインターネット接続率 : 79.3%
- ◇ パソコン所有率 : 85.9%
- ◇ インターネットに接続できるテレビ所有率 : 15.2%
- ◇ インターネットに接続できる家庭用テレビゲーム機所有率 : 20.8%

【出典 : 情報通信統計データベース (総務省)】

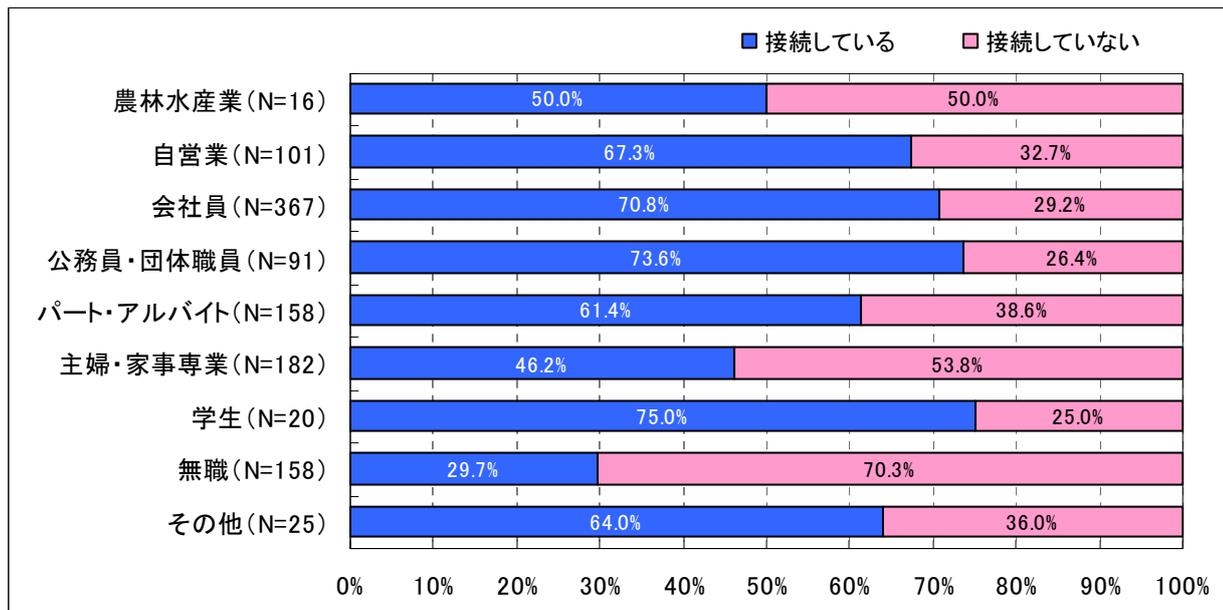
■ 自宅でのインターネット接続の有無(年代別)

- ・「接続している」は、40 歳代が 79.1%と最も高い割合となっており、20～30 および 50 歳代でも約 7 割と高くなっています。
- ・一方、60 歳代以上では 4 割以下となっており、年代が上がるにつれて割合が減っています。



■ 自宅でのインターネット接続の有無(職業別)

- ・学生の 75.0%が「接続している」と回答しており、自営業、会社員、公務員・団体職員も約 7 割が接続しています。
- ・一方、無職では、「接続している」との回答割合が最も低く、約 3 割となっています。



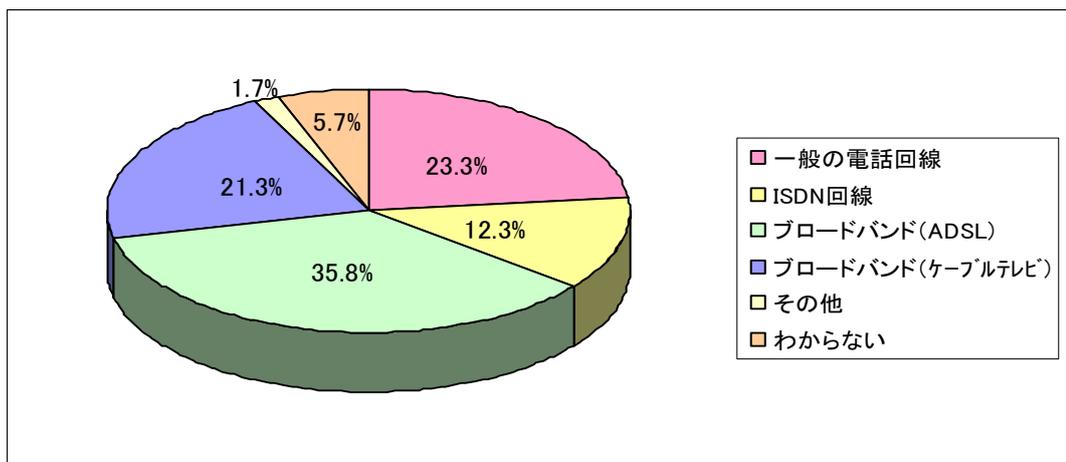
**問 23** 問 22 で 1 と答えた方は、どのような環境で接続していますか？

- ◆「ブロードバンド (ADSL)」が 35.8%と最も多く、次いで「一般の電話回線」23.3%、「ブロードバンド (ケーブルテレビ)」21.3%となっています。
- ◆全国におけるブロードバンド回線の利用率約 7 割 (H20 年度) に対して、能美市では約 6 割と低くなっています。

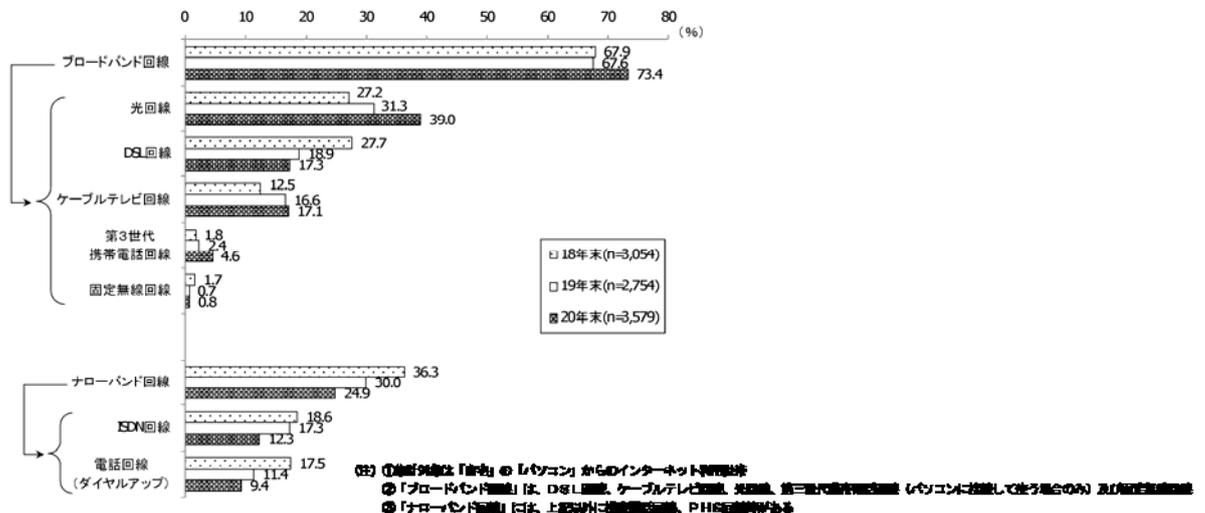
選択項目		回答数	構成比
1	一般の電話回線	152	23.3%
2	ISDN回線	80	12.3%
3	ブロードバンド(ADSL)	234	35.8%
4	ブロードバンド(ケーブルテレビ)	139	21.3%
5	その他	11	1.7%
6	わからない	37	5.7%
	無回答	18	-
	回答数	671	-
	回答者数(合計-無回答)	653	100.0%

その他： フレッツ光(3)、光回線(2)、テレビ小松、イー・モバイル

※( ):回答者数



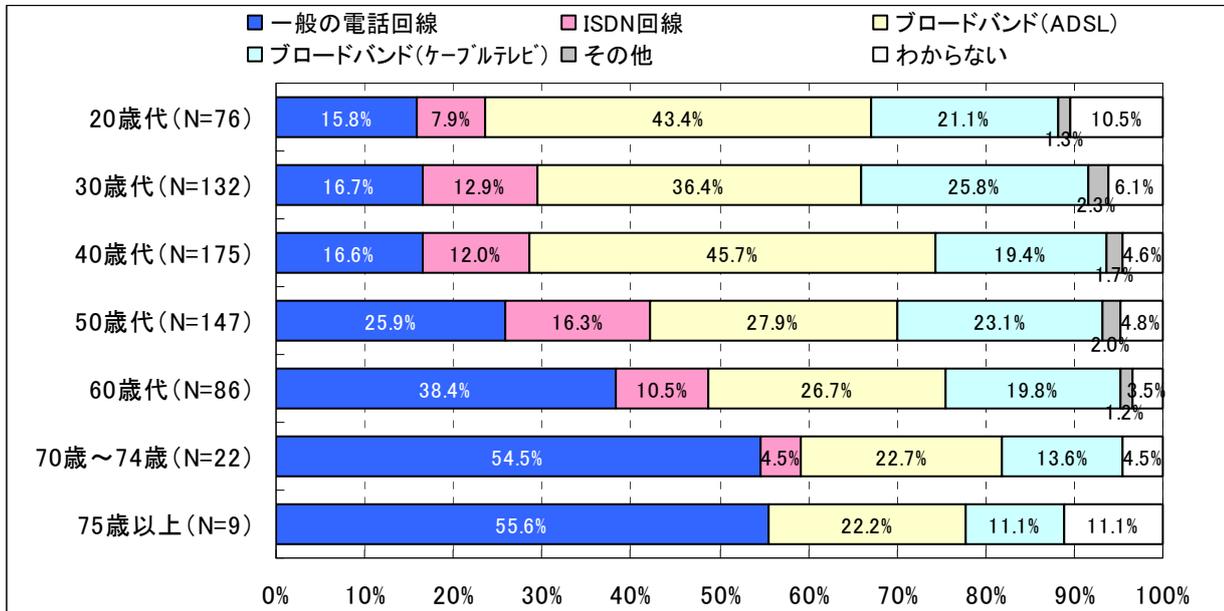
(参考) 全国的な動向 (H20 年度) : 自宅パソコンのインターネット接続回線の種類 (世帯) (複数回答)



【出典：情報通信統計データベース (総務省)】

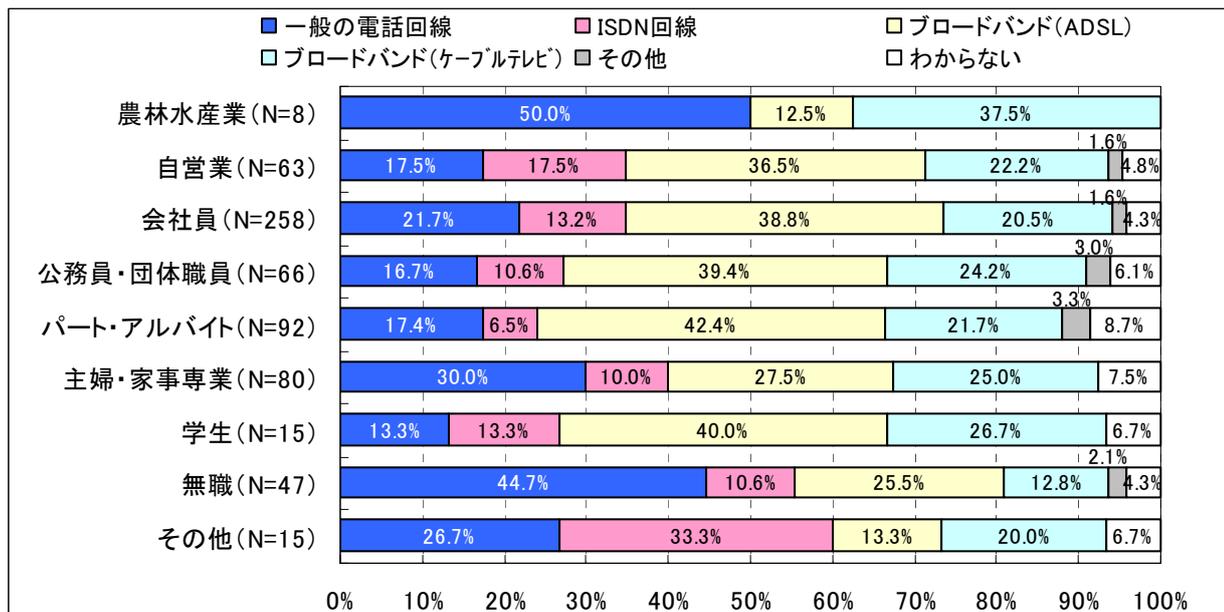
■ 自宅でのインターネットの接続環境(年代別)

- ・年代が上がるにつれて「一般の電話回線」が増え、「ブロードバンド (ADSL)」が減る傾向にあります。
- ・20～40 歳代では 6 割以上、50～60 歳代では約 5 割がブロードバンドで接続しています。



■ 自宅でのインターネットの接続環境(職業別)

- ・自営業、会社員、公務員・団体職員、パート・アルバイト、学生は「ブロードバンド (ADSL)」の割合が高く、約 4 割となっています。
- ・一方、農林水産業、無職では、「一般の電話回線」が 4 割以上となっています。

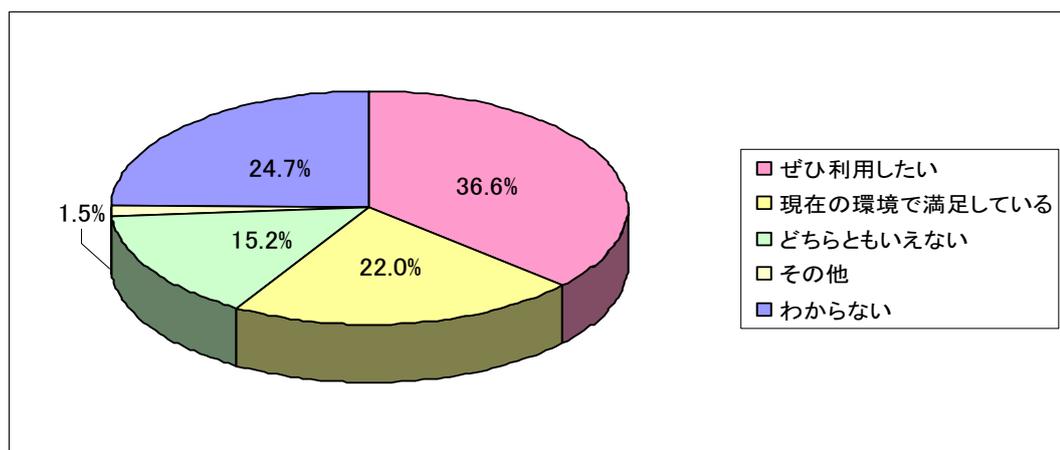


## 問 24

能美市では、光ファイバーによるインターネット接続は、ケーブルテレビ網によってのみ可能となっていますが、例えばインターネットだけではなく、電話も含めた高速通信網（NTT のフレッツ光など）を利用したいと思いませんか？

- ◆ 「ぜひ利用したい」が 36.6%と最も多く、「現在の環境で満足している」との回答は約 2割に留まっています。

選択項目		回答数	構成比
1	ぜひ利用したい	402	36.6%
2	現在の環境で満足している	242	22.0%
3	どちらともいえない	167	15.2%
4	その他	16	1.5%
5	わからない	272	24.7%
	無回答	75	-
	回答数	1174	-
	回答者数(合計－無回答)	1099	100.0%

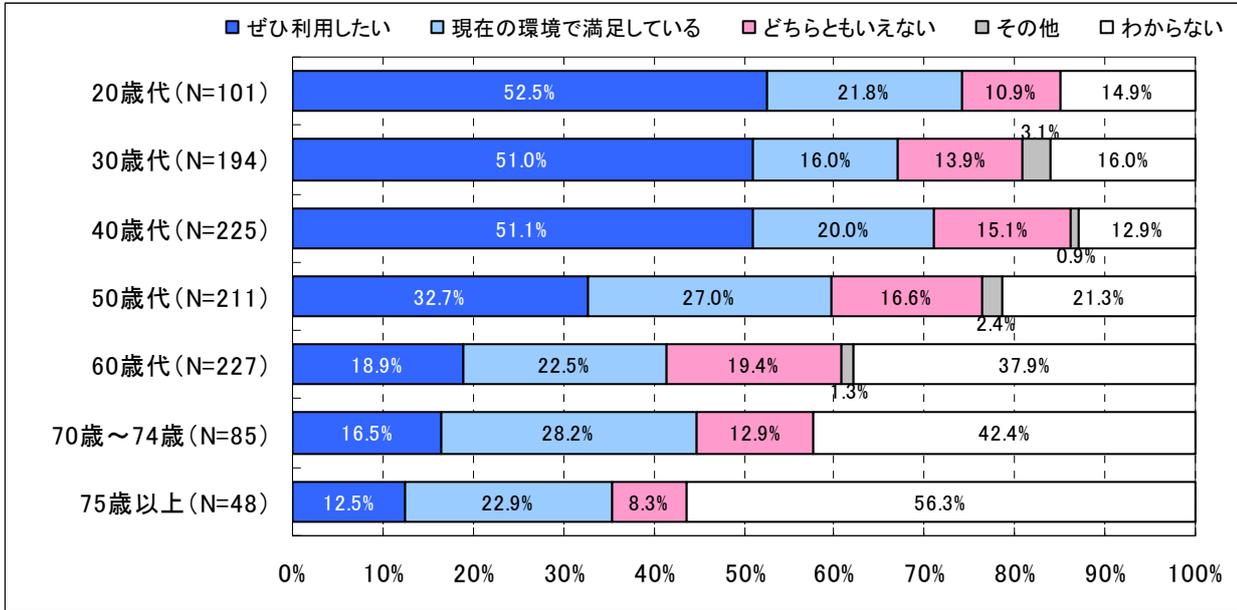


その他： 既に光ファイバーを利用している(6)、必要ない(3)、NTT以外なら検討する、悪用の面ではない方がよい、ケーブルテレビでIP電話ができればフレッツ光がなくてもよい、あれば検討したい(2)、選択肢を多くして欲しい など

※( ):回答者数

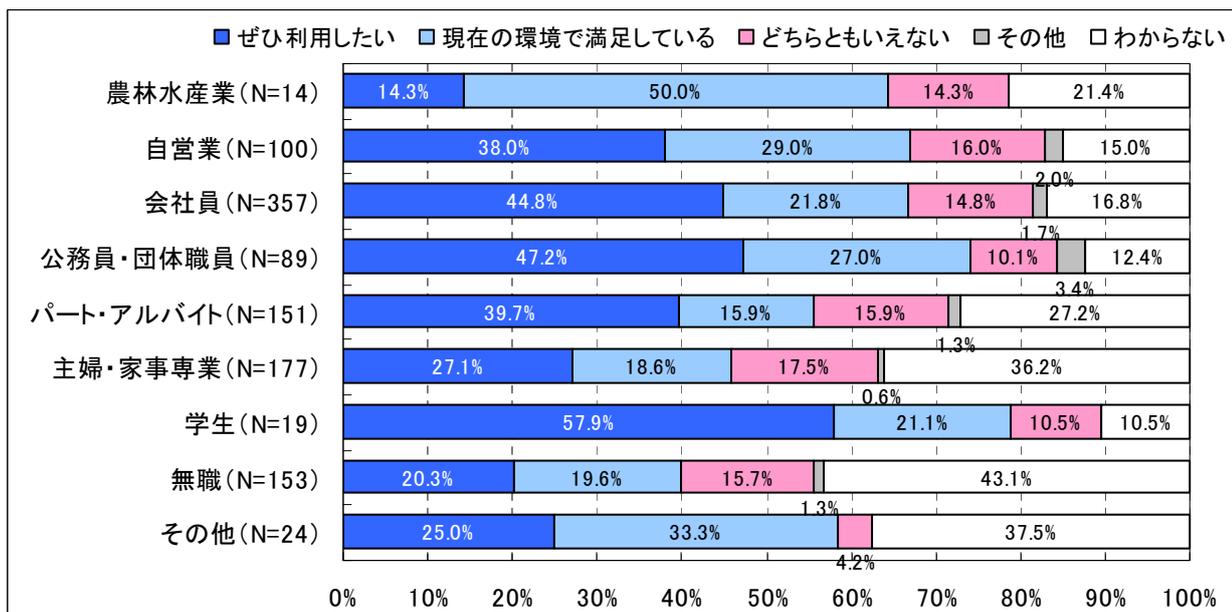
■高速通信網の利用意向(年代別)

- ・20～40 歳代では、「ぜひ利用したい」との回答が5割以上となっています。
- ・「現在の環境で満足している」との回答は、どの年代においても2～3割程度となっています。



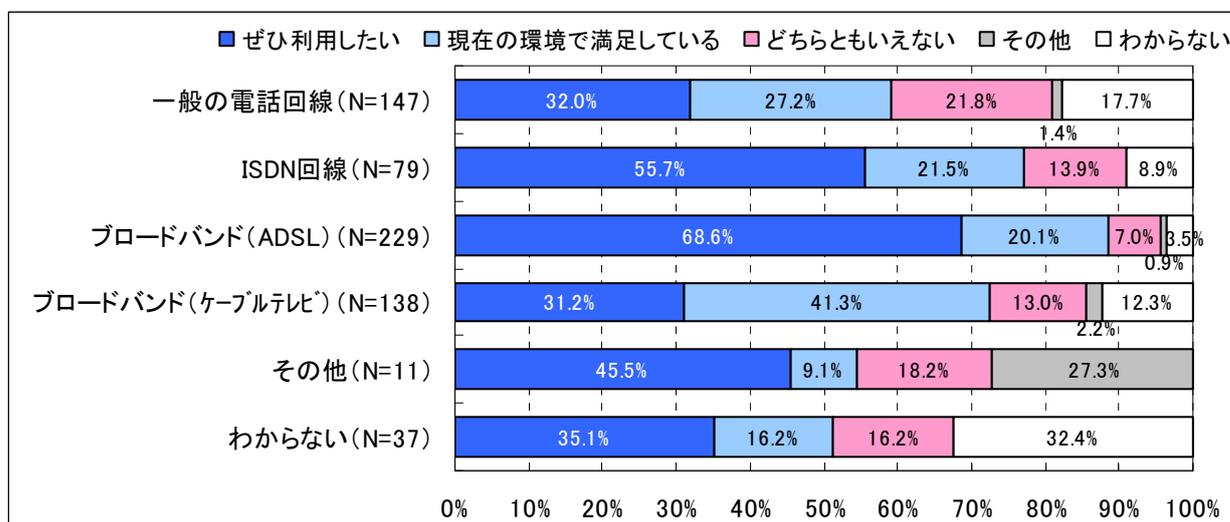
■高速通信網の利用意向(職業別)

- ・学生の約6割が「ぜひ利用したい」と回答しており、自営業、会社員、公務員・団体職員、パート・アルバイトも約4割～5割が「ぜひ利用したい」と回答しています。
- ・農林水産業は「現在の環境で満足している」との回答が半数を占めていますが、その他の職業では約2～3割に留まっています。



### ■高速通信網の利用意向(インターネット接続環境別)

- ・ブロードバンド(ADSL)とISDNの利用者は、高速通信網を「ぜひ利用したい」との回答が特に多く、前者は約7割、後者は約6割となっています。
- ・一方、ブロードバンド(ケーブルテレビ)利用者は「現在の環境で満足している」との回答が最も多く、41.3%となっています。



問 25

あなたは、パソコン・携帯電話を利用した能美市のインターネット（web）サービスのうち、どのようなものを利用したいと思いますか？

- ◆パソコンでは「電子申請（市への手続きの申請・届け出）」が 43.0%と最も多く、次いで「地図情報の閲覧（イベント開催場所や避難場所等）」38.3%、「公共施設予約」32.1%、「図書貸し出し予約」28.9%となっています。
- ◆携帯電話では「公共施設予約」が 28.5%と最も多く、次いで「地図情報の閲覧（イベント開催場所や避難場所等）」27.6%、「図書貸し出し予約」26.2%となっています。

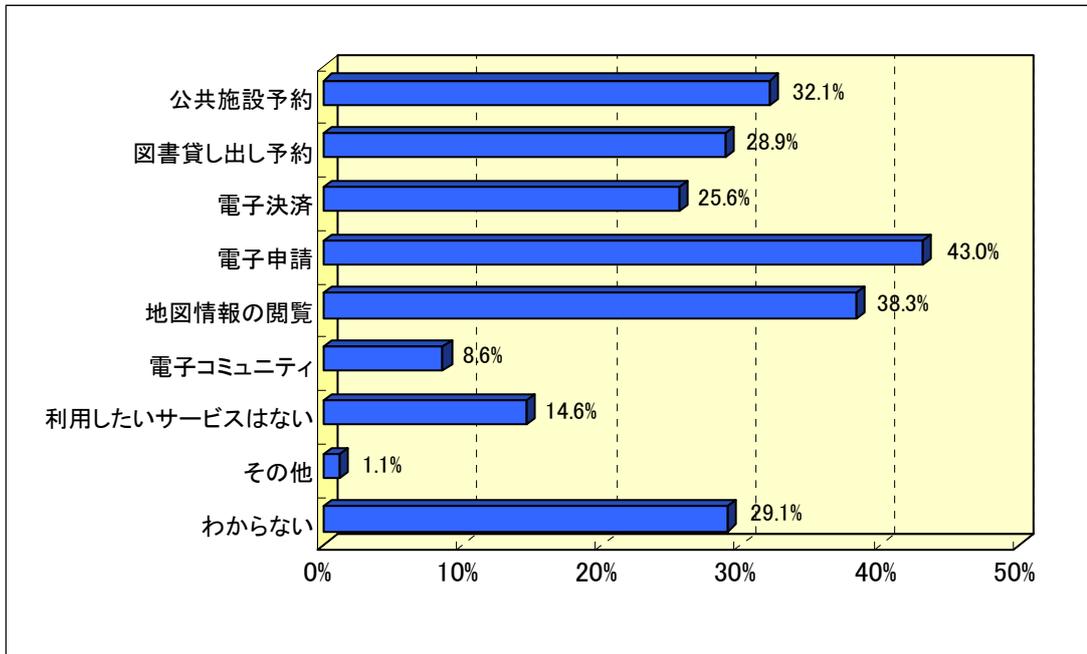
選択項目		パソコン		携帯電話	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	公共施設予約	279	32.1%	224	28.5%
2	図書貸し出し予約	251	28.9%	206	26.2%
3	電子決済(市税・料金等の支払い)	223	25.6%	119	15.1%
4	電子申請(市への手続きの申請・届け出)	374	43.0%	178	22.6%
5	地図情報の閲覧(イベント開催場所や避難場所等)	333	38.3%	217	27.6%
6	電子コミュニティ(SNS)	75	8.6%	50	6.4%
7	利用したいサービスはない	127	14.6%	121	15.4%
8	その他	10	1.1%	9	1.1%
9	わからない	253	29.1%	256	32.6%
	無回答	247	-	388	-
	回答数	2172	-	1768	-
	回答者数	870	100.0%	786	100.0%

その他

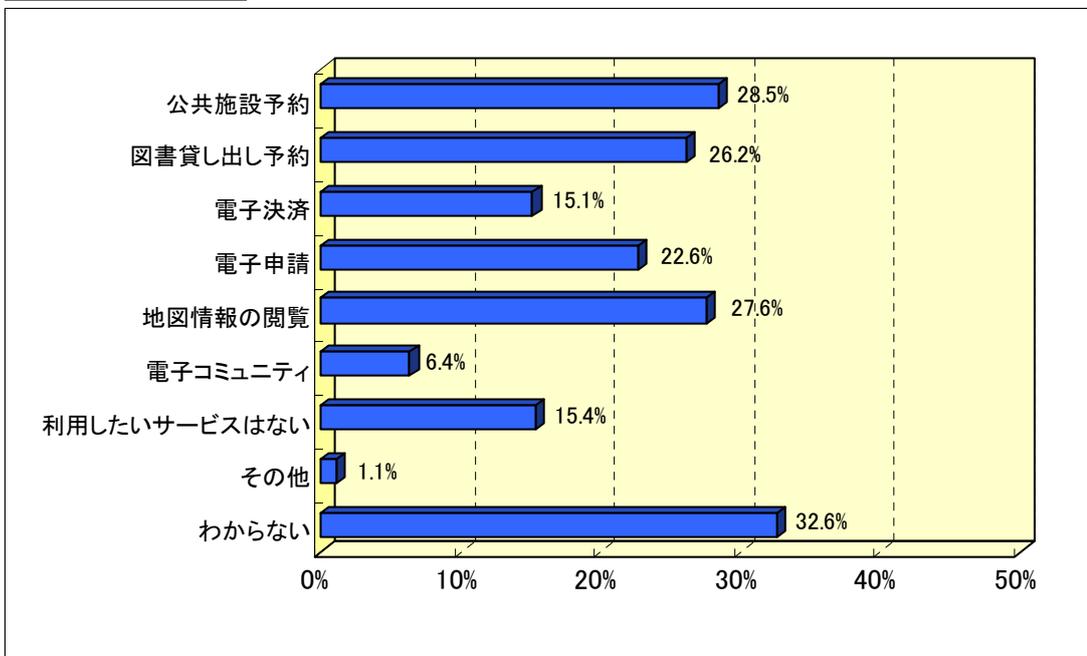
- 【共通】: 使いこなせないため不要(11)、学校からの緊急連絡(2)、緊急災害情報のメール配信、自分自身の住民番号などで住民票などが出せたらよい、イベント申し込み等の情報(広報に出ている内容)閲覧 など
- 【パソコン】 医療機関とのやりとり、スポーツ施設の予約、図書の貸出予約、チケット予約、子育て活動イベントの情報配信、twitter、各種団体のブログ閲覧サービス、公共工事の内容、将来のビジョンの公表、日々の職員一人ひとりの仕事内容や議会の様子等の公表 など
- 【携帯電話】 病院の混雑状況閲覧・予約、乳幼児健診の該当者への個別連絡、各病院・学校・保育園のインフルエンザ等の情報、犯罪・事件・事故情報の緊急連絡、行政情報のメール配信、求人 など

※( ): 回答者数

パソコン



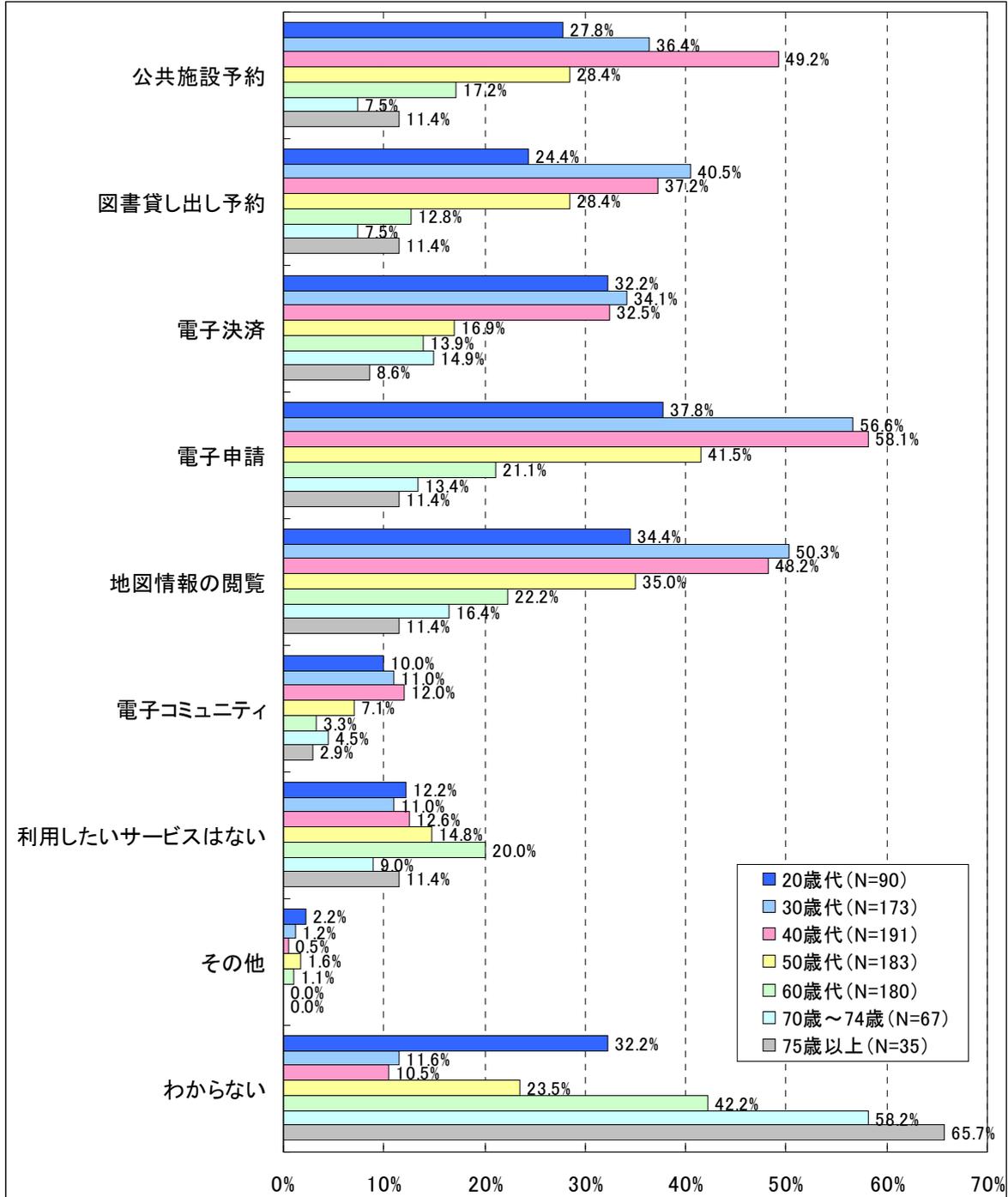
携帯電話



■利用したい能美市のインターネット(web)サービス(年代別)

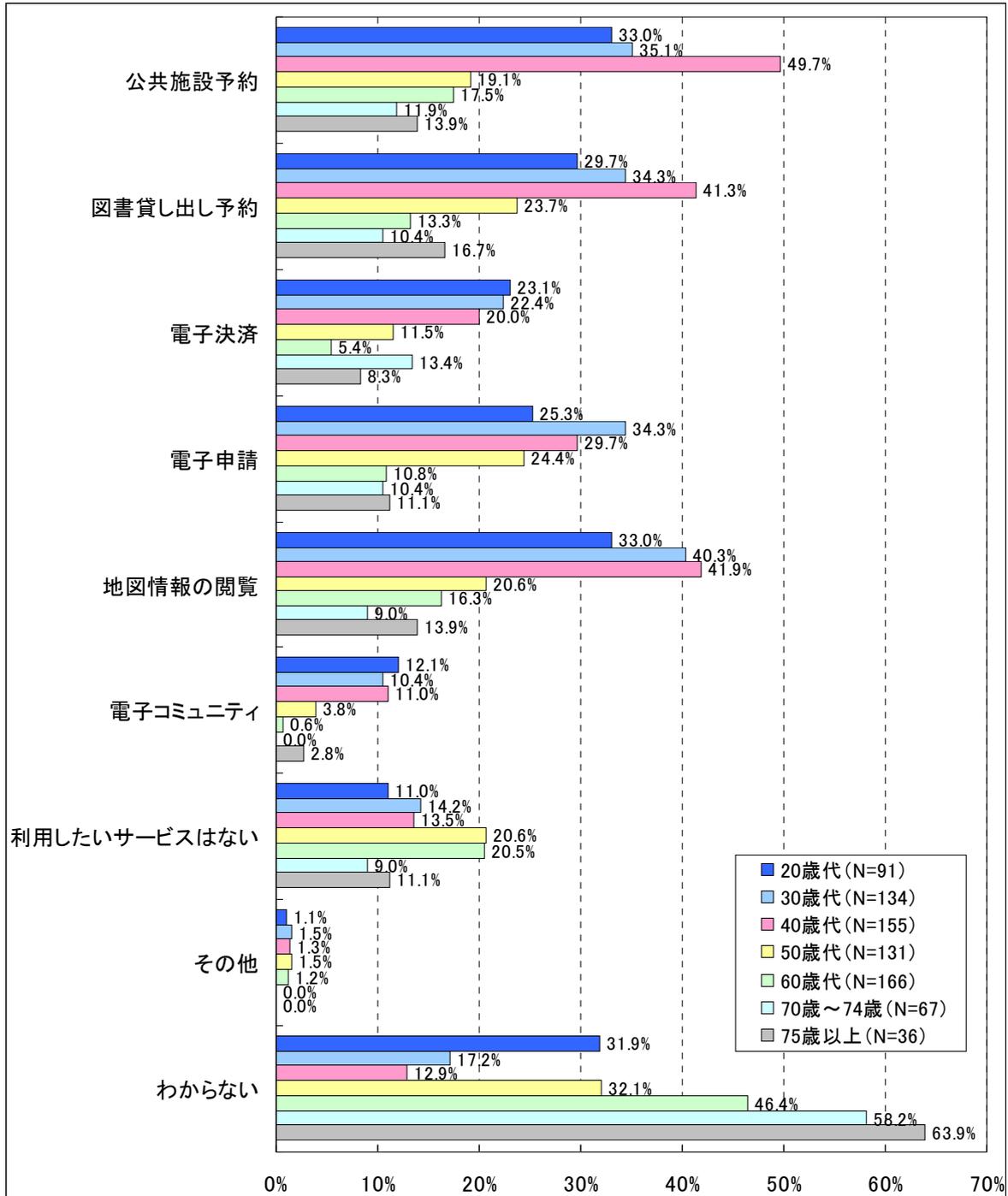
パソコン

・30～40 歳代の約 6 割が「電子申請」、約 5 割が「地図情報の閲覧」、約 4 割が「図書貸し出し予約」の利用を希望しています。また、40 歳代の約 5 割、30 歳代の約 4 割が「公共施設予約」を利用したいと回答しています。



携帯電話

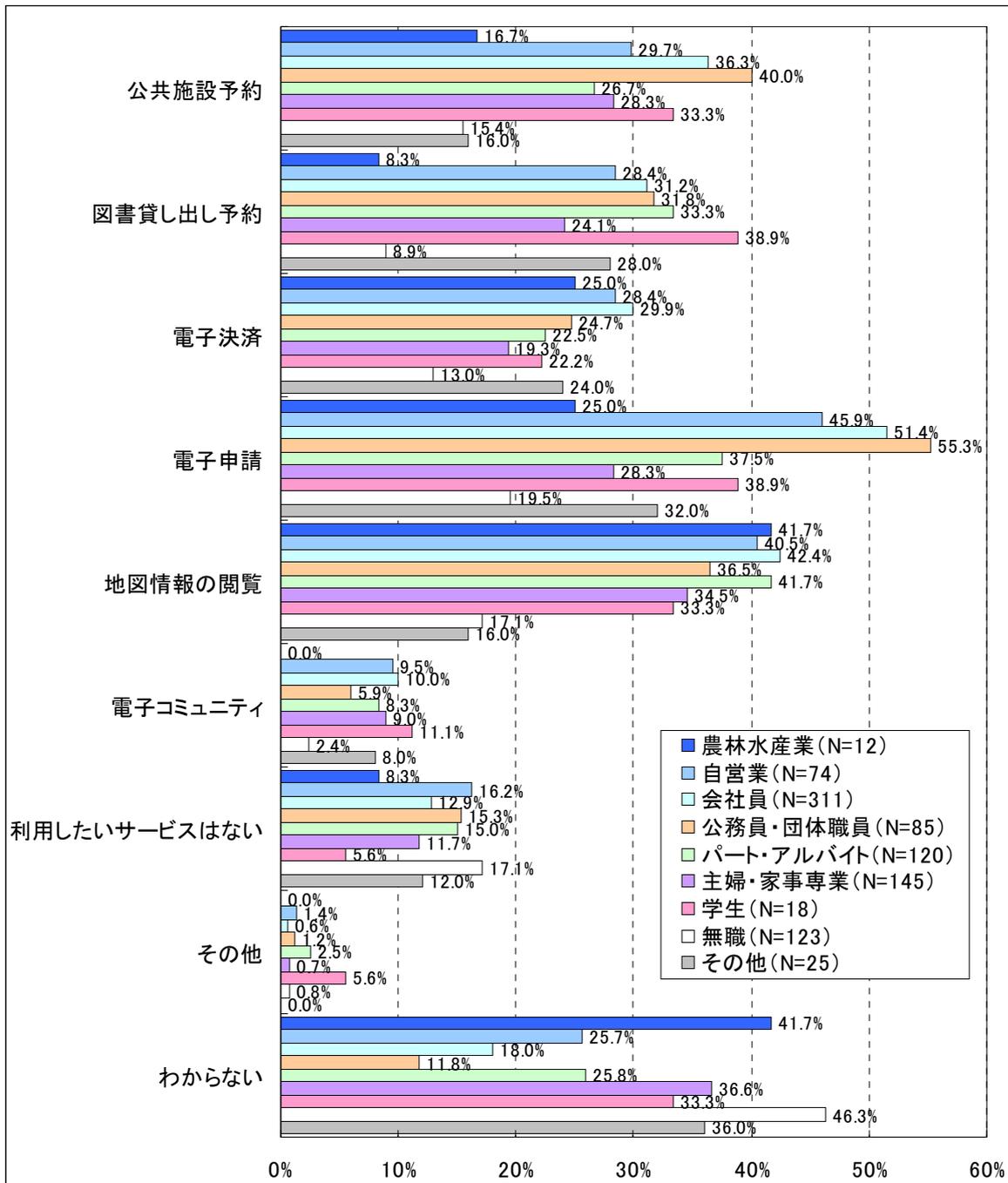
- ・「公共施設予約」「図書貸し出し予約」「地図情報の閲覧」は、40 歳代の 4 割以上が利用したいと回答しています。
- ・20 歳代では「公共施設予約」と「地図情報の閲覧」が 33.0%と高くなっています。



■利用したい能美市のインターネット(web)サービス(職業別)

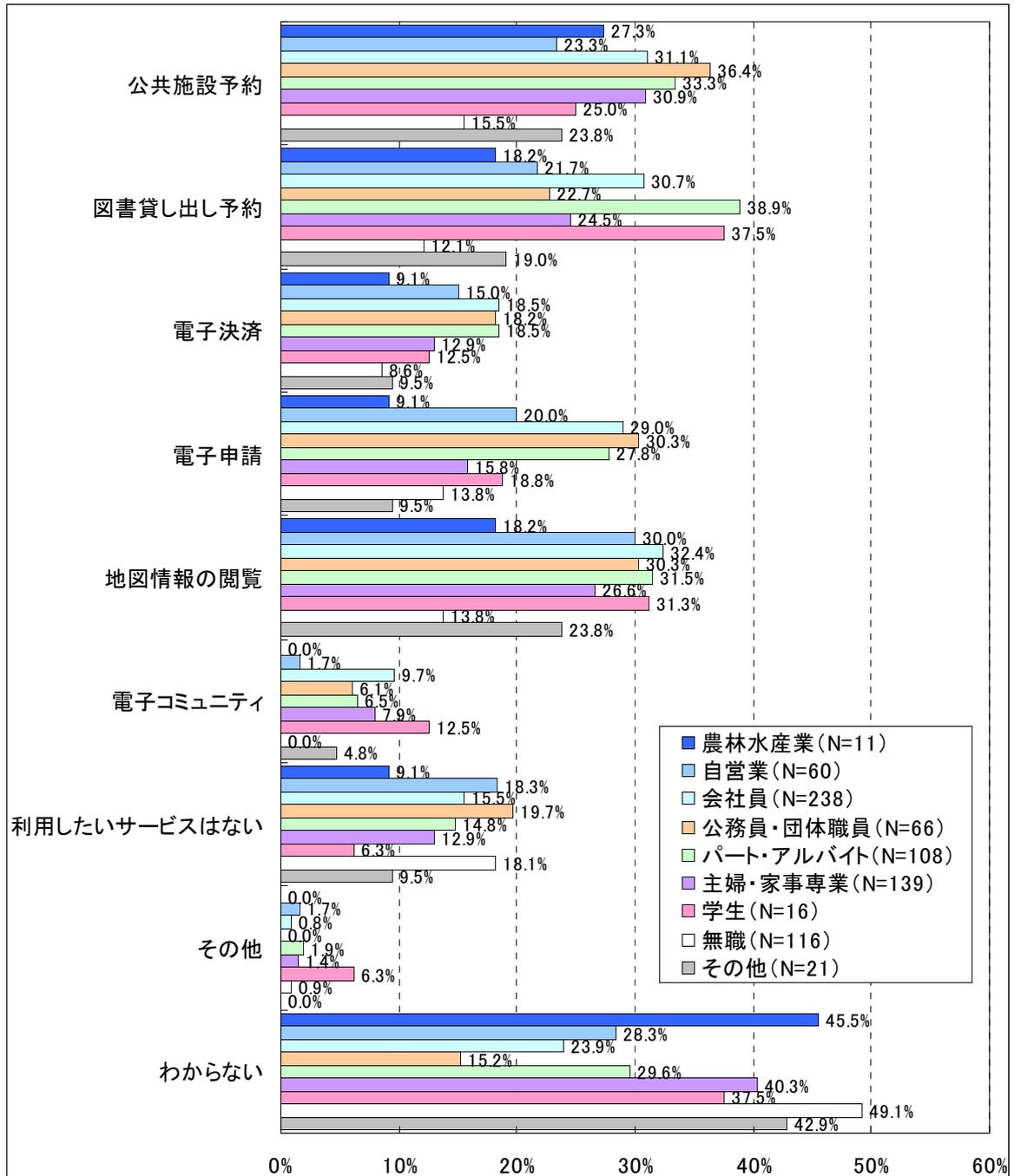
パソコン

- ・自営業、会社員、公務員・団体職員、無職の回答者は「電子申請」が最も多く、特に、会社員と公務員・団体職員の5割以上が利用したいと回答しています。
- ・学生は「図書貸し出し予約」「電子申請」の回答割合が高く、38.9%となっています。
- ・農林水産業、パート・アルバイトと主婦は、「地図情報の閲覧」サービスを利用したいとの回答が最も多くなっています。
- ・一方、農林水産業と無職の4割以上が「わからない」と回答しています。



携帯電話

- ・農林水産業、パート・アルバイトと学生は「図書貸し出し予約」の利用を最も希望しており（約 4 割）、会社員も 3 割以上が利用を希望しています。
- ・公務員・団体職員は「公共施設予約」の回答が 36.4%と最も高くなっています。

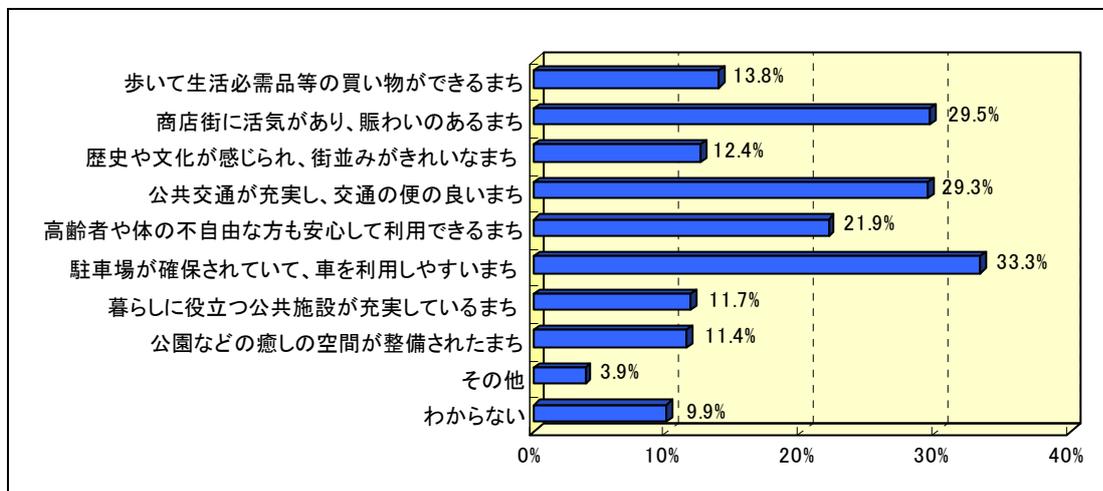


(6) JR寺井駅周辺のまちづくりについて

**問 26** あなたは、JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像（あるべき姿）についてどのように思いますか？（2つまで○）

◆ 「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」が 33.3%と最も多く、次いで「商店街に活気があり、賑わいのあるまち」、「公共交通が充実し、交通の便の良いまち」が各々約 29%となっており、交通の利便性が高く、賑わいのあるまちがあるべき姿だと捉えられています。

選択項目	回答数	構成比
1 歩いて生活必需品等の買い物ができるまち	154	13.8%
2 商店街に活気があり、賑わいのあるまち	328	29.5%
3 歴史や文化が感じられ、街並みがきれいなまち	138	12.4%
4 公共交通が充実し、交通の便の良いまち	326	29.3%
5 高齢者や体の不自由な方も安心して利用できるまち	244	21.9%
6 駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち	370	33.3%
7 暮らしに役立つ公共施設が充実しているまち	130	11.7%
8 公園などの癒しの空間が整備されたまち	127	11.4%
9 その他	43	3.9%
10 わからない	110	9.9%
無回答	62	-
回答数	2032	-
回答者数	1112	100.0%



その他:

【全体】

駅前・駅裏の一体感をつくる、明るくて安心できる駅周辺、まず寺井駅の利用者を増すことを考えるべき

【交通関連】

駅前と駅裏を車で自由に行き来できる道、東西からのアクセスが必要(3)、駅までの交通網の整備(JR のダイヤに合わせたバス等の頻繁運行、回数割引の実施等)(2)、自転車に乗りやすいまち(2)、寺井駅中心の縦貫道路の整備

【調査関連】

駅利用者の実態調査、まず利用者が求めていることを知ることが重要

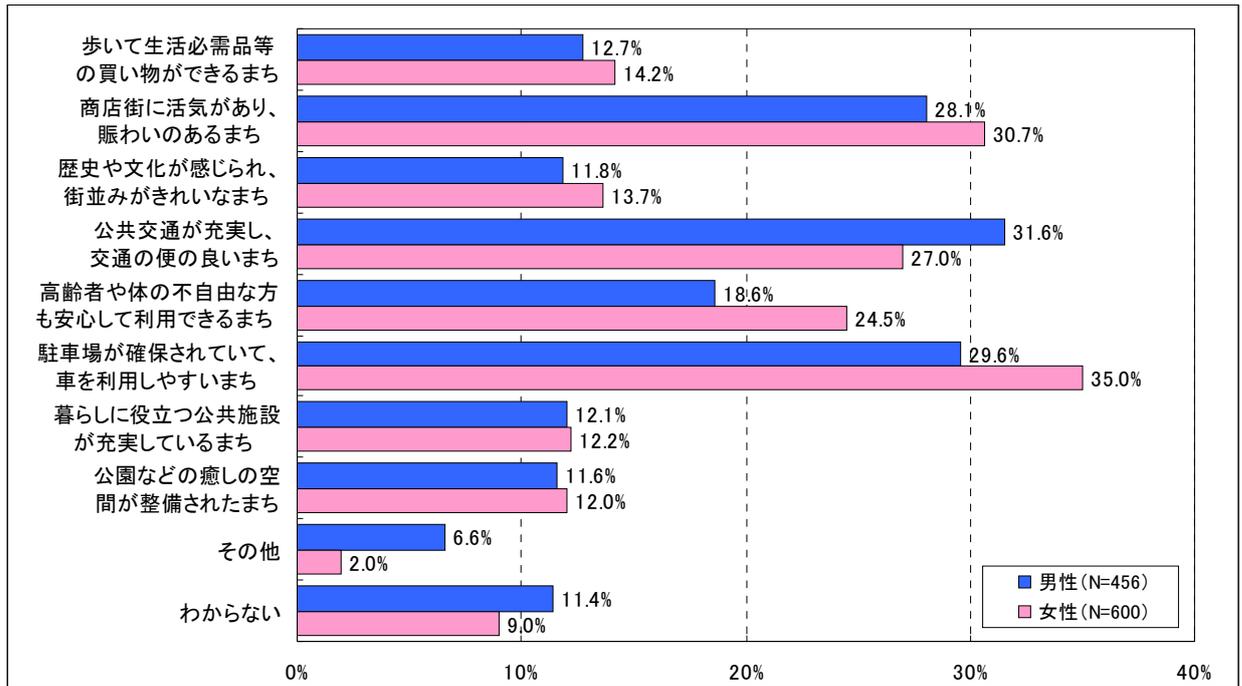
【不必要・無関心等】

お金をかけて JR 寺井駅周辺を整備する必要はない(31)、利用しないため関心がない(2)、利用しないため分からない(2)

※( ):回答者数

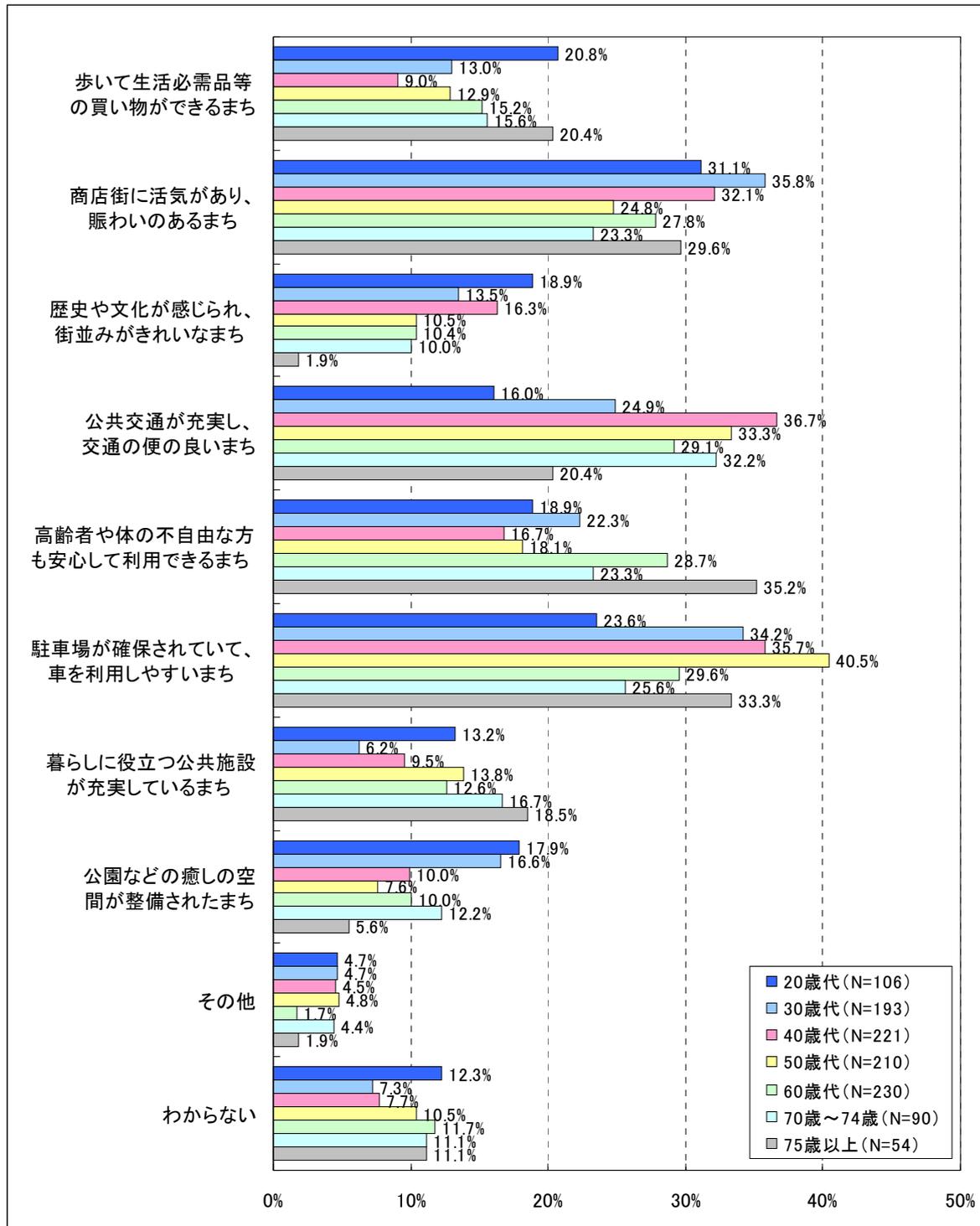
### ■ JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像(性別)

- ・ 女性は「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」が 35.0%と最も高く、男性より約 5 ポイント高くなっています。
- ・ 一方、男性で最も高い項目は「公共交通が充実し、交通の便が良いまち」(31.6%) となっており、女性より約 5 ポイント高くなっています。
- ・ 「高齢者や体の不自由な方も安心して利用できるまち」は、女性 (24.5%) が男性 (18.6%) より約 6 ポイント高くなっています。



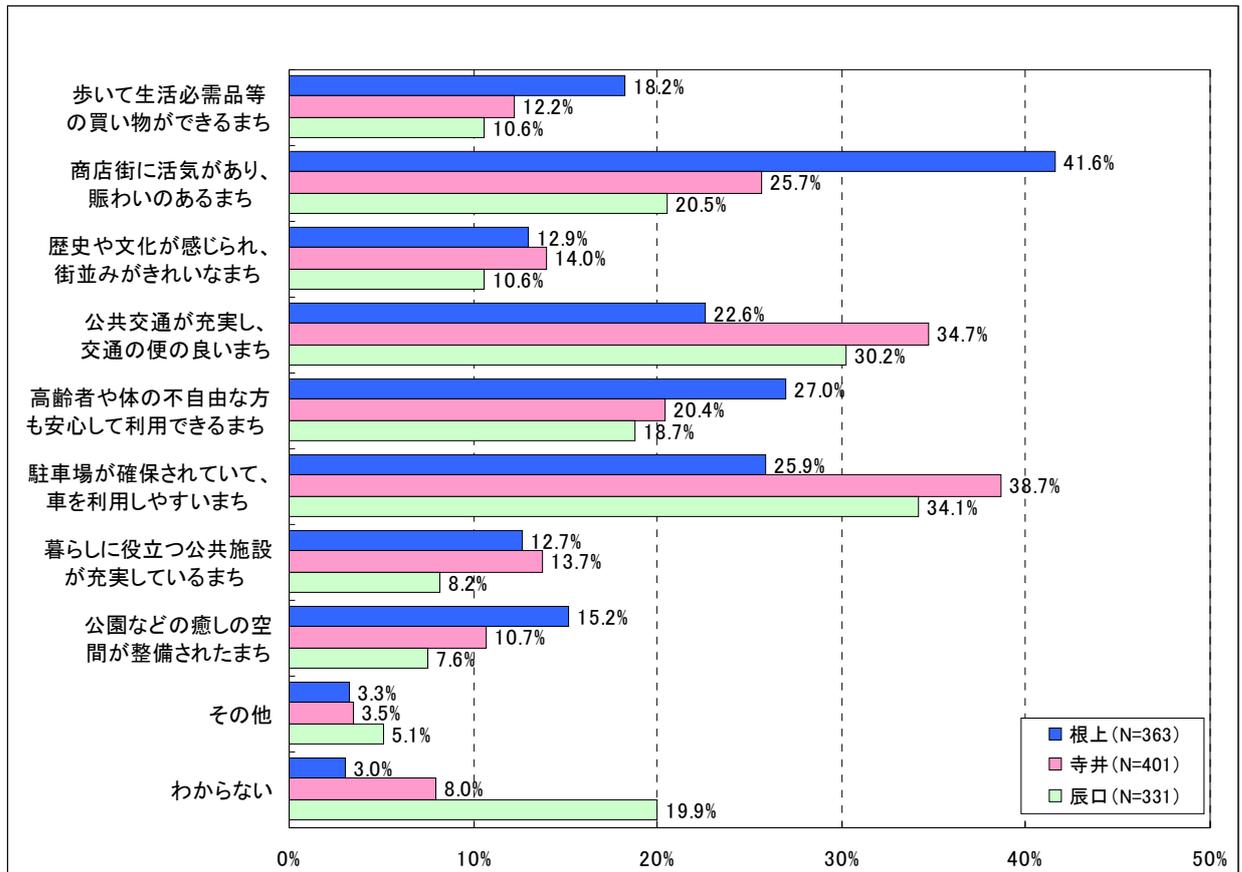
■ JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像(年代別)

・年代別で回答割合の最も高い項目をみると、20～30 歳代は「商店街に活気があり、賑わいのあるまち」、40 歳代は「公共交通が充実し、交通の便が良いまち」、50～60 歳代は「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」、70～74 歳は「公共交通が充実し、交通の便が良いまち」、75 歳以上は「高齢者や体の不自由な方も安心して利用できるまち」となっています。



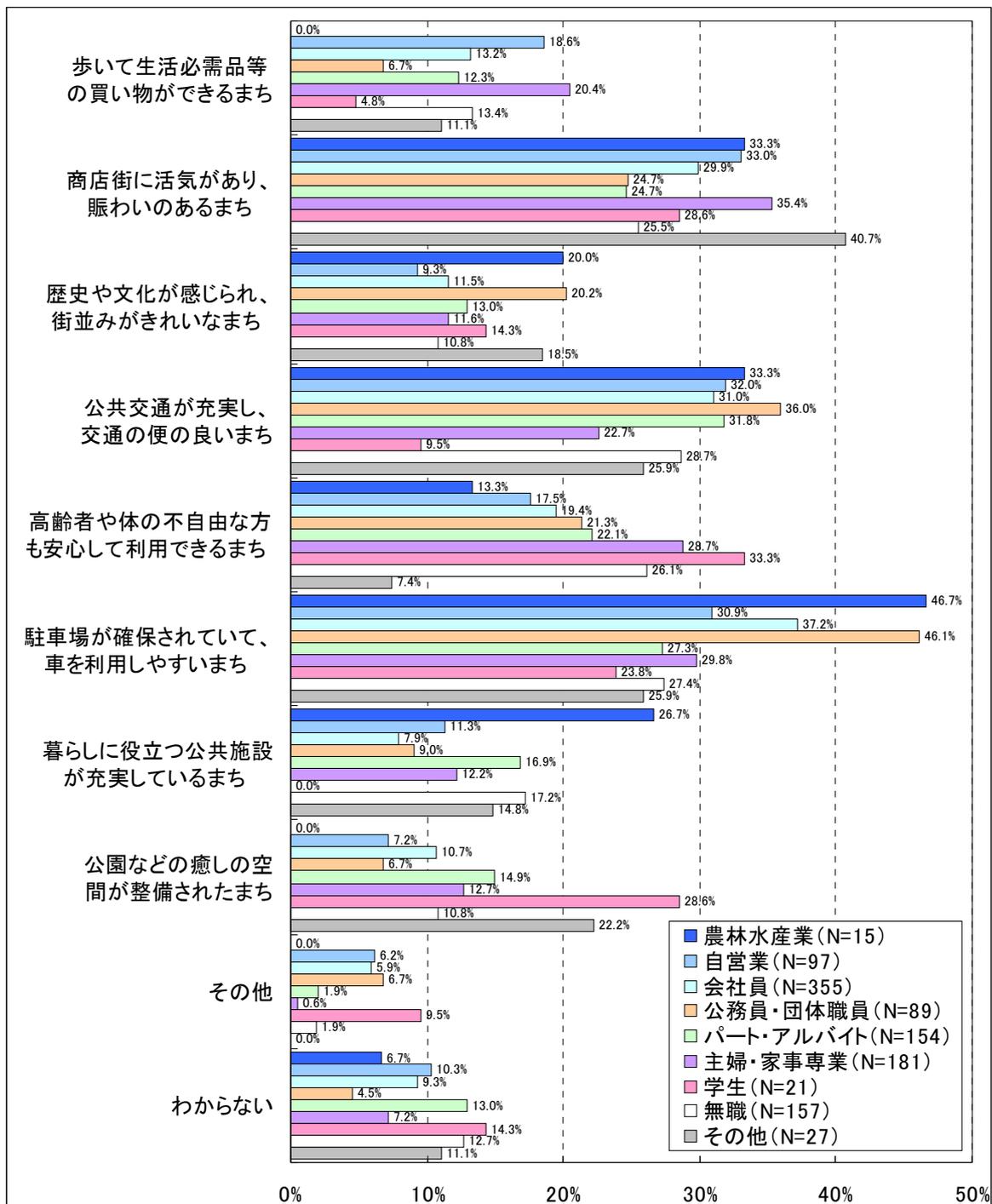
### ■ JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像(地区別)

- ・根上では「商店街に活気があり、賑わいのあるまち」が41.6%と最も高く、他地区と15ポイント以上の差があります。また、他地区と比較して「歩いて生活必需品等の買い物ができるまち」「高齢者や体の不自由な方も安心して利用できるまち」「公園などの癒しの空間が整備されたまち」の回答割合が高くなっています。
- ・寺井と辰口では「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」との回答割合が最も高く、次いで「公共交通が充実し、交通の便の良いまち」となっています。



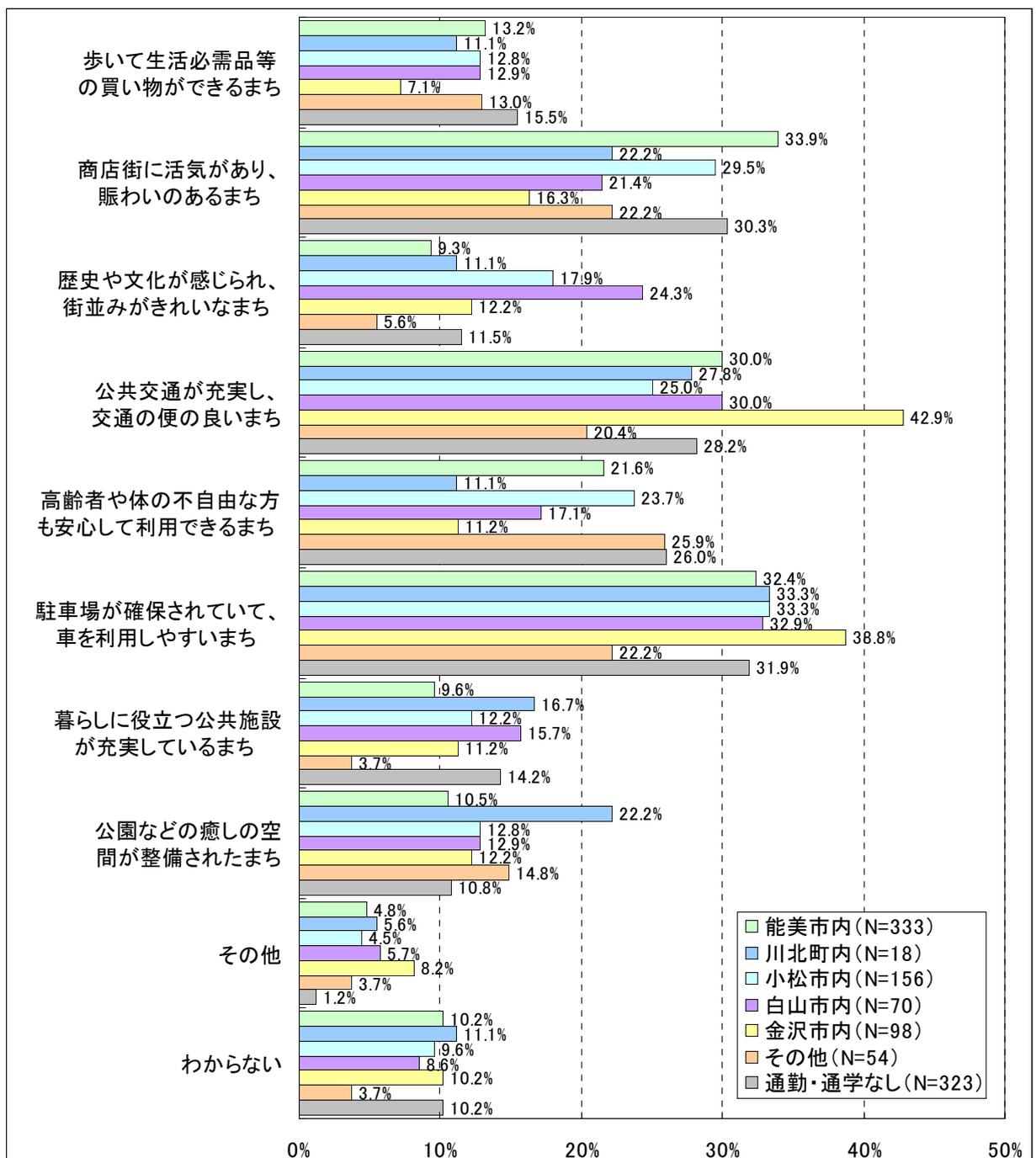
■ JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像(職業別)

- 職業別で回答割合の最も高い項目をみると、農林水産業、会社員、公務員・団体職員は「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」、自営業、主婦・家事専業、その他は「商店街に活気があり、賑わいのあるまち」、パート・アルバイト、無職は「公共交通が充実し、交通の便の良いまち」、学生は「高齢者や体の不自由な方も安心して利用できるまち」となっています。
- 学生は「公共交通が充実し、交通の便の良いまち」との回答割合が、他の職業と比べて 13 ポイント以上低く、その一方で、「公園などの癒しの空間が整備されたまち」が他の職業と比べて 13 ポイント以上高くなっています。



■ JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像(通勤・通学先別)

- ・通勤・通学先別で回答割合の最も高い項目をみると、能美市内は「商店街に活気があり、賑わいのあるまち」、川北町内、小松市内、白山市内、通勤・通学なしは「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」、金沢市内は「公共交通が充実し、交通の便の良いまち」、その他は「高齢者や体の不自由な方も安心して利用できるまち」となっています。
- ・通勤・通学先が金沢市内の回答者は、他と比較して「公共交通が充実し、交通の便の良いまち」が12ポイント以上、「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」が5ポイント以上高くなっています。
- ・通勤・通学先が白山市内の回答者は「歴史や文化が感じられ、街並みがきれいなまち」が、他と比較して6ポイント以上高くなっています。



問 27

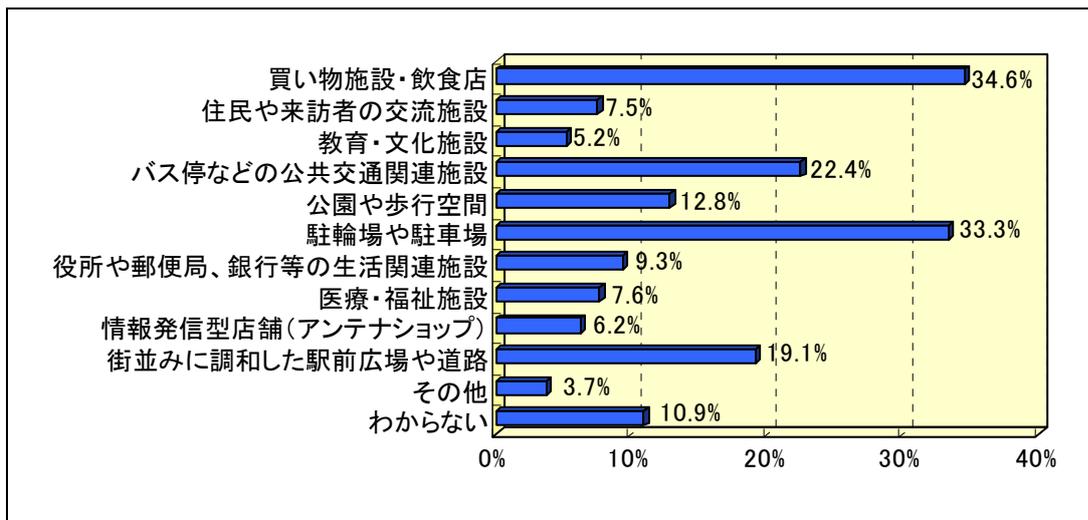
J R 寺井駅周辺のまちづくりのためには、どのような施設等が駅周辺にあつたらよいと思いますか？（2 つまで○）

◆ 「買い物施設・飲食店」が 34.6%、「駐輪場や駐車場」が 33.3%と多く、交通の利便性が高い賑わいのあるまちづくりのために必要な施設と捉えられていることが伺えます。

選択項目		回答数	構成比
1	買い物施設・飲食店	385	34.6%
2	住民や来訪者の交流施設	83	7.5%
3	教育・文化施設	58	5.2%
4	バス停などの公共交通関連施設	250	22.4%
5	公園や歩行空間	143	12.8%
6	駐輪場や駐車場	371	33.3%
7	役所や郵便局、銀行等の生活関連施設	104	9.3%
8	医療・福祉施設	85	7.6%
9	情報発信型店舗(アンテナショップ)	69	6.2%
10	街並みに調和した駅前広場や道路	213	19.1%
11	その他	41	3.7%
12	わからない	121	10.9%
	無回答	60	-
	回答数	1983	-
	回答者数	1114	100.0%

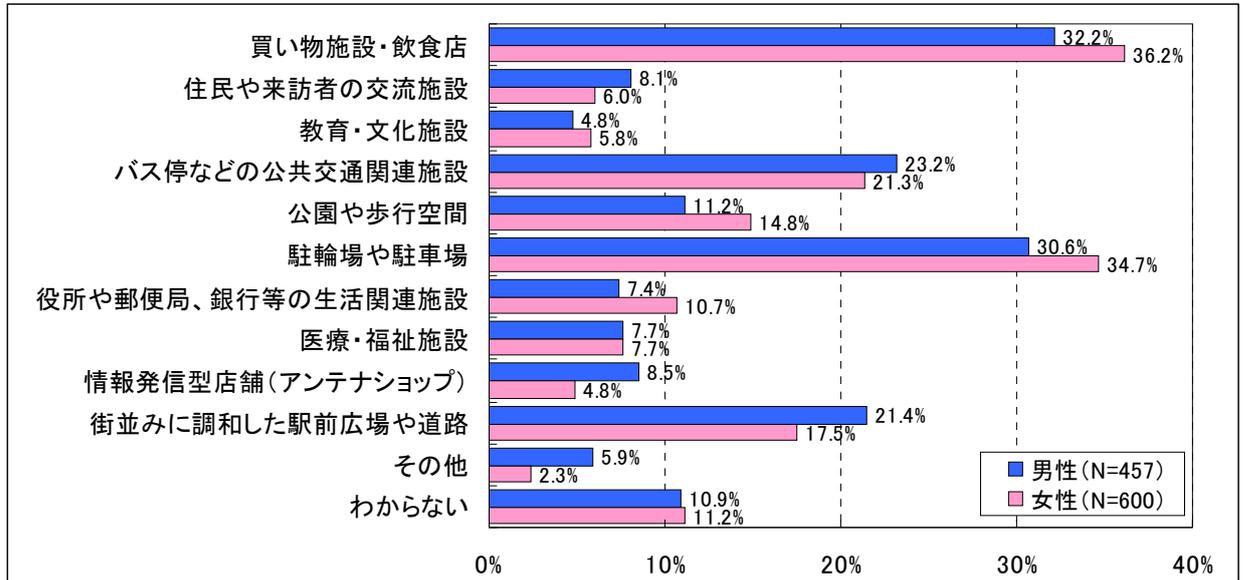
その他： 何も要らない/今のままでよい(16)、温泉(足湯・公衆浴場)(4)、歩きやすい道(3)、寺井駅周辺までの公共交通アクセス(2)、学校(2)、小イベント施設(2)、あまり利用しない(2)、飲食店、駅から雨に濡れずにショッピングできる環境、無料駐車場、関心がない、公園、コンビニ、市営住宅、シネコン・アウトレットモール等の大型複合施設、映画館、スポーツクラブ、寺井の特色を生かした店舗、美術・工芸など展示販売施設、宿、老人ホーム など

※( ): 回答者数



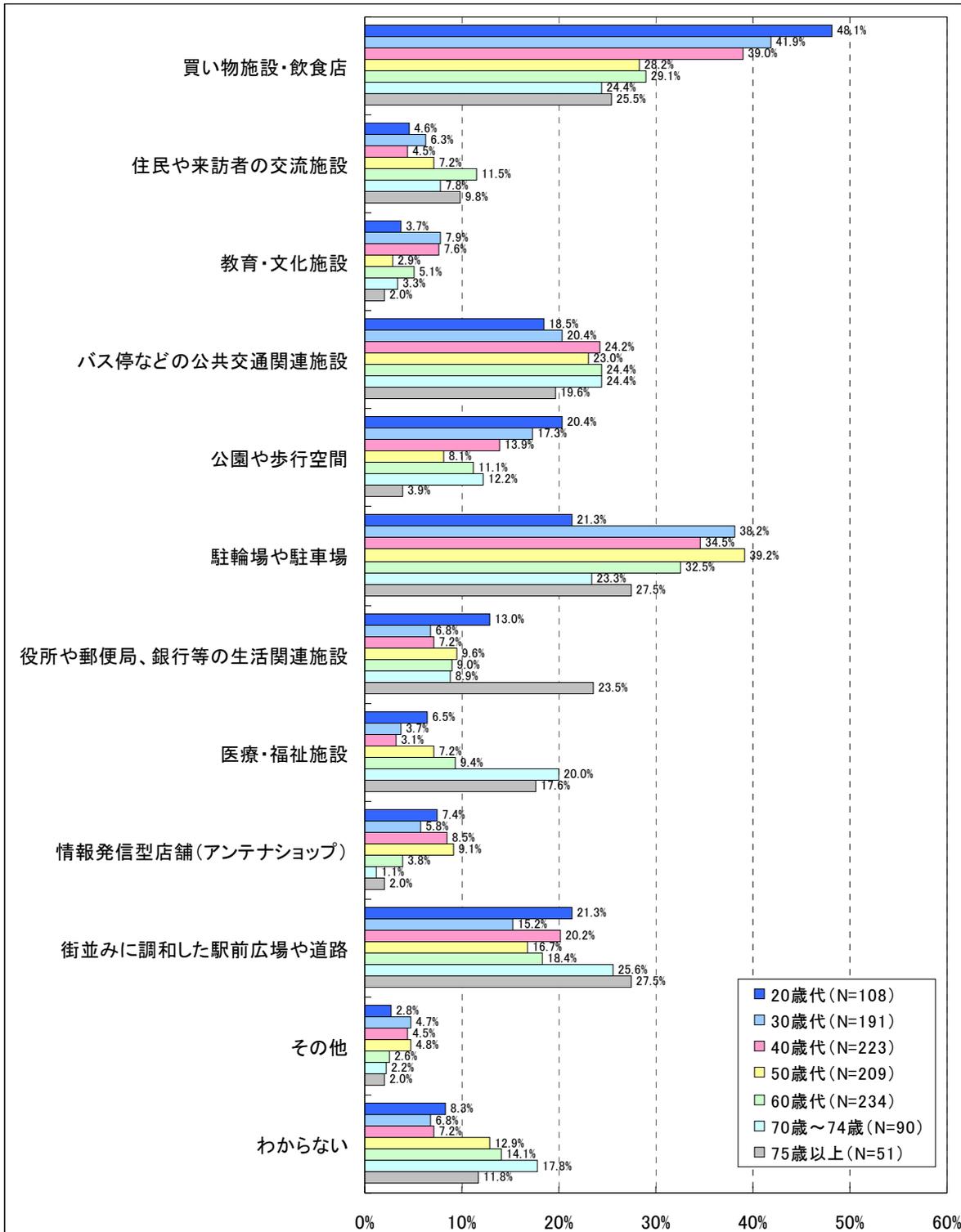
### ■ JR寺井駅周辺にあったらよい施設(性別)

・「買い物施設・飲食店」「駐輪場や駐車場」は、男女とも3割以上と多くなっていますが、両項目とも女性の方が高い割合となっています。



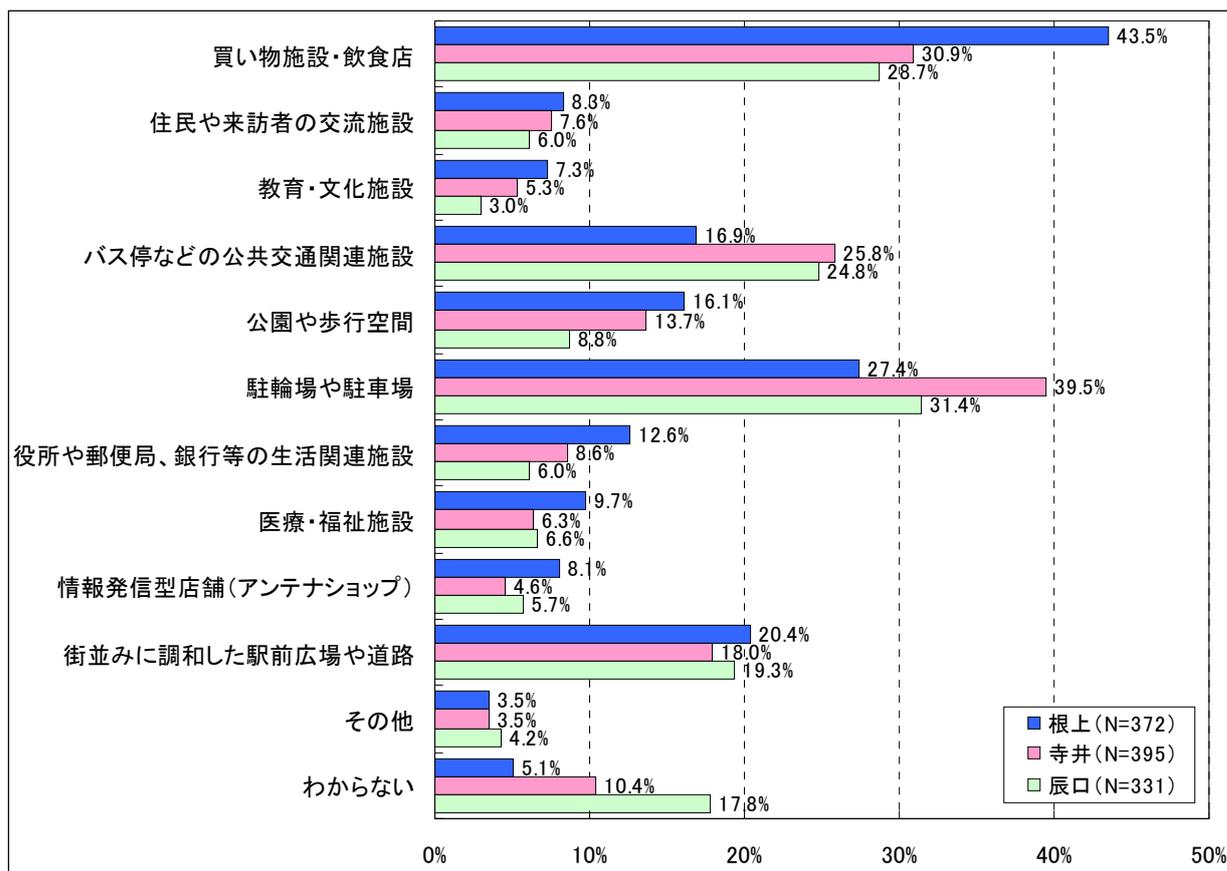
■ JR寺井駅周辺にあったらよい施設(年代別)

- 年代が下がるほど「買い物施設・飲食店」が多く、20～40 歳代では最も望まれている施設だといえます。
- 50～60 歳代は「駐輪場や駐車場」が最も多く、30～40 歳代でも 3 割以上と多くなっています。
- 75 歳以上は、他の年代よりも「役所や郵便局、銀行等の生活関連施設」が 10 ポイント以上高くなっています。
- また、70 歳以上は他の年代よりも「医療・福祉施設」が 8 ポイント以上高くなっています。



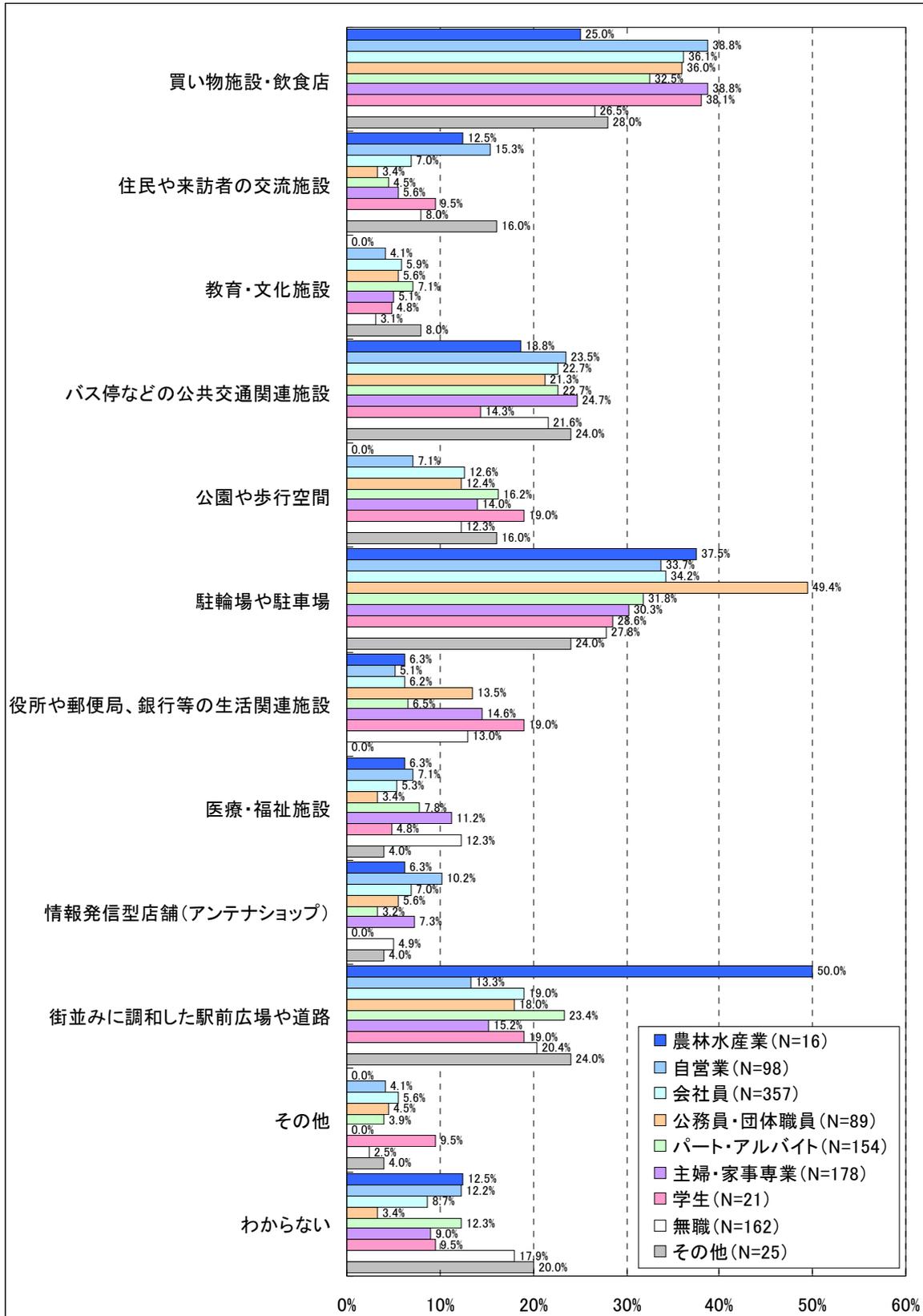
### ■ JR寺井駅周辺にあったらよい施設(地区別)

- ・根上では「買い物施設・飲食店」との回答割合が最も高く（43.5%）、他地区と10ポイント以上の差があります。
- ・一方、寺井と辰口で最も回答が多い項目は「駐輪場や駐車場」となっており、それぞれ39.5%、31.4%となっています。
- ・「バス停などの公共交通関連施設」は、根上が他地区よりも7.9ポイント以上低く、16.9%となっています。



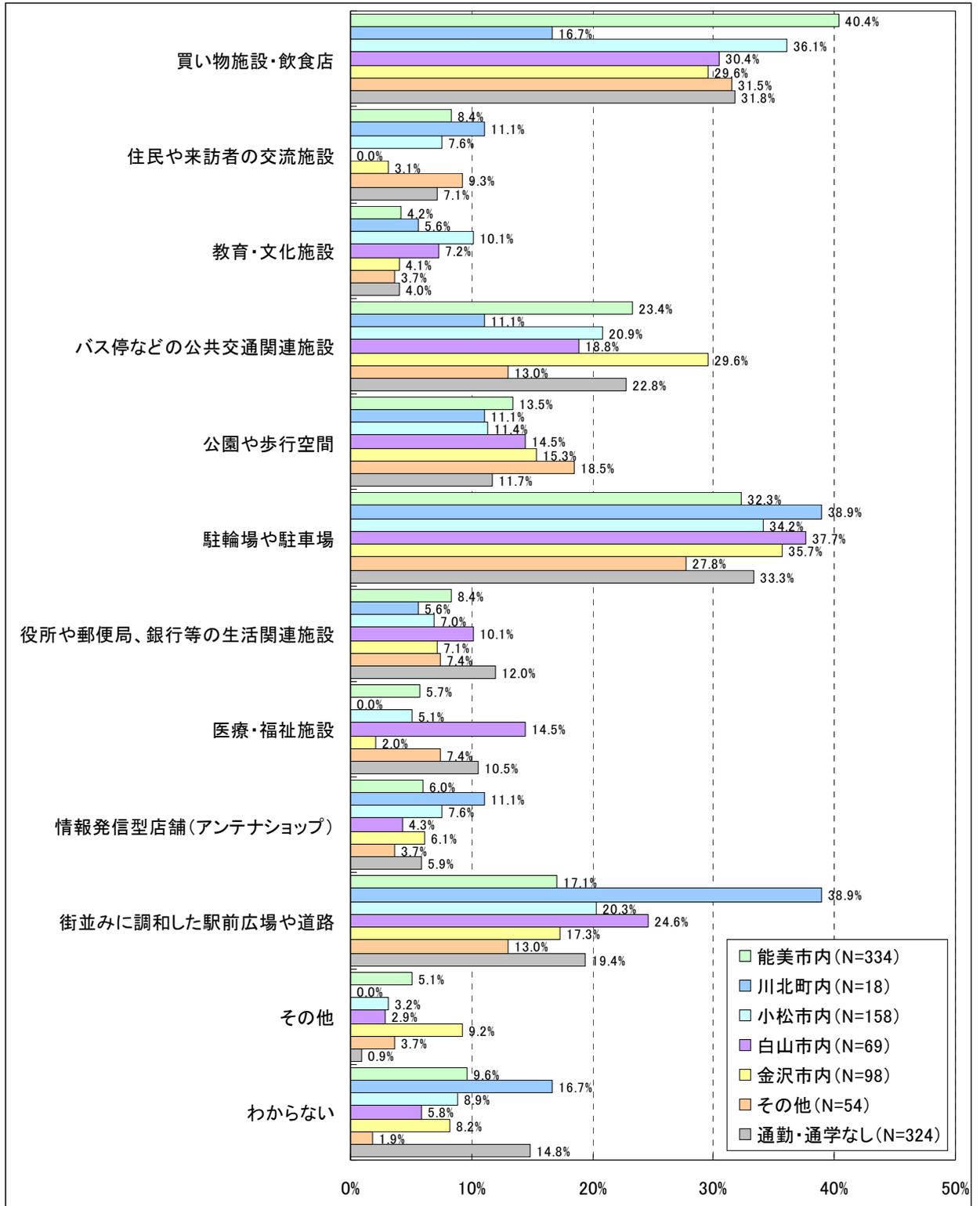
■JR寺井駅周辺にあったらよい施設(職業別)

- ・公務員・団体職員の 49.4%が「駐輪場や駐車場」と回答しており、他の職業と比較して 10 ポイント以上高くなっています。
- ・また、農林水産業の 50.0%が「街並みに調和した駅前広場や道路」と回答しており、他の職業と比較して 26 ポイント以上高くなっています。



■ JR寺井駅周辺にあったらよい施設(通勤・通学先別)

- ・川北町内が通勤・通学先の回答者は、他と比較して「買い物施設・飲食店」との回答が 12 ポイント以上低い一方、「街並みに調和した駅前広場や道路」が 14 ポイント以上高くなっています。
- ・「バス停などの公共交通関連施設」は、金沢市内が通勤・通学先の回答者が 29.6%と特に高くなっています。



問 28

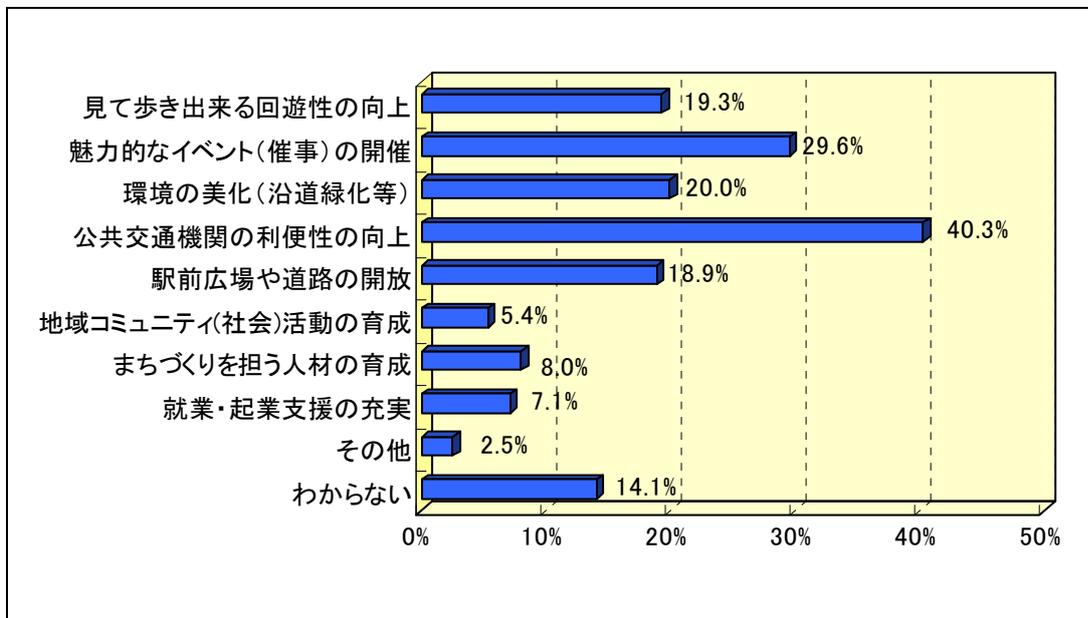
JR寺井駅周辺のまちづくりのためには、どのようなサービス・ソフト対策等が駅周辺で実施されるとよいと思いますか？（2つまで○）

◆「公共交通機関の利便性の向上」が 40.3%と最も多く、次いで「魅力的なイベント（催事）の開催」29.6%となっています。

選択項目		回答数	構成比
1	見て歩き出来る回遊性の向上(周辺案内図[マップ]作成等)	214	19.3%
2	魅力的なイベント(催事)の開催	327	29.6%
3	環境の美化(沿道緑化等)	221	20.0%
4	公共交通機関の利便性の向上	446	40.3%
5	駅前広場や道路の開放	209	18.9%
6	地域コミュニティ(社会)活動の育成	60	5.4%
7	まちづくりを担う人材の育成	89	8.0%
8	就業・起業支援の充実	79	7.1%
9	その他	28	2.5%
10	わからない	156	14.1%
	無回答	68	-
	回答数	1897	-
	回答者数	1106	100.0%

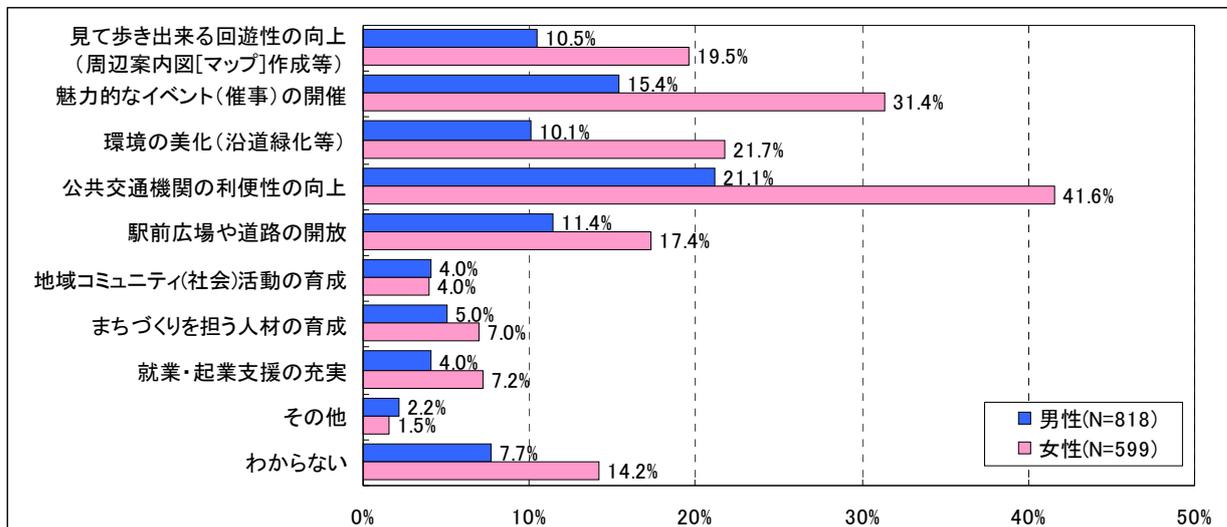
その他： 何も要らない/今のままでよい(15)、JRと連携した公共交通、あまり利用しない、関心がない、七夕まつり

※( )：回答者数



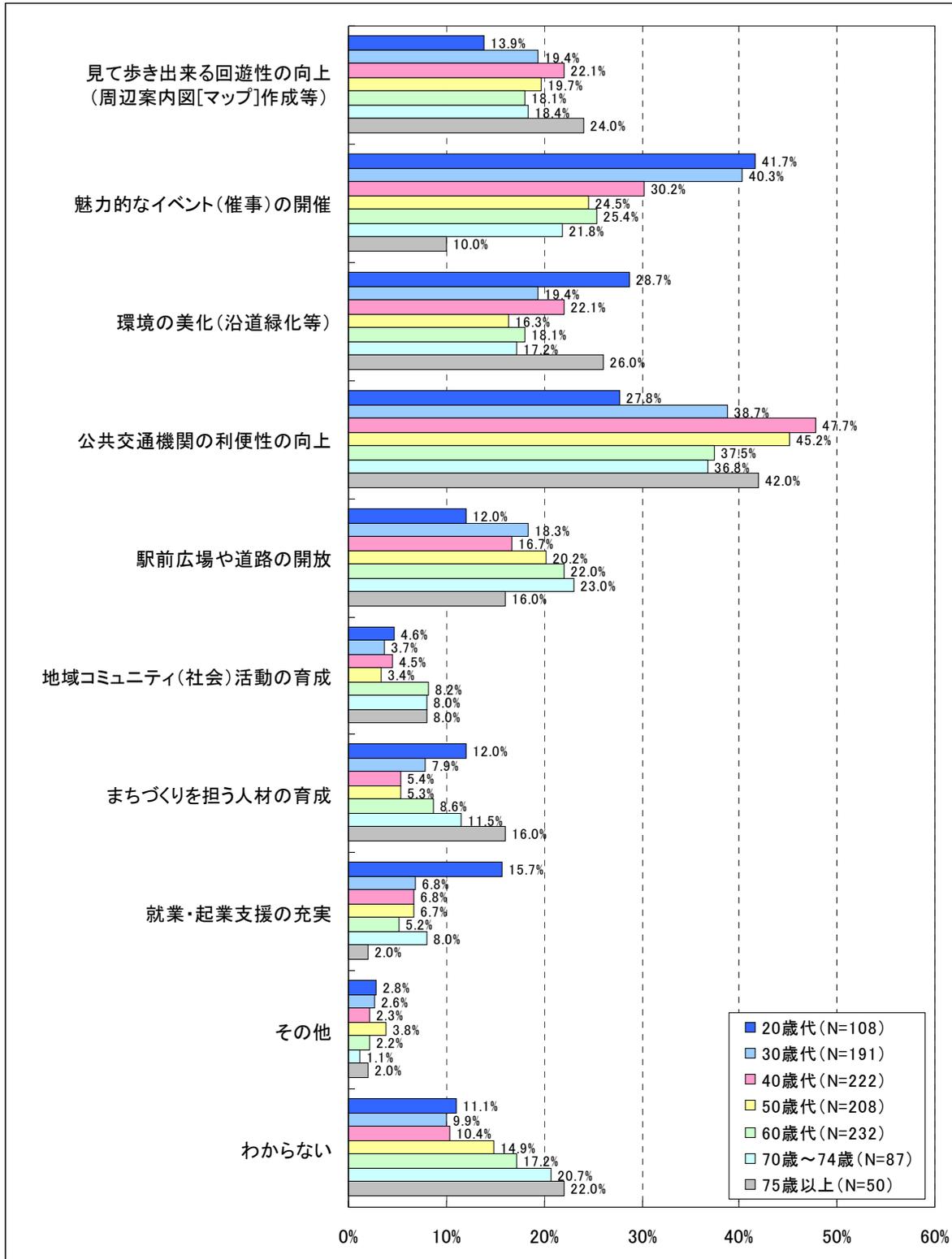
### ■ JR寺井駅周辺で実施されるとよいサービス・ソフト対策(性別)

- ・ 全体的に女性の割合が高くなっていますが、傾向はほぼ同様となっています。
- ・ 女性の 41.6%が「公共交通機関の利便性の向上」、31.4%が「魅力的なイベント（催事）の開催」と回答しており、男性より 16 ポイント以上高くなっています。



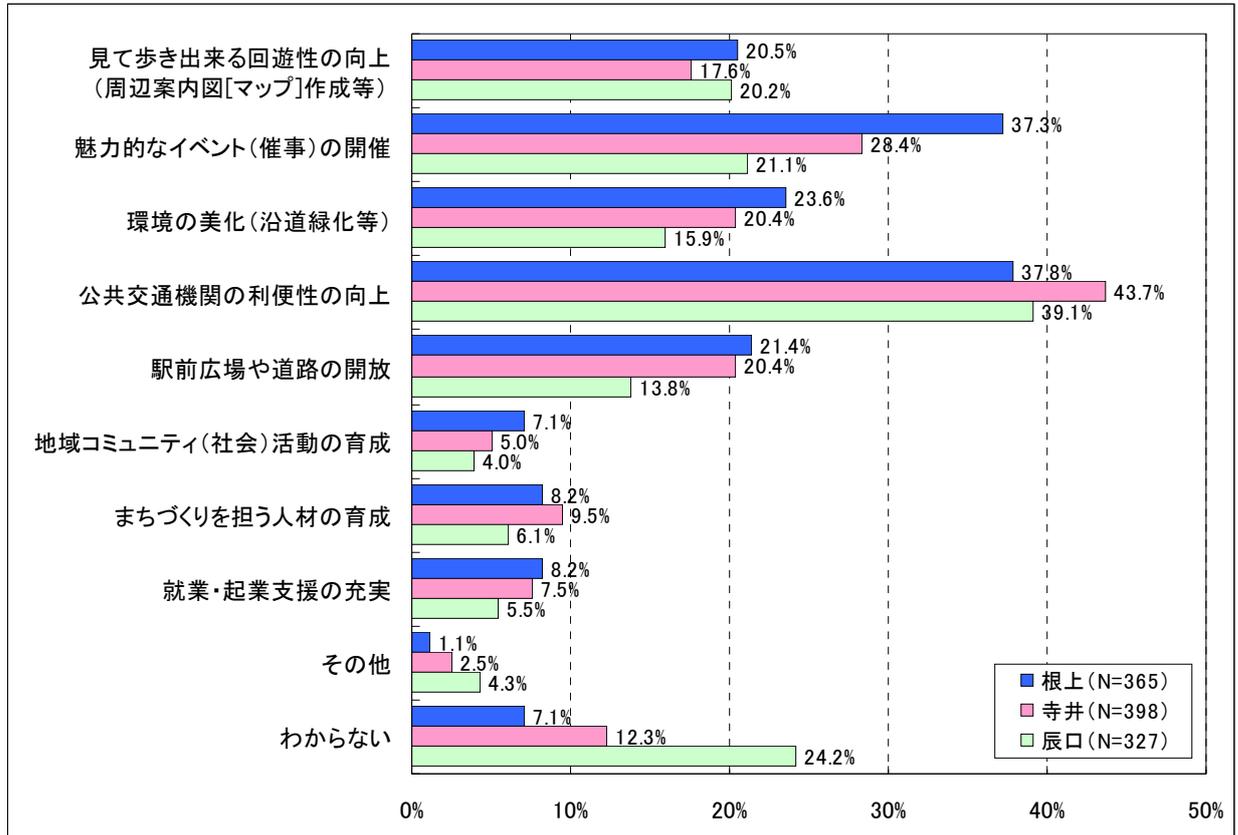
■ JR寺井駅周辺で実施されるとよいサービス・ソフト対策(年代別)

- ・「魅力的なイベント（催事）の開催」は、20～30 歳代が 4 割以上と高くなっています。
- ・40～50 歳代の 5 割近くが「公共交通機関の利便性の向上」と回答しており、他の年代よりも高くなっています。
- ・「環境の美化（沿道緑化等）」は、20 歳代の回答割合が 28.7%と他の年代よりも高くなっています。



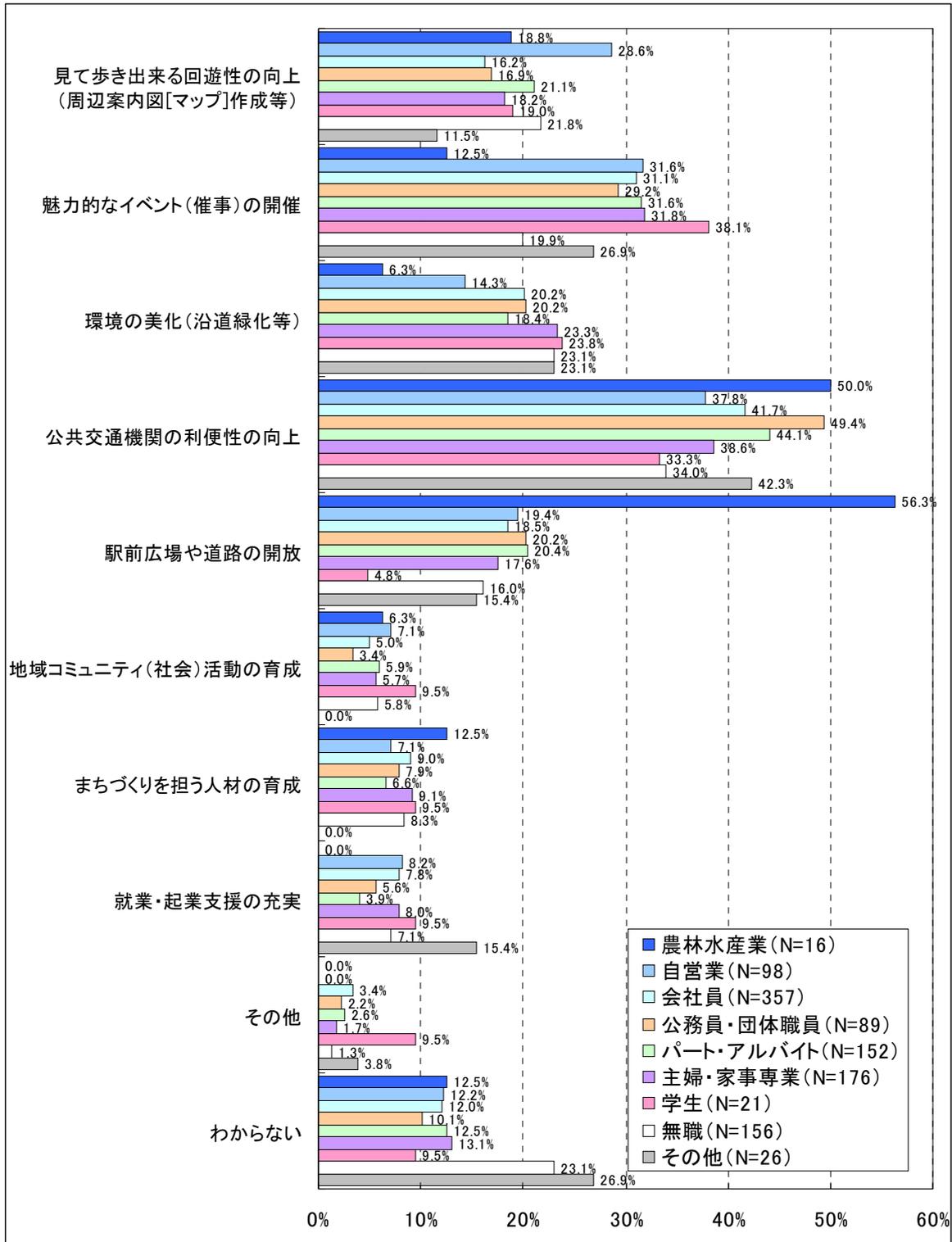
### ■ JR寺井駅周辺で実施されるとよいサービス・ソフト対策(地区別)

- ・すべての地区で「公共交通機関の利便性の向上」の回答割合が最も高くなっています。
- ・「魅力的なイベント（催事）の開催」「環境の美化（沿道緑化等）」「駅前広場や道路の開放」はいずれも、根上、寺井、辰口の順に回答割合が高くなっています。
- ・特に「魅力的なイベント（催事）の開催」は、根上が 37.3%と他地区よりも 8.9 ポイント以上高くなっています。



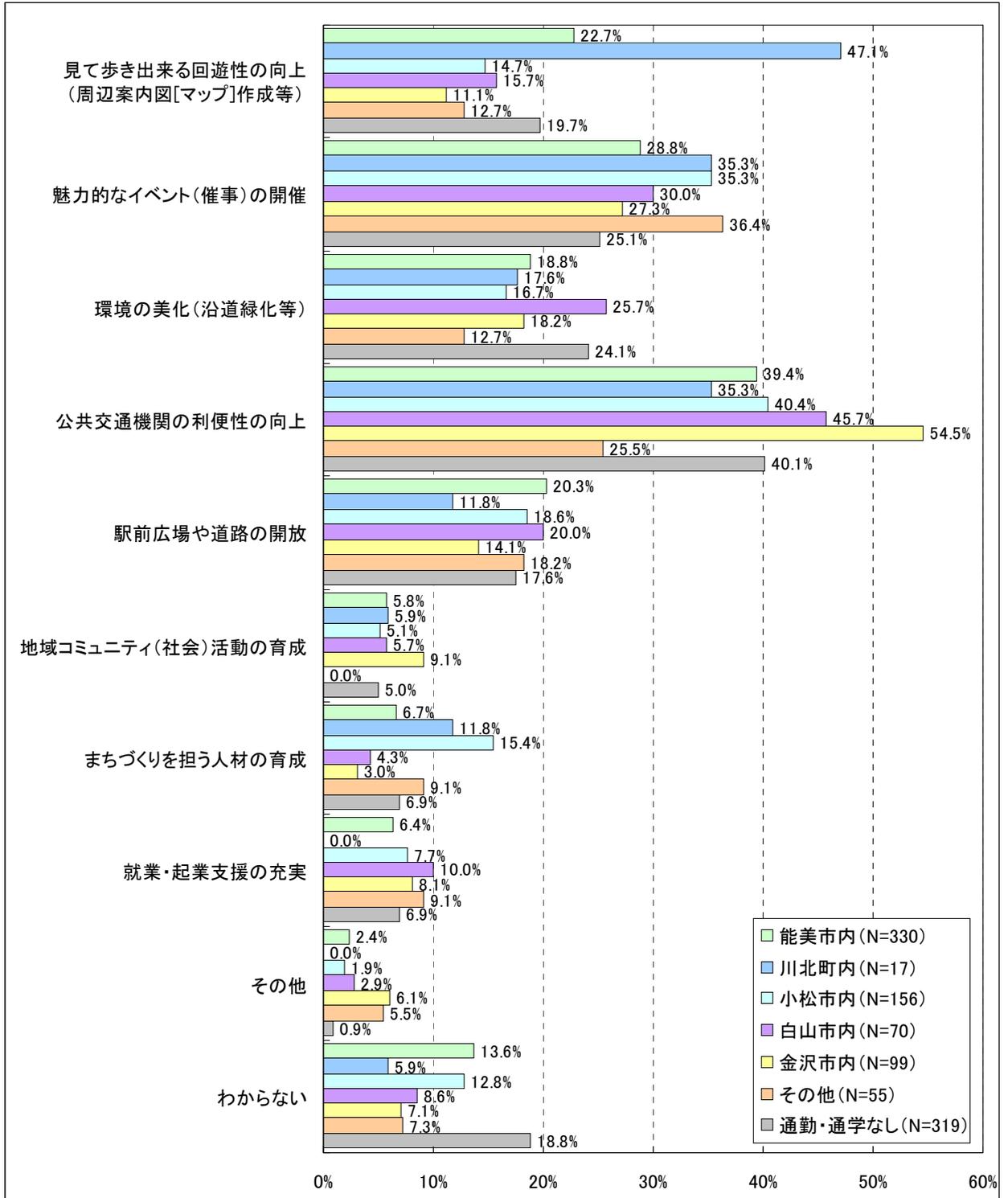
■JR寺井駅周辺で実施されるとよいサービス・ソフト対策(職業別)

- ・「見て歩き出来る回遊性の向上（周辺案内図[マップ]作成等）」は、自営業が 28.6%と特に高く、「魅力的なイベント（催事）の開催」は、学生が 38.1%と高くなっています。
- ・また、「公共交通機関の利便性の向上」は、いずれの職業においても 3 割以上となっており、特に農林水産業、公務員・団体職員では、5 割近くになっています。
- ・「駅前広場や道路の開放」は、農林水産業の回答割合が 56.3%と高く、他の職業と比較して 35 ポイント以上の差があります。



■ JR寺井駅周辺で実施されるとよいサービス・ソフト対策(通勤・通学先別)

- ・「見て歩き出来る回遊性の向上(周辺案内図[マップ]作成等)」は、川北町内が 47.1%と特に高くなっています。
- ・「公共交通機関の利便性の向上」は金沢市内が 54.5%と特に高くなっています。



## 4. まとめ

### (1) 回答者自身について

#### ▶ 市政情報の入手方法・・・8割が市の広報

- ・性別・年齢・地域に関わらず、市政情報は、市の広報から入手するケースが多く、回答者の約8割となっているため、市の広報による情報提供が今後も重要だと思われます。

### (2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

#### ▶ 優先的すべき取り組み・・・労働環境の向上・支援、効率的な行政運営の取り組み

- ・労働環境の向上・支援や効率的な行政運営の取り組みへの満足度を上げられるよう、優先的に取り組む必要があります。また、定住化の促進や、身近な生活道路の整備、社会保障の取り組み、工業の振興なども優先的に改善していくべきと考えられます。

#### ▶ 市政への満足度・・・環境や公共交通網に関する施策への満足度が向上

- ・歴史・自然や居住環境、健康・福祉などへの満足度が比較的高く、魅力や産業・観光に対する満足度は低い傾向にあります。
- ・環境や公共交通網については、平成 17 年度と比較して評価が高まっており、能美市地球温暖化実行計画（エコオフィス計画）や能美市バイオマスタウン構想、のみバスなどの取り組みが評価されていると考えられます。
- ・寺井では、根上、辰口と比較して、国際交流の推進や身近な公園・緑地の整備に対する取り組みへの満足度が低くなっています。

#### ▶ 市政にとっての重要度・・・生活に密着した施策への重要度が上昇

- ・H17、H19 年度と比較して、生活に密着した施策への重要度が上がり、生活には直接関係しない施策への重要度は下がる傾向にあります。
- ・辰口居住者は、根上、寺井よりも里山の保全・活用や公共交通網の整備の取り組みを重視しており、辰口里山公園における能美の里山ファン倶楽部の活動やのみバスを重視していると考えられます。

### (3) 能美市に住むことについて

#### ▶能美市の住みやすさ・・・9割が住みやすいと評価

- ・回答者の約9割が能美市は住みやすいと評価していますが、20歳代および60歳以上による評価および寺井における評価がH17年と比較して悪くなっています。

#### ▶将来的な定住意向・・・8割が住み続けたい

- ・全体の8割以上が、そして、能美市が住みやすいと評価する人の9割以上が、能美市に住み続けたいと考えています。
- ・定住の主なきっかけは、能美市に家族がいることとなっていますが、辰口では、土地価格が手頃なこともきっかけの一つとなっています。

#### ▶能美市に定住することの魅力・・・豊かな自然環境、静かさ

- ・魅力は、全体の約6割が豊かな自然環境、約4割が静かさだと考えており、特に辰口居住者がそれらを魅力に感じています。また、子育て世代や75歳以上の高齢者は、他の年代と比べて、福祉が充実していることも魅力と捉える人が多くなっています。

### (4) 地域活動および市民と行政の協働について

#### ▶地域活動への参加状況・・・男性の約7割、女性の約5割が参加

- ・男性の約7割、女性の約5割が何らかの地域活動に参加しており、年代が上がるほど、活動への参加が多くなっています。
- ・H17と比較して、男性や70歳以上、辰口居住者の参加が増えています。

#### ▶協働に対する現状の認識・・・認知度は高まりつつあるが、依然として低い

- ・地域社会における協働の取り組みへの認知度は高まってきており、特に寺井でその傾向が顕著ですが、全体では、協働が行われているかわからないという回答が過半数に達しています。

#### ▶協力関係を構築していくために重要なこと・・・既存団体の活動促進、交流の場の提供

- ・既存団体の活動促進や交流の場の提供が重要との回答が多く、協働の仕組みづくりや行政の支援体制の整備については、以前より重要度が下がる傾向にあります。
- ・女性や20～30歳代および60歳以上は、気軽に集まれる場所をつくることを重視し、男性や40～50歳代および70歳以上は、自治会や町内会が中心となって積極的に交流活動を行うことを重視する傾向があります。

## (5) 効率的な行政運営・インターネット接続環境について

### ▶市役所庁舎のあり方・・・3庁舎のいずれかに集約

- ・新しい庁舎は建てず、3庁舎のいずれかに集約すべきという意見が最も多くなっています。能美市統合庁舎の在り方市民検討委員会は、H21年10月に、辰口庁舎に集約する案を答申したため、特に辰口居住者が集約を望んでいます。

### ▶公共施設の統合・廃止・・・博物館、図書館、公民館を統合・廃止すべき

- ・博物館、図書館、公民館を統合・廃止すべきとの回答が多く、博物館と図書館については、特に辰口居住者が統合・廃止すべきと考えています。

### ▶自宅でのインターネット接続の有無・・・6割が自宅で接続

- ・20～50歳代の約7～8割が自宅でインターネットを接続しており、全体では約6割となっています。全国の接続率は約8割（H20年度）のため、全国と比較すると接続率が低いといえます。

### ▶自宅でのインターネットの接続環境・・・ブロードバンド（ADSL）が最多

- ・ブロードバンド（ADSL）の利用者が約4割と多く、40歳代以下で、その利用率が高くなっています。
- ・全国におけるブロードバンド回線の利用率約7割（H20年度）に対して、能美市では約6割と低く、その一因としてブロードバンド環境の整備が遅れていることが考えられます。

### ▶高速通信網の利用意向・・・ブロードバンド（ADSL）利用者の約7割が利用したい

- ・40歳代以下の利用意向が強いほか、ブロードバンド（ADSL）利用者の約7割が利用したいと回答しています。一方、ブロードバンド（ケーブルテレビ）の利用者は現在の環境で満足している割合が最も高く、約4割となっています。

### ▶利用したい能美市のインターネット（web）サービス・・・電子申請、地図情報の閲覧

- ・パソコンでは、電子申請の利用意向が最も高く、特に、働いていてあまり時間がないと思われる30～40歳代、自営業、会社員、公務員・団体職員などの利用意向が高くなっています。一方、携帯電話では、公共施設の予約や地図情報の閲覧、図書貸し出し予約の利用意向が約3割と高くなっています。

## (6) JR 寺井駅周辺のまちづくりについて

### ▶ JR 寺井駅周辺のまちづくりの将来像・・・交通の利便性が高く、賑わいのあるまち

- ・交通の利便性が高く、賑わいのあるまちがあるべき姿だと捉えられています。
- ・20～30 歳代は、商店街に活気があり、賑わいのあるまちを望む傾向が強く、40 歳代以上は交通の利便性が高いまちを望む傾向があります。
- ・根上居住者は、商店街に活気があり、賑わいのあるまちを望む傾向が強く、寺井、辰口居住者は交通の利便性が高いまちを望む傾向があります。
- ・また、川北町、小松市、白山市への通勤・通学者は、車を利用しやすいまちを望む傾向がある一方で、金沢市への通勤・通学者は、公共交通の充実したまちを望む傾向があり、バス停などの公共交通関連施設が駅周辺にあるとよいとの回答が多くなっています。

### ▶ JR 寺井駅周辺にあつたらよい施設・・・買い物施設や飲食店、駐車場や駐輪場

- ・根上居住者は、買い物施設や飲食店との回答が4割を超え、寺井、辰口居住者は、駐輪場や駐車場との回答が最も多くなっています。
- ・20～40 歳代では買い物施設・飲食店への需要が最も高く、50～60 歳代では駐輪場や駐車場、70 歳以上では街並みに調和した駅前広場や道路、そして75 歳以上ではさらに駐輪場や駐車場への需要も高くなっています。
- ・また、70 歳以上になると、69 歳以下と比べて医療・福祉施設への需要が高まり、75 歳以上になると、74 歳以下と比べて生活関連施設への需要が高まっています。

### ▶ JR 寺井駅周辺で実施されるとよいサービス・ソフト対策

#### ・・・公共交通の利便性向上、魅力的なイベント

- ・公共交通機関の利便性の向上が最も望まれており、特に40～50 歳代の5割近くが実施されるとよいと考えています。また、魅力的なイベントも実施されるとよいと考えられており、特に20～30 歳代、学生などの若い世代や、根上居住者に望まれています。